



ぼうさい  
こくたい  
2021

—いわて釜石から—



11/5(金)は  
津波防災の日  
世界津波の日  
イベント開催

いわて・かまいし  
防災復興フェスタ  
も同時開催

～震災から**10**年～ つながりが創る復興と防災力

11/6(土) 11/7(日)  
10:00-18:00 10:00-15:30

主催：防災推進国民大会 2021 実行委員会 協力：岩手県、釜石市

防災推進国民大会2021  
実施報告書

# 「ぼうさいこくたい2021」（「防災推進国民大会2021」）開催の報告

平素より防災行政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「防災推進国民大会（通称「ぼうさいこくたい」）」は、産学官、NPO・市民団体や国民の皆様が日頃から行っている防災活動を全国的な規模で発表し、また、交流する日本最大級の防災イベントです。

第6回となる本年度は、令和3年11月6日～11月7日の間、岩手県釜石市にて、現地参加とオンラインツールでの視聴を併用したハイブリッド形式にて開催し、約5,800人の方々に現地でご参加いただいたほか、オンラインで約10,800回のご視聴をいただきました。

今大会には、171の団体が出展し、出展数としては187の催事を開催しました。そのうち、約2割がセッション、約1割がワークショップ、その他がプレゼンブースや屋外展示という出展構成でした。

また、岩手県の「いわて・かまいし防災復興フェスタ」を同時開催していただき、釜石のまち全体が防災で盛り上がったのではないかと思います。

2021年は、東日本大震災から10年の年でした。今大会は「つながりが創る復興と防災力」をテーマに、東日本大震災からの10年を振り返るとともに、これからの復興と防災のあり方を考え、震災の経験と教訓を多くの方々へ、そして、未来へ「つなげる機会」としたいと考えました。

防災力を高めるためには、行政による「公助」、国民一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域、企業、学校、ボランティアなどが互いに助け合う「共助」を適切に組み合わせることが重要です。さらに、災害時に命を守るためには、官民の様々な主体が連携し、それぞれの力が「つながる」ことが必要です。開催地となった岩手県は、震災で大変大きな被害を受ましたが、防潮堤や道路の整備、街の復興はもとより、個々の防災意識の向上、復興の担い手の育成、そして、個人、団体など多様な主体がつながる場を設けるなど、ハード、ソフトの両面から、「Build Back Better（より良い復興）」を理念に、あらゆる主体が「つながり」ながら、復興に着実に取り組まれてこられました。

また、岩手県をはじめとする東北の被災地では、経験者による語り部活動、震災伝承施設への訪問活動、震災を踏まえた防災教育の実践など、震災の記憶を風化させることなく語り継ぎ、防災意識を高める、そして、次の世代へ「つなげる」活動を積極的に行っています。釜石市においても、「いのちをつなぐ未来館」において震災当時の出来事を伝える取組等が行われているほか、「釜石市防災市民憲章」を制定し、震災から学んだ教訓を後世に伝え、あらゆる災害から身を守る知恵を伝える誓いを掲げています。

今回の防災推進国民大会2021の開催を通じて、東日本大震災から10年を経た地域の姿を発信することで、多様な主体が連携する大切さとともに、震災の経験や未来の命を守る教訓をより多くの方々に伝えることができ、防災意識の向上を図ることができたと感じています。

結びに、今大会の開催に当たり格別の御尽力、御協力をいただいた岩手県、釜石市をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和4年3月



防災推進国民大会2021実行委員会  
(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)



# 目次

---

## ●開催概要

概要	4
大会データ	5
大会運営スケジュール	6
大会運営①感染症対策など	7
大会運営②関連イベント	10

## ●出展団体リスト

出展団体リスト	12
---------	----

## ●プログラム 18

### ●会場

会場位置関係	21
会場詳細	22

### ●セッション詳細

二之湯智防災担当大臣 挨拶	26
セッション詳細	27

### ●ワークショップ詳細

ワークショップ詳細	53
-----------	----

### ●プレゼンブース詳細

プレゼンブース詳細	59
-----------	----

### ●屋外展示詳細

屋外展示詳細	81
--------	----

## ●その他の展開

主催挨拶・釜石からのメッセージ	87
ワンタイム上映会	88

## ●制作物

チラシ・ポスター	90
プログラム	91
サイン類	93
スタッフパス・バッジ	95

## ●広報記録

一覧	97
大会ホームページ	98
駅貼り広告	106
チラシ・ポスター	108
SNS展開	109
SNS広告	111
情報誌・新聞	112
街頭ビジョン	113
テレビ	114
プレスリリース結果	116

## ●アンケート

来場者	118
出展者	128

## ●記録写真 145

## 開催概要

---

- **名称** 防災推進国民大会2021（ぼうさいこくたい2021）－いわて釜石から－  
正式な企画名称は「防災推進国民大会」になりますが、より国民になじみやすく  
覚えやすくするために、平仮名で「ぼうさいこくたい2021」と呼称します。
- **テーマ** ～震災から10年～ つながりが創る復興と防災力
- **開催趣旨** 「自助・共助」、「多様な主体の連携」及び「地域における防災力の向上」  
を促進するため、国民の防災意識の向上、災害に関する知識や経験等の  
共有を図ることを趣旨とします。
- **開催日時** 2021年 11月6日（土）10:00～18:00 \*屋外展示の一部は16:00まで  
11月7日（日）10:00～15:30
- **開催会場** ・釜石市民ホールTETTO ・釜石情報交流センターPIT  
・ホテルサンルート釜石 ・イオンタウン釜石第2駐車場
- **出展方法** ・セッション ・ワークショップ  
・プレゼンブース ・屋外展示
- **出展パターン** ・パターン1：現地出展  
・パターン2：現地出展+オンライン  
・パターン3：オンライン
- **主催** 防災推進国民大会2021実行委員会  
（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）
- **協力** 岩手県、釜石市
- **関連事業** 内閣府主催「令和3年度「津波防災の日」スペシャルイベント」  
「防災×テクノロジー官民プラットフォーム」  
岩手県、釜石市主催「いわて・かまいし防災復興フェスタ」
- **対象者** 防災に関心のある方、学びたい方
- **入場料** 無料
- **大会サイト** <http://bosai-kokutai.jp/>
- **大会キービジュアル**



来場者数・視聴数

	11/6 (土)	11/7 (日)	合計
現地来場者数	約3,500人	約2,300人	約5,800人
オンライン視聴数	約7,300回	約3,500回	約10,800回

\*オンライン視聴数 = Webセッション数 ※P99のセッション数は、ロサンゼルス時刻での集計のため数字が異なります。

出展数

タイプ	内容	出展数
① セッション	講演やトークセッションを来場者に聴かせるタイプ	40
② ワークショップ	来場者参加のワークショップ	24
③ プレゼンブース	ブース前で出展者がミニプレゼンテーションを行うタイプ	100
④ 屋外展示	車両の展示やエリアを使用したミニイベント	23
合計		187

パターン	内容	出展数
1 パターン1	現地出展	102
2 パターン2	現地出展+オンライン	38
3 パターン3	オンライン	47
合計		187

団体数

出展タイプ	団体数	出展タイプ	団体数
セッションのみ	30	ワークショップのみ	16
セッション+ワークショップ	2	ワークショップ+プレゼン	5
セッション+プレゼン	4	ワークショップ+屋外	1
セッション+屋外	3	プレゼンブースのみ	90
セッション+プレゼン+屋外	1	屋外展示のみ	19
合計		171	

団体内訳

参加対象 (向け)							団体種別											
タイプ	専門家	企業	自治体	一般	学生	子供	省庁	都道府県	市区町村	独立行政法人	公益法人	一般社団法人	小中高学校	大学・研究機関	企業	NPO・NGO	学生団体	その他
①	16	7	26	23	2	1	3	3	0	1	5	5	0	6	3	6	0	8
②	0	0	8	24	3	10	0	0	0	0	2	6	0	1	5	5	0	5
③	8	27	57	72	7	10	6	4	4	4	6	11	1	6	31	10	2	15
④	5	6	15	14	1	2	2	3	0	0	2	2	0	0	11	1	0	2
合計	29	40	106	133	13	23	11	10	4	5	15	24	1	13	50	22	2	30
総計	344							187										

\*参加対象は最大2つまで

キーワード

キーワード																						
タイプ	地震・火山	土砂災害	風水害	南海トラフ	科学・技術	災害情報	自助・共助	地域防災	避難・避難所	ボランティア	災害教訓・伝承	防災行政	企業防災	医療・福祉	都市・建築・住宅	災害廃棄物	備蓄・グッズ	教育	ゲーム	ペット	国際	その他
①	7	2	1	2	5	6	5	12	1	2	7	2	2	1	0	2	0	12	0	0	0	8
②	2	2	1	1	0	2	3	8	2	1	1	0	0	1	0	0	1	12	3	1	0	5
③	13	1	7	3	8	6	20	28	9	3	15	16	5	4	4	0	12	17	0	2	3	10
④	3	1	1	1	2	1	1	7	8	0	2	4	3	1	1	0	3	2	0	0	0	2
合計	25	6	10	7	15	15	29	55	20	6	25	22	10	7	5	2	16	43	3	3	3	25
総計	352																					

セッション登壇者数

両日合計231人

\*オンライン登壇者含む

事前登録者数

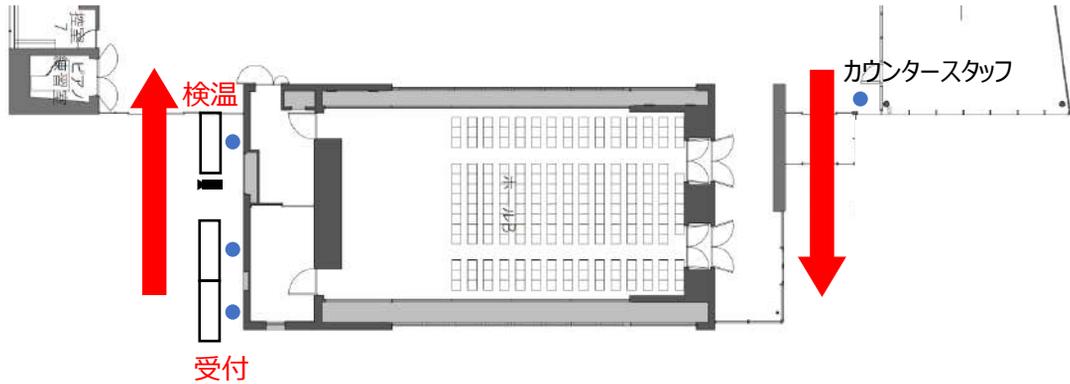
事前登録者数	781件	1258人
当日登録者数	595件	1239人
合計	1376件	2497人

アンケート回収数

現地	96
Web	331
合計	427

	出展団体対応	大会周知・広報
7/2(金)		ホームページ、SNS リニューアルオープン
7/9(金)	出展公募開始	
8/6(金)	公募締切	
8/25(水)	出展審査会	
8/31(火)	出展団体へ出展決定連絡	
9/9(木)	出展説明会	
9/21(火)	出展マニュアル更新版校了	
9/27(月)	出展申請書締切	
10/5(火)	開催方式決定	
10/6(水)		チラシ・ポスター校了
10/8(金)		交通広告～11/7(日)まで
10/12(火)		チラシ・ポスター発送
10/18(月)	下見会	
10/19(火)	下見会	
10/22(金)		SNS広告
10/26(火)		ホームページテスト サイトオープン 情報誌ゆうゆう 全三段記事広告+半3段パブ 掲載
10/27(水)	来場者事前申込開始	岩手日報 記事体広告 アドボックス 掲載
10/29(金)	出展マニュアル校了	Webプログラム公開、プレスリリース
11/2(火)	運営マニュアル校了	ホームページ グランドオープン 岩手日報 記事体広告 アドボックス 掲載
11/4(木)	設営	
11/5(金)	設営、出展準備	
<b>11/6(土)</b>	<b>ぼうさいこくたい2021</b>	
<b>11/7(日)</b>		
11/24(水)	出展者アンケート締切	

【釜石市民ホールTETTO】



<p>(1) 受付</p>	<p>▽出展者・登壇者 出展者パスを着用していればお通しする。 *インフォメーションで出展者パスを受け取っていない方もいるので「出展者です」とお申し出いただければお通しするようにする。</p> <p>▽一般来場者 ご登録いただいた画面を見せていただく。ご登録がない場合はご登録後に再度列にお並びいただき画面を確認。 ※ご登録ができない方はリストを用意し手書きでご記入いただく。 ※11/5（金）出展準備時は検温消毒のみ</p>
<p>(2) 検温</p>	<p>ご入場いただく全ての方を対象に、体温スクリーニングシステムを設置し検温とカウントを実施。37.5℃以上の方はスタッフが声掛けをしてお入場をご遠慮いただく。 ※マスクを着用していない方は着用してからご入場いただく。</p>
<p>(3) 消毒</p>	<p>受付に設置したスプレー式消毒液で手指消毒をいただき入場。</p>

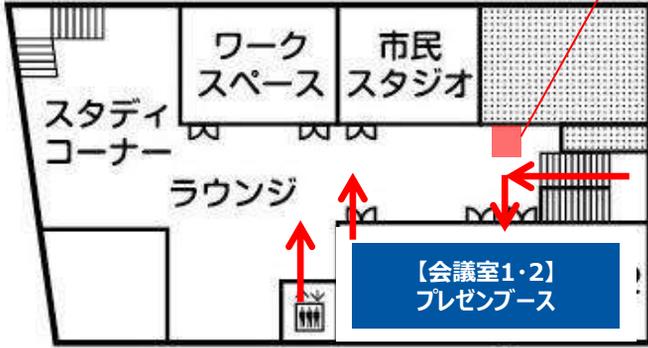
●体温スクリーニングシステム（FeverCheck）



釜石市民ホールTETTO以外の会場は「顔認証検温器/非接触型検温器」「ポンプ式消毒液」を設置。

【釜石情報交流センター-PIT】

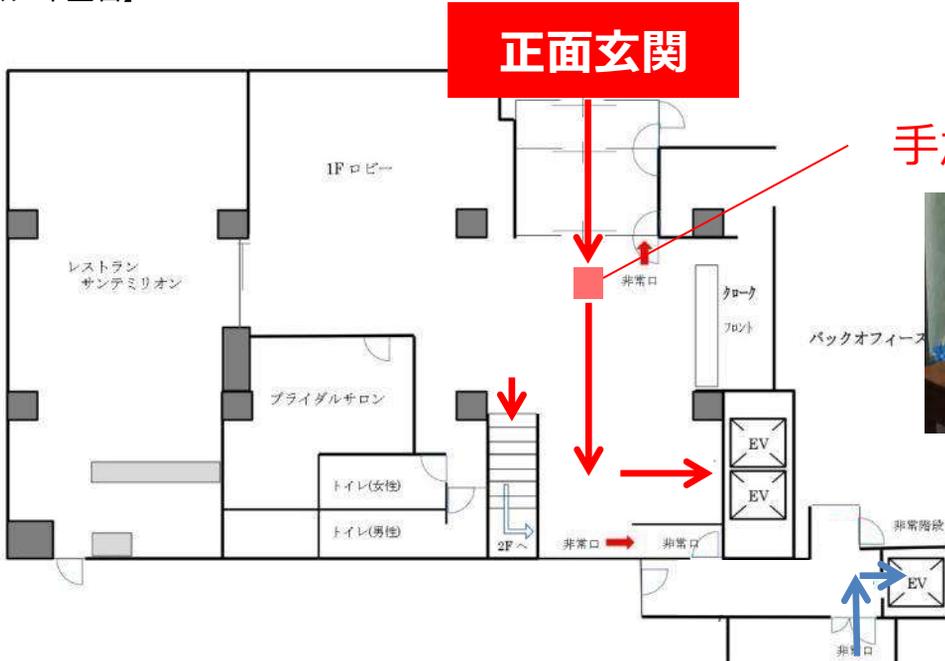
2F



顔認証型検温機  
ポンプ式消毒液

【ホテルサンルート釜石】

1F



手かざし検温機



搬入口

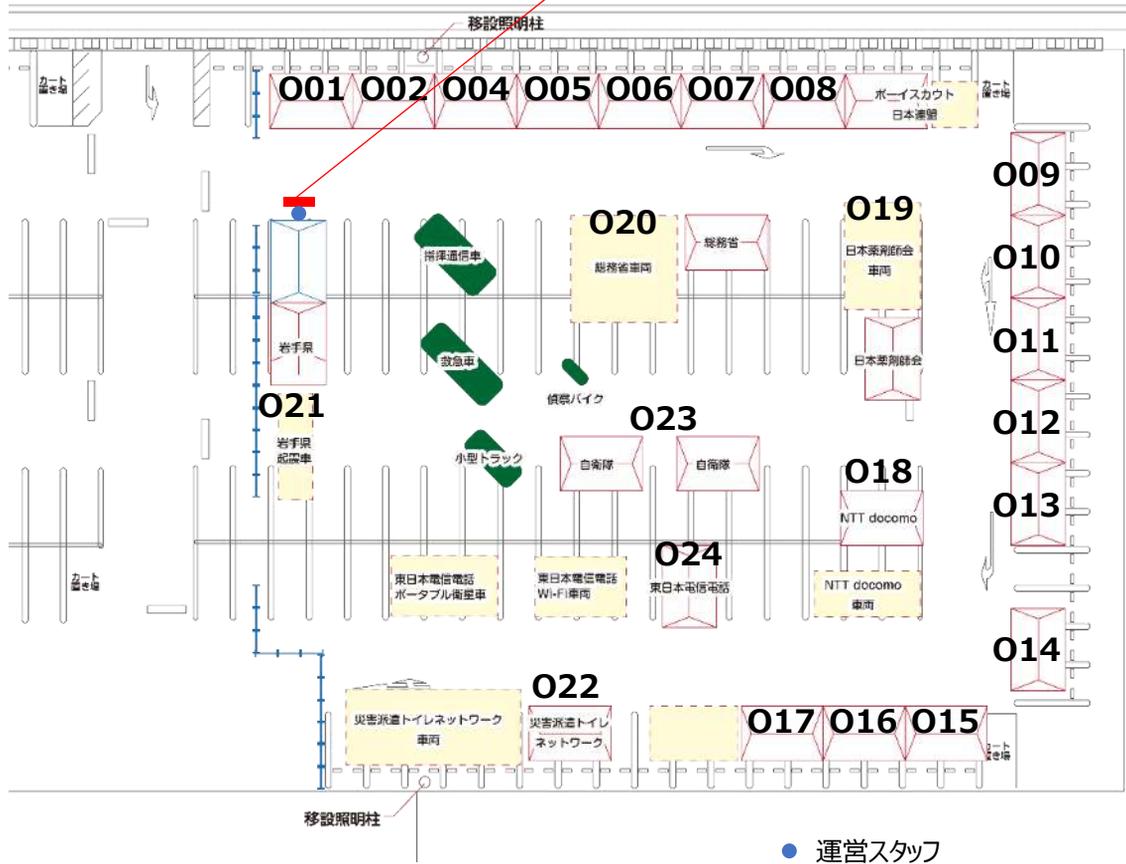
2F



ポンプ式消毒

【イオンタウン第2駐車場】

ポンプ式消毒液 } 長机設置  
非接触型検温器 }



**11月5日は津波防災の日 世界津波の日**

内閣府

あわせて開催>>

ぼうさいごくたい2021  
開催日時：2021年11月6日 10:00-18:00  
7日 10:00-15:30

防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム  
第2回マッチングセミナー  
開催日時：2021年11月5日 10:00-13:50

令和3年度「津波防災の日」スペシャルイベント

参加無料

2021.11.5 (金) 14:00-17:00

**「令和3年度「津波防災の日」スペシャルイベント」  
2021年11月5日（金）14:00-17:00  
釜石市民ホールTETTO ホールA**

東日本大震災の発生から10年余りの歳月が流れました。地震・津波の被災地域においては復興が進んでいますが、我が国においては今後も南海トラフ地震など津波を伴う巨大地震の発生が危惧されています。津波は、迅速かつ適切な避難によって、人的な被害を相当程度軽減できる災害です。今年度の「津波防災の日」スペシャルイベントは、「誰一人として犠牲にならない津波防災」をテーマに、様々な主体や視点から津波防災に取り組む方々の活動を、岩手県釜石市から発信します。

<https://tsunamibousai.jp/>

**防災×テクノロジー**  
官民連携プラットフォーム

**「防災×テクノロジー官民プラットフォーム」  
2021年11月5日（金）10:00-13:50  
釜石市民ホールTETTO ホールB/ギャラリー**

日時：2021年11月5日（金）  
開催場所：岩手県釜石市 釜石市民ホールTETTO  
（ぼうさいごくたい2021会場）  
※オンライン（Zoom）同時開催



近年、頻発化、激甚化する災害に対して、より効果的・効率的に対応していくためには、デジタル技術をはじめとする先進技術を積極的に活用していくことが重要です。内閣府では、この度、災害対応を行う地方公共団体等の困りごとや関心事項（ニーズ）と民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場として、「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」を設置しました。本プラットフォームの一環として、マッチングサイトを開設するとともに、地方公共団体等と民間企業等が交流する場となる第2回マッチングセミナーを開催いたします。

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>

**いわて・かまいし 防災復興フェスタ**  
-IWATE KAMAISHI-  
BOUSAI FUKKO FESTA

**「いわて・かまいし防災復興フェスタ」  
2021年11月6日（土）  
釜石市民ホールTETTO ホールB/ギャラリー**

内容調整中

**防災復興WEB展示会（11/6～）※外部リンク**  
**「防災を学習する場づくりプロジェクト」公開！**  
配信プログラム「伝えたいこと あの日、私は小学2年生だった」  
大船高校復興研究会（飯芝産）  
ほか「震災語り部動画」配信

<https://sanriku-project.jp/kamaishi-bousai-fair/>

## 出展団体リスト

---

会場名記号：釜石市民ホール…T 釜石情報交流センターPIT…P ホテルサンルート釜石…S  
 パターン1：現地出展 パターン2：現地出展+オンライン パターン3：オンライン

## セッション 40団体

団体記号	出展者	パターン	日時・会場	出展タイトル
S01	TEAM防災ジャパン	2	11/6(土)1030 T:ホールA	岩手・釜石の東日本大震災10年の活動に学び、熱のある多様なつながりをつくる
S02	公益財団法人 日本消防協会	2	11/6(土)1630 T:ホールA	災害廃棄物の処理
S03	特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	2	11/7(日)1000 T:ホールA	どこで災害が起きても支援を届けるコーディネーション
S04	一般社団法人 日本損害保険協会	2	11/7(日)1230 T:ホールA	東日本大震災、これまでの10年、これからの10年～伝承・教育の未来～
S05	株式会社 JINRIKI	1	11/6(土)1030 T:ホールB	避難を！命をあきらめない！ 震災から生まれた車いすの避難用具で、命を守る行動を！
S06	東北大学 災害科学国際研究所	2	11/6(土)1430 T:ホールB	社会と東北大学が共につむぐレジリエントな世界
S07	一般財団法人危機管理教育&演習センター	2	11/6(土)1630 T:ホールB	ラストワユマイルにいかにか緊急支援物資を届けるか ～プッシュ型支援輸送を考える～
S08	TEAM防災ジャパンメディアチーム	2	11/7(日)1000 T:ホールB	災害報道の経験を、これからの災害被害軽減にどう活かす＝期待される地方メディアの役割
S09	特定非営利活動法人事業継続推進機構	2	11/7(日)1230 T:ホールB	これからの事業継続に必要な要素
S10	災害文化研究会	2	11/7(日)1000 T:スタジアムA	災害文化の顕在化のこころみー日常の中に災害文化をよみとくー
S11	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/ 生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター (DMTC)	3	11/6(土)1030 P:PIT	我が国の災害対策力の向上の提案 ～東京大学の災害対策トレーニングセンター (DMTC) ～
S12	一般社団法人日本ドローンコンソーシアム	2	11/6(土)1430 P:PIT	防災分野へのドローン利用の最前線
S13	岩手県	2	11/6(土)1630 P:PIT	東日本大震災津波からの復興と地域防災力の強化 ～「防災を学習する場」としての岩手～
S14	公益財団法人 味の素ファンデーション	2	11/7(日)1000 P:PIT	「いざという時どうなる？あなたの食と栄養」vol.11 ～東日本大震災から学んだ食のチカラ～
S15	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN	2	11/7(日)1630 P:PIT	いのちを守る防災CAMP
S16	公益社団法人 日本地震学会	2	11/6(土)1030 S:鳳凰西	地域防災の担い手やジオガイドが徹底質問「地震のこと、語れるまで教えて」＝これまで分かった東北地方太平洋沖地震、何が分かっている日本海溝・千島海溝や南海トラフの地震
S17	NPO法人 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会	2	11/6(土)1430 S:鳳凰西	台風・豪雨災害から日本の森林を守る自伐型林業の可能性
S18	アールシーソリューション株式会社	2	11/6(土)1630 S:鳳凰西	わたし、防災には関心がありません！
S19	独立行政法人都市再生機構	2	11/7(日)1000 S:鳳凰西	東日本大震災からの復興支援を通じて得た知見・教訓と今後の災害対応に向けて
S20	一般社団法人男女共同参画地域みらいねと	2	11/7(日)1230 S:鳳凰西	次世代に「つなげる」、SDGs・ジェンダー視点を取り入れた中学生防災教育
S21	特定非営利活動法人日本防災士会	2	11/6(土)1030 S:鳳凰東	「令和新時代の民間防災」 ～自助・共助の新たな視点～
S22	中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	2	11/6(土)1430 S:鳳凰東	その気づきが、みんなを守る～災害リスクと事業継続への備え～
S23	岩手大学地域防災研究センター	1	11/6(土)1630 S:鳳凰東	岩手大学地域防災フォーラム：学校教育現場における防災教育・活動の融合と実質化
S24	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー	1	11/7(日)1000 S:鳳凰東	こどもが夢になる防災学習 ～主体的・対話的深い学びの具体的展開～
S25	災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	2	11/7(日)1230 S:鳳凰東	市民を守る新しい公助のカチ、共創で災害時のトイレ問題解決に挑む！
S26	広島県	3	オンラインLINE1 11/6(土)1030	土砂災害VRやマイ・タイムラインなどを活用した効果的な防災教育のあり方について
S27	防災学術連携体・日本学術会議	3	オンラインLINE1 11/6(土)1430	防災教育と災害伝承
S28	いわてNPO災害支援ネットワーク	3	オンラインLINE1 11/6(土)1630	3者連携の必要性和平時からの備え ～東日本大震災・台風被害を経験した岩手だからこそ伝えたいこと～
S29	WAA ReSCue 準備委員会	3	オンラインLINE1 11/7(日)1000	WAA ReSCue 発足記念シンポジウム
S30	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	3	オンラインLINE1 11/7(日)1230	災害伝承ミュージアム・セッション vol.3 2021 災害への備えを啓発する新たなチャレンジ
S31	内閣府防災 普及啓発・連携担当	3	オンラインLINE2 11/6(土)1030	地区防災計画の更なる可能性を考える
S32	公益社団法人 日本医師会	3	オンラインLINE2 11/6(土)1430	災害時における情報共有
S33	特定非営利活動法人東京いのちのポータルサイト	3	オンラインLINE2 11/6(土)1630	震災廃棄物（コンクリート構造物を大割で解体したブロック（シティコンと呼ぶ））を利用した海の食料増産
S34	一般社団法人日本リモートセンシング学会	3	オンラインLINE2 11/7(日)1000	地球観測による防災技術の最新動向と衛星データの活用事例の紹介
S35	よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム	3	オンラインLINE2 11/7(日)1230	ナッジで人間のリアルを踏まえた防災施策へ ～行動科学の視点から見た防災行動と事例紹介～
S36	一般社団法人DroneAI技術研究機構	3	オンラインLINE3 11/6(土)1030	災害と先端技術ーそこにAI（愛）はありますかー新避難（助）スタイル
S37	防災教育学会	3	オンラインLINE3 11/6(土)1430	災害体験を語り継ぐ意味
S38	清流の国ぎふ 防災・減災センター	3	オンラインLINE3 11/6(土)1630	主体的に防災活動ができるようになる環境づくり
S39	内閣府男女共同参画局	3	オンラインLINE3 11/7(日)1000	集まれ！ 防災女性職員とその応援団
S40	防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	3	オンラインLINE4 11/6(土)1630	公開シンポジウム「21世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは～防災統合知の構築戦略～」

会場名記号：釜石市民ホール・・・T 釜石情報交流センターPIT・・・P ホテルサンルート釜石・・・S  
 パターン1：現地出展 パターン2：現地出展+オンライン パターン3：オンライン

## ワークショップ 24団体

団体記号	出展者	パターン	日時・会場	出展タイトル
W01	一般社団法人おいしい防災塾	1	11/6(土)1000 T:スタジオA	防災お菓子ポシェット作りと防災講話
W02	日本たばこ産業株式会社	1	11/6(土)1430 T:スタジオA	段ボールジオラマ防災授業
W03	東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門	1	11/6(土)1630 T:スタジオA	防災・減災スタンプラリー! ~みんなで話して考えよう~
W04	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	1	11/6(土)1430 P:会議室2	身近なもので楽しく防災ワークショップ
W05	認定NPO法人 防災・減災サポートセンター	1	11/6(土)1630 P:会議室2	自然災害のさまざまな「目安」を実験する
W06	一般社団法人防災教育普及協会	2	11/7(日)1000 P:会議室2	防災クイズ&ゲームワークショップ in ぼうさいこくたい2021オンライン
W07	一般社団法人あてやか切り絵協会	1	11/6(土)1000 S:桐	『あてやか切り絵』ワークショップ
W08	ペット防災サポート協会	2	11/6(土)1630 S:桐	自分とペットの避難を考える それぞれの形を見つけよう
W09	防災専門図書館(公益社団法人 全国市有物件災害共済会)	1	11/7(日)1000 S:桐	防災クイズで学ぼう・体験しよう!
W10	日本ジオパークネットワーク	2	11/7(日)1230 S:桐	大地の成り立ちから知る防災のヒント
W11	海ぼうずの会(「ふじのくにDIGセミナー」参加者の会)	2	11/6(土)1000 T:スタジオB	釜石から学ぶ DIGで考える南海トラフ巨大地震に向けた津波防災まちづくり
W12	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN	2	11/6(土)1630 T:スタジオB	いのちを守る防災CAMP
W13	株式会社 東京海上日動パートナーズ東北	1	11/7(日)1000 T:スタジオB	備えあれば余裕あり!? Let'sバーチャル体験
W14	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー	1	11/7(日)1230 T:スタジオB	災害発生、さあどうする!? ~時系列で考える災害対応~
W15	日本セイフティー株式会社	3	WSライン1 11/6(土)1030	在宅避難時代到来!! 災害時あなたの地域・自宅で生き延びられるのか
W16	一般社団法人 Do It Yourself	3	WSライン1 11/6(土)1430	電子工作×防災課題「雨量計をつくらう」
W17	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	3	WSライン1 11/6(土)1630	これだけは知っておきたい 災害時の子ども支援「28の基準」(人道行動における子どもの保護の最低基準)
W18	広島市防災士ネットワーク	3	WSライン1 11/7(日)1000	鯉こいキャラバン~楽しく体験・学ぶ防災減災イベント~
W19	広島防災リーダーネットワーク会議	3	WSライン2 11/6(土)1030	避難の呼びかけ体制づくりと住民の避難行動計画作成ワークショップ
W20	防災教育チャレンジプラン実行委員会	3	WSライン2 11/6(土)1030	防災教育交流会
W21	日本赤十字社	3	WSライン2 11/6(土)1430	東日本大震災から10年 防災への意識を高めよう「日頃の備え・避難することになったら、なにが必要?」
W22	母と子の育児支援ネットワーク	3	WSライン2 11/7(日)1230	災害時における授乳アセスメント(聞き取り) を体験しよう
W23	一般社団法人危機管理教育研究所	3	WSライン3 11/6(土)1430	「話題のFMB(ファーストミッションボックス)を体験してみよう」 <a href="https://fmbbox.jp/">https://fmbbox.jp/</a>
W24	株式会社ピースポーク	3	オンデマンド	AIチャットボットによる災害時対応と防災DXの推進

## プレゼンブース 100団体

団体記号	出展者	パターン	キーワード	出展タイトル
P01	河村電器産業株式会社	1	地震・火山	地震による電気火災を減らす 感震ブレーカーのご紹介
P02	一般社団法人 日本建設業連合会	1	地震・火山	建設会社の防災活動
P03	一般社団法人 危機管理・労働災害防止機構	1	地震・火山	まさか 被災するなんて 「自分は大丈夫」は不安全行動の始まり
P04	独立行政法人都市再生機構	1	地震・火山	頻発する自然災害に備えて ~東日本大震災からの復興支援や災害対応支援の取り組みの紹介~
P05	一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ	1	地震・火山	「逃げ地図」と「キツネを探せ!」の紹介と体験
P06	株式会社 技研製作所	1	地震・火山	地震や津波に粘り強い「インプラント構造物」
P07	一般社団法人 日本照明工業会	1	その他(あかりでエリア防災)	みんなで考えましょう!「あかり」による防災とくみ
P08	株式会社アクアキューブ	1	その他(ドクターヘリ)	ヘリポート夜間照明システム(可搬型HEXAGON⇒ドクターヘリ)
P09	エピスタコポーレーション / 株式会社プリート	1	その他(感染対策)	ノンアルコール・アトピー肌用化粧品から生まれたウエットティッシュ(化粧品類)!
P10	復興庁岩手復興局	1	その他(震災復興)	東日本大震災からの復興の状況と取組
P11	特定非営利活動法人全国足紋普及協会	1	その他(被災者の身元確認)	被災者の身元確認に有効な「足紋」の採取会
P12	よんなな防災会学生部	1	その他(学生)	行政をはじめとした幅広い防災の繋がりを全国へ
P13	株式会社サンコー	1	備蓄・グッズ	災害時のトイレ問題を解決
P14	パナソニックライティングデバイス 株式会社	1	備蓄・グッズ	防災対策用 タングステン耐切削手袋

## プレゼンブース 100団体

パターン1：現地出展    パターン2：現地出展+オンライン    パターン3：オンライン

団体記号	出展者	パターン	キーワード	出展タイトル
P15	大丸鐵興株式会社	1	風水害	断水の備えに飲用水の備蓄だけでは足りません、生活水の備蓄も考えませんか？
P16	国土交通省 国土技術政策総合研究所	1	風水害	「国総研」は、日本の国土を診る【総合病院】
P17	名古屋学芸大学	1	教育	復興支援活動(東日本大震災)を通しての学生の学び (2014年度から2020年度までの学生の活動と学び)
P18	株式会社リブライト	1	教育	小中学生に向けた防災企画
P19	一般社団法人防災教育普及協会	1	教育	いのちを守る防災教育の実践
P20	防災教育学会	1	教育	災害体験を語り継ぐ意味
P21	宮城県多賀城高等学校	1	教育	宮城県多賀城高等学校 防災減災教育の取組～東日本大震災から10年が経過して～
P22	特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	2	教育	子どもの未来のために・・防災自助は子どもの頃から始まる
P23	(株)ハタヤリミテッド	1	地域防災	「公助」・「自助」・「共助」に対する「備え」
P24	特定非営利活動法人日本防災士会	1	地域防災	防災士制度の普及活動、防災士のための活動支援、情報提供
P25	静岡大学学生防災ネットワーク	1	地域防災	地域に根付いた学生防災とは？
P26	有限会社鈴木	1	地域防災	雪国を幸国に変える
P27	国立歴史民俗博物館	1	地域防災	歴史文化の災害対策 ―「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の紹介―
P28	シンロイ株式会社	1	地域防災	自身の安否や、支援物資の要望を「見せる」「伝える」防災グッズ
P29	公立大学法人岩手県立大学	1	地域防災	地域の避難訓練、防災計画づくり、岩手県立大がお手伝いします！
P30	HIGASHI DE AERU 呼び水プロジェクト「あかしの井戸」	1	地域防災	「あかしの井戸」新しい井戸と井戸端
P31	岩手県	1	地域防災	復興の歩み
P32	三信建設工業株式会社	2	地域防災	地盤技術のプロバイダー
P33	よんなな防災会	2	地域防災	行政をはじめとした幅広い防災の繋がりを全国へ
P34	一般社団法人 日本防災プラットフォーム (JBP)	1	国際	産官学の連携で防災ビジネスのイノベーションを推進！
P35	一般財団法人 自治体国際化協会 (CLAIR:クリア)	1	国際	災害時の外国人支援の取組や、多言語表示・指さして会話ができるツールを紹介！
P36	竹内工業株式会社	1	自助・共助	ジャッキのパワーを体験しよう！
P37	LACITA	1	自助・共助	新時代の防災必需品 「ポータブル電源」
P38	一般財団法人 防災教育推進協会	1	自助・共助	日本人の防災力向上と防災教育プログラムのご紹介
P39	特定非営利活動法人都市環境標識協会	1	自助・共助	全国統一型避難誘導標識の普及・啓発について
P40	こくみん共済 coop (全国労働者共済生活協同組合連合会)	1	自助・共助	お住いの地盤診断サービス ～地盤の強さや、自然災害のリスクを確認～
P41	日本たばこ産業株式会社	1	地域防災	Rethink PROJECT 東日本大震災復興支援
P42	一般社団法人 7 2 時間サイバール教育協会	1	自助・共助	子どもたちが自ら考えて行動する力を身につける体験学習
P43	株式会社ゼンリン	1	自助・共助	まちを知ることから始めよう～地図×防災～
P44	株式会社レジリエンスラボ/株式会社明電舎	1	自助・共助	レジリエンスの高い持続力のある社会を目指して ～燃料・電源等のエネルギーに関する共同備蓄スキーム～
P45	帝人フロンティア株式会社	1	自助・共助	まると防災WITH感染対策～ニューノーマル時代の防災～
P46	独立行政法人 中小企業基盤整備機構	1	企業防災	経営の強靱化を支援します！
P47	内閣官房国土強靱化推進室	1	防災行政	国土強靱化の取組について
P48	公益社団法人 日本非常食推進機構	1	防災行政	SDGs に寄与する防災備蓄品の有効活用
P49	地震調査研究推進本部/文部科学省研究開発局地震・防災研究課	1	防災行政	地震調査研究推進本部の取組について
P50	盛岡地方気象台	1	防災行政	防災気象情報の利活用
P51	広島市	2	防災行政	わがまちは自分たちで守る「防災まちづくり事業」について
P52	仙台市防災環境都市推進室	1	防災行政	「防災環境都市・仙台」の実現に向けて
P53	公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館	1	災害教訓・伝承	東日本大震災・原子力災害伝承館
P54	NPO 津波太郎	1	災害教訓・伝承	津波防災の聖地 津波太郎 (田老) の津波防災文化から学ぶ-津波警報技術の向上で安心安全な社会を-
P55	宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課	1	災害教訓・伝承	宮城県震災復興パネル展「あなたの応援を力に。今までも。これからも。」
P56	日本労働組合総連合会 (連合)	1	災害教訓・伝承	連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～
P57	福島県	1	災害教訓・伝承	福島県の復興状況
P58	株式会社 東京海上日動パートナーズ東北	1	災害教訓・伝承	3.11リボンプロジェクト～あの日を忘れない、未来を結ぶ絆～

## プレゼンブース 100団体

パターン1：現地出展    パターン2：現地出展+オンライン    パターン3：オンライン

団体記号	出展者	パターン	キーワード	出展タイトル
P59	一般財団法人 世界防災フォーラム	1	災害教訓・伝承	世界防災フォーラム World Bosai Walk TOHOKU+10 のご紹介
P60	国立国会図書館	1	災害教訓・伝承	国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）
P61	Y Y 防災	3	避難・避難所 (オンライン)	地域防災・学校防災
P62	環境省自然環境局総務課動物愛護管理室	1	避難・避難所	大丈夫？ あなたとペットの災害対策
P63	一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	2	避難・避難所	福祉BCPと福祉避難所
P64	株式会社メルシー	1	医療・福祉	コンパクトマッサージー 「エスコート・H」
P65	株式会社ヤマト	1	医療・福祉	血行促進
P66	国立研究開発法人情報通信研究機構	1	科学・技術	ダイハードネットワーク®
P67	株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)	1	科学・技術	通信途絶時でも使える可搬型ローカル通信システム（LACS）と災害情報のスムーズな取得/共有/発信を可能にするポータルSIP4D
P68	防災科学技術研究所	1	科学・技術	防災科研が取り組む防災・減災に関する様々な研究活動や陸海統合地震津波火山観測網「MOWLAS」の紹介
P69	東北大学災害科学国際研究所	1	科学・技術	東北大学災害科学国際研究所の社会への発信
P70	株式会社唐丹小浜浜まちづくりセンター	1	都市・建築・住宅	三陸漁業集落の震災復興まちづくり
P71	株式会社 エスエスティー協会	1	都市・建築・住宅	国土を強靱にする地盤改良技術
P72	南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議	1	南海トラフ	東日本大震災を教訓を活かし、南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進めよう
P73	防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト	2	南海トラフ	南海トラフ地震に備える -防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト-
P74	海ぼうずの会（「ふじのくにDIGセミナー」参加者の会）	2	南海トラフ	「DIG2022津波防災編」で考える東日本大震災と南海トラフ巨大地震の津波防災
P75	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会	1	ボランティア	1日でも早くふだんの暮らしを取り戻すため～災害ボランティア活動の紹介～
P76	イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	1	ボランティア	地域と共に歩んだ復興への道のり
P77	丸木医科器械株式会社	1	災害情報	災害時施設状況伝達横断幕SOSシート
P78	一般社団法人みんぼうネットワーク	1	災害情報	みんぼうネットワークの取り組み
P79	ジオわーくサイエンス	1	災害情報	ジオわーくサイエンスの取り組み
P80	防災ママかきつばた	3	地域防災 (オンライン)	絵本×オンライン×地域×ママの防災活動紹介
P81	一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク	3	地域防災 (オンライン)	段ボールジオラマ防災授業
P82	一般社団法人全国建設業協会	3	地域防災 (オンライン)	つくる！なおす！まもる！地域建設業の取り組み
P83	イオン株式会社	3	地域防災 (オンライン)	地域とともに未来を創る～東日本大震災から10年～
P84	NPO法人 岡山NPOセンター	3	地域防災 (オンライン)	災害支援のWikipedia「サイガイベティア」と、物資支援のコーディネートツール
P85	豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」	3	防災行政 (オンライン)	ドローンを駆使し南海トラフ地震から豊橋市及び東三河地域を守る！豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」
P86	公益社団法人中越防災安全推進機構	3	防災行政 (オンライン)	支援物資の発注業務をDX化するスマートサブライEC
P87	株式会社スギタ	3	備蓄・グッズ (オンライン)	防災避難着 早期発見全身反射ポンチョ
P88	有限会社 西谷	3	備蓄・グッズ (オンライン)	子育て世代の災害時の悩みや不安に向き合い続ける防災ボックス
P89	一般社団法人 防災安全協会	3	備蓄・グッズ (オンライン)	新しい防災資格「災害備蓄管理士」の受講募集
P90	江崎グリコ株式会社	3	備蓄・グッズ (オンライン)	温めずに食べられるレトルトカレー“常備用カレー職人”のご紹介
P91	鹿児島市	3	地震・火山 (オンライン)	火山防災トップシティ 鹿児島市
P92	富士フィルムシステムサービス株式会社	3	地震・火山 (オンライン)	一全国に先駆けた防災・減災DXプロジェクトー 『罹災証明交付迅速化に向けた取り組み』
P93	ビット・パーク株式会社	3	避難・避難所 (オンライン)	避難所ソリューション。市内全域の避難所開設を“ココBOX”でスムーズに展開。
P94	WPPグループ Japan Pet Press	3	ペット (オンライン)	一命から読み解く災害への備えー
P95	防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	3	災害教訓・伝承 (オンライン)	防災専門図書館企画展「東日本大震災から10年」を開催！
P96	NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	3	医療・福祉 (オンライン)	平時の支援： 災害時 乳幼児が適切な栄養を受け取れるために
P97	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	3	教育 (オンライン)	「福島から発信する防災教育」
P98	三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	3	自助・共助 (オンライン)	みえ防災・減災センター及びみえ防災・減災アーカイブの紹介
P99	機能ガラス普及推進協議会	3	その他（防災安全 合わせガラス） (オンライン)	防災安全合わせガラスの有効性
P100	国際復興支援プラットフォーム（IRP）	3	国際 (オンライン)	「Build Back Better（よりよい復興）」に関する経験と教訓の発信

## 屋外展示 23団体

パターン1：現地出展    パターン2：現地出展+オンライン    パターン3：オンライン

団体記号	出展者	パターン	出展方法	出展タイトル
O01	NPO法人日本防災用品技術研究協会	2	テント	老いも若きも みな一緒に介助運搬車（手押し車）で避難。
O02	アイコム株式会社	1	テント	進化し続けるけるトランシーバー - トランシーバー 10年間の進化 -
O04	ホリカフーズ株式会社	1	テント	災害食を通じて人々を支える
O05	一般社団法人 浄化槽システム協会	1	テント	災害に強い浄化槽システム
O06	日東工業株式会社	1	テント	体験可！感震ブレーカー & 停電時の携帯充電
O07	株式会社M-T-NET	2	テント	震災10年。改めて考えるその時のモノとココロの「備え」
O08	株式会社フジタ	1	テント	“ぼうさいのフジタ”～総合建設会社によるハード/ソフトぼうさいへの取り組み
O09	株式会社白獅子	2	テント	「VRの技術を使った災害体験と、より効果の高い避難広報への提案」
O10	熊本県	1	テント	熊本地震から5年。令和2年7月豪雨から1年。「創造的復興」のいま。
O11	公益社団法人日本技術士会防災支援委員会	2	テント	科学技術で大規模災害の被害を軽減
O12	震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）	1	テント	教訓が、いのちを救う『3.11伝承ロード』
O13	一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	1	テント	災害用トイレの備蓄調査の結果発表
O14	有限会社アシストコム	1	テント	VRやICTを活用した防災減災学習
O15	株式会社 JINRIKI	1	テント	要配慮者避難 着脱けん引式車いす補助装置体験
O16	アールシーソリューション株式会社	1	テント	【ゆれくる遊撃隊】オリジナルのサブバイバルカードを作ろう！
O17	日本赤十字社	1	テント	東日本大震災から10年 防災への意識を高めよう「日頃の備え・避難することになったら、なにが必要？」
O18	株式会社NTTドコモ 東北支社 岩手支店	1	車両	NTTドコモの災害対策
O19	公益社団法人 日本薬剤師会	1	車両	薬剤師会 モバイルファーマシー展示
O20	総務省 東北総合通信局	1	車両	非常災害時における通信・放送の確保のために
O21	岩手県	1	車両	「防災そばっちょ号」（地震体験車）による防災体験
O22	災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	1	車両	市民を守る新しい公助のカチ、共創で災害時のトイレ問題解決に挑む！
O23	自衛隊岩手地方協力本部	1	車両	車両展示
O24	東日本電信電話株式会社 岩手支店	1	車両	NTT東日本の災害における取り組み(災害対策機器の展示・サービスの体験)

プログラム

---

11月6日 (土)

〈セッション〉

		10:30-12:00	12:15- 12:55	13:00-14:00	14:30-16:00	16:30-18:00
釜石市民ホール TETTO	ホールA	S01 TEAM防災ジャパン	オープニング セレモニー	オープニング& オープニング ディスカッション	ハイレベル セッション	S02 公益財団法人 日本消防協会
	ホールB	S05 株式会社 JINRIKI			S06 東北大学 災害科学国際研究所	S07 一般財団法人 危機管理教育&演習センター
釜石 PIT	多目的 集会室	S11 東京大学大学院情報学環総合防 災情報研究センター/ 生産技術研 究所附属災害対策トレーニングセン ター (DMTC)			S12 一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム	S13 岩手県
サンルート	鳳凰 (西)	S16 公益社団法人 日本地震学会			S17 NPO法人 持続可能な環境共生林業を実現 する自伐型林業推進協会	S18 アールシーソリューション 株式会社
	鳳凰 (東)	S21 特定非営利活動法人 日本防災士会			S22 中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	S23 岩手大学地域 防災研究センター
配信	LINE1	S26 広島県			S27 防災学術連携体・ 日本学術会議	S28 特定非営利活動法人 いわて連携復興センター、 いわてNPO災害支援ネットワーク
	LINE2	S31 内閣府防災担当 普及啓発・連携担当			S32 公益社団法人 日本医師会	S33 特定非営利活動法人 東京いのちのポータルサイト
	LINE3	S36 一般社団法人DroneAI 技術研究機構			S37 防災教育学会	S38 清流の国ぎふ 防災・減災センター
	LINE4					S40 防災減災連携研究ハブ、 日本学術会議土木工学・ 建築学委員会IRDR分科会

〈ワークショップ〉

釜石市民ホール TETTO	スタジオA	W01 一般社団法人 おいしい防災塾			W02 日本たばこ産業 株式会社	W03 東北大学 災害科学国際研究所 地震津波リスク評価 (東京海上日 動) 寄附研究部門
	スタジオB	W11 海ぼうずの会 (「ふじのくにDIGセミナー」 参加者の会)				W12 一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN
	会議室2				W04 公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟	W05 認定NPO法人 防災・減災サポートセンター
サンルート	桐	W07 一般社団法人 あてやか切り絵協会				W08 ペット防災サポート協会
配信	LINE1	W15 日本セーフティー 株式会社			W16 一般社団法人 Do It Yourself	W17 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
	LINE2	W20 防災教育チャレンジプラン 実行委員会			W21 日本赤十字社	
	LINE3				W23 一般社団法人 危機管理教育研究所	
	オンデマンド	W24 株式会社ピースポーク				

11月7日 (日)

〈セッション〉

		10:00-11:30	12:30-14:00	14:30-15:30
釜石市民ホール TETTO	ホールA	S03 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネッ トワーク (JVOAD)	S04 一般社団法人 日本損害保険協会	クロージング
	ホールB	S08 TEAM防災ジャパンメディアチーム	S09 特定非営利活動法人 事業継続推進機構	
	スタジオA	S10 災害文化研究会		
釜石 PIT	多目的 集会室	S14 公益財団法人 味の素ファンデーション	S15 一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN	
サンルート	鳳凰 (西)	S19 独立行政法人都市再生機構	S20 一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと	
	鳳凰 (東)	S24 株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー	S25 災害派遣トイレネットワーク 「みんな元気になるトイレ」	
配信	LINE1	S29 WAA ReSCue 準備委員会	S30 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	
	LINE2	S34 一般社団法人 日本リモートセンシング学会	S35 よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム	
	LINE3	S39 内閣府男女共同参画局		

〈ワークショップ〉

釜石市民ホール TETTO	会議室2	W06 一般社団法人 防災教育普及協会		
	スタジオB	W13 株式会社 東京海上日動パートナーズ東北	W14 株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー	
サンルート	桐	W09 防災専門図書館 (公益社団法人 全国市有物件災害共済会)	W10 日本ジオパークネットワーク	
配信	LINE1	W18 広島市防災士ネットワーク	W19 広島防災リーダーネットワーク会議	
	LINE2		W22 母と子の育児支援ネットワーク	
	オンデマンド	W24 株式会社ピースポーク		

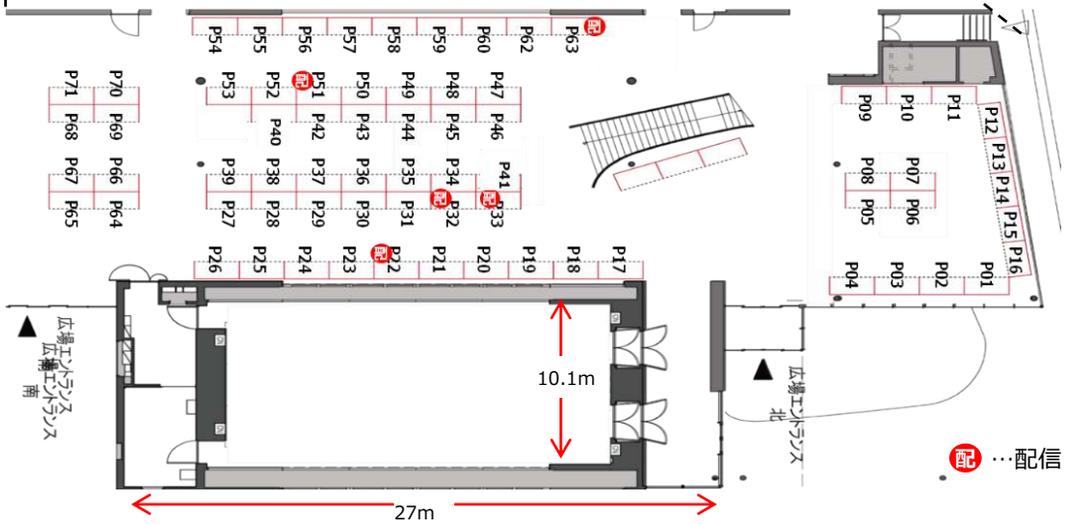
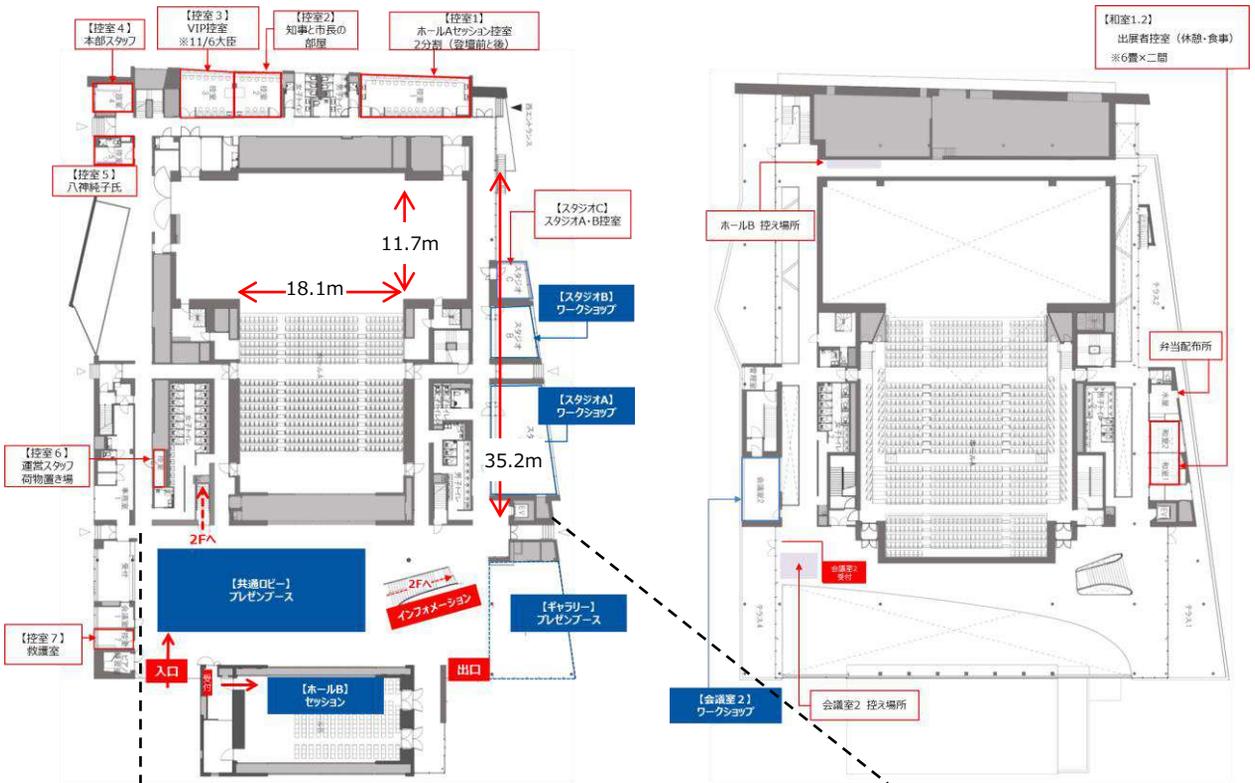
会場





■ 釜石市民ホールTETTO 1F

■ 釜石市民ホールTETTO 2F



プレゼンブース  
●小間サイズ

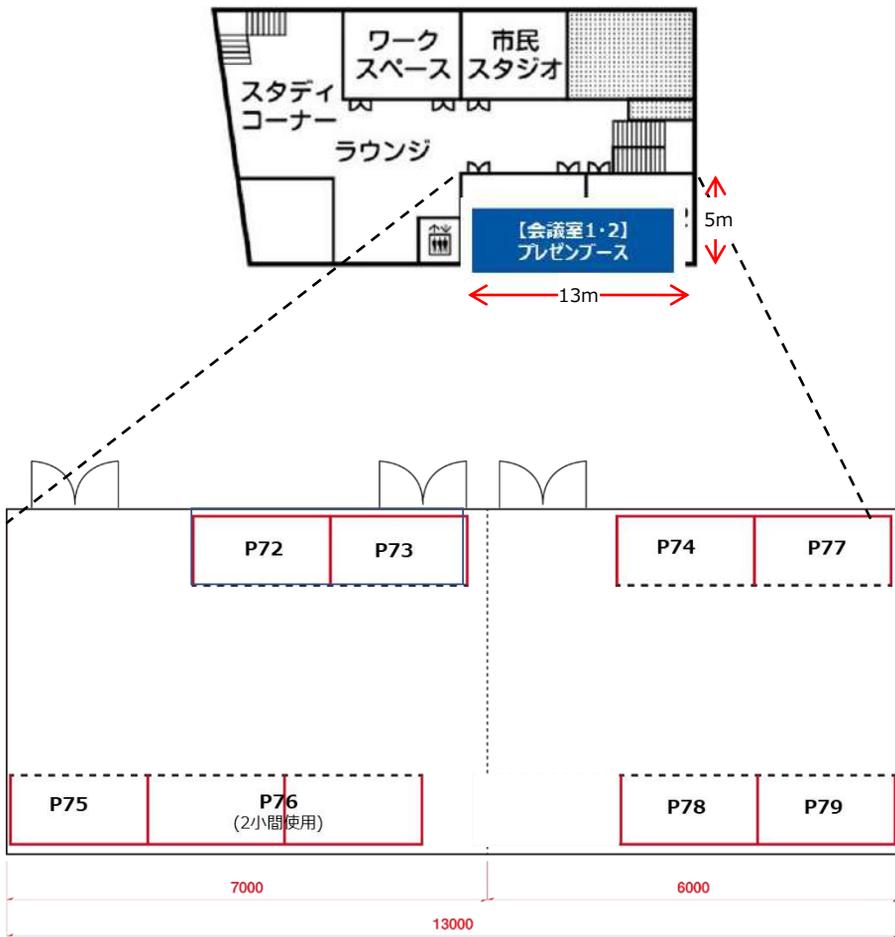
幅1980mm×奥990mm×高2400mm

■ 釜石情報交流センター

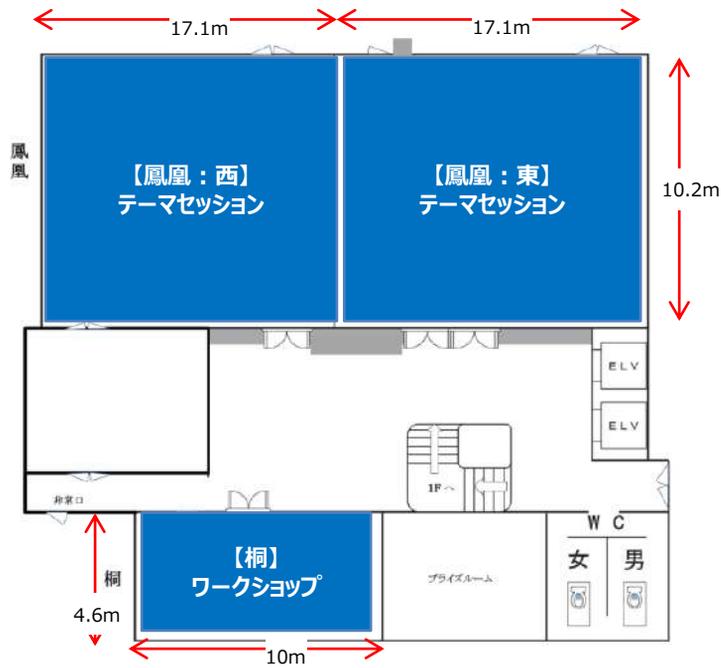
1F



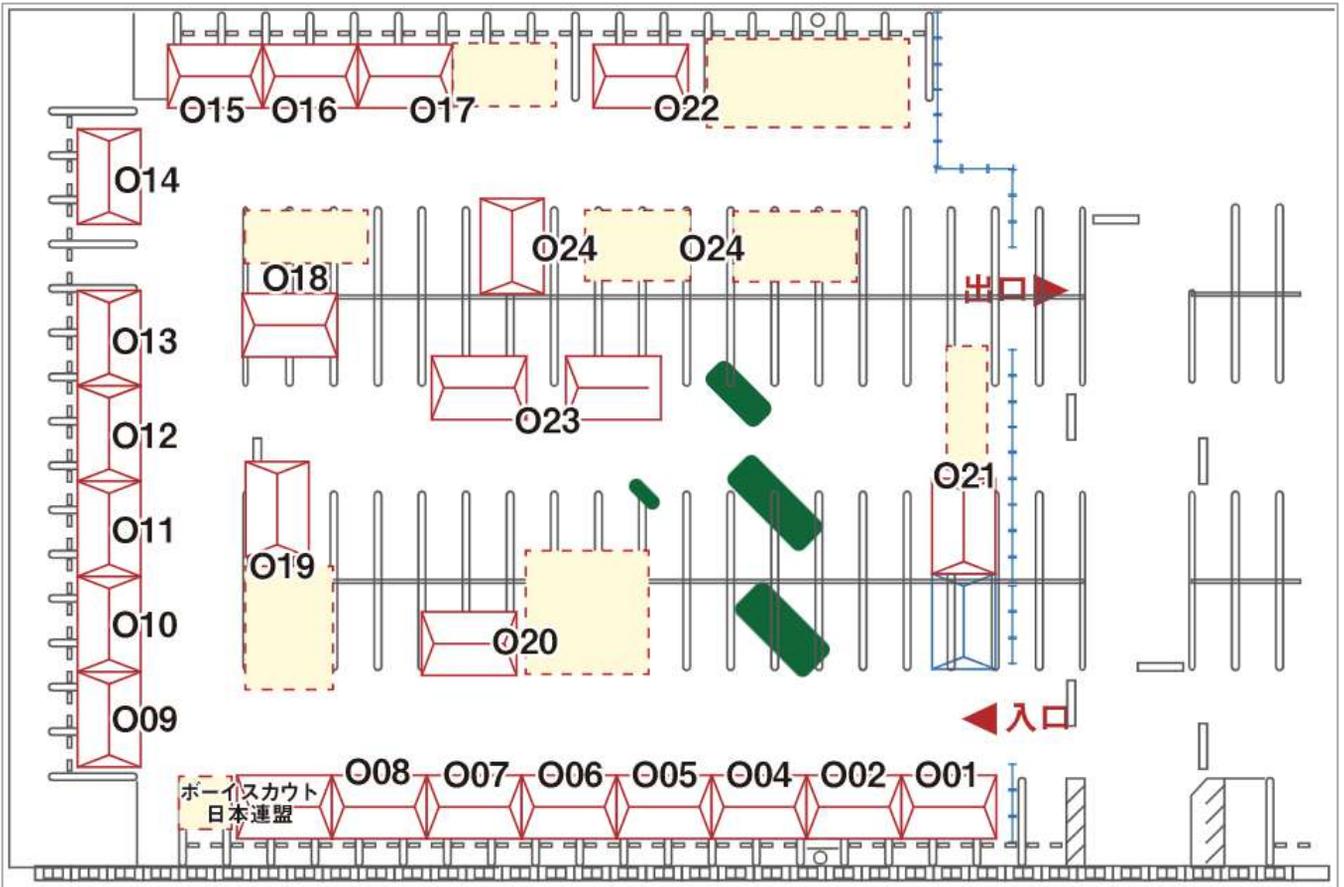
2F



■ホテルサンルート釜石 2F



■イオンタウン釜石第2駐車場



テント

●サイズ

幅5400mm×奥3600mm

## セッション詳細

---

内閣府防災担当大臣の二之湯智でございます。

「防災推進国民大会2021」の開会にあたり、主催者を代表してご挨拶申し上げます。

今年も、七月に起きた静岡県熱海市の土石流をはじめ、各地で災害が相次ぎました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

さて、今年の「ぼうさいこくたい」は、東日本大震災から10年の節目を迎えた、ここ、岩手県釜石市で開催することといたしました。

あの未曾有の津波被害を受けた釜石のまちは、10年の歳月を経て、見事に復興を遂げつつあります。一方で、ご遺族や被災者のご心痛は、決して癒えるものではありません。

そのような中、釜石市では、平成31年3月に「釜石市防災市民憲章」を制定されました。これは、災害の教訓を後世に引き継いでいくという市民の決意を示されたものです。



振り返れば、我が国の災害対策は、大災害の教訓を形にすることで発展してきました。

昭和34年の伊勢湾台風は、全国に大きな被害をもたらしましたが、これを契機に作られたのが、災害対策の根幹をなす災害対策基本法です。この法律は、今年で制定60年を迎えます。

その後、平成7年には阪神・淡路大震災が発生し、これを契機に建物の耐震化などが進みました。また、この震災では、多くのボランティアが活躍し、「ボランティア元年」とも言われましたが、今やボランティアは被災地に欠かせない存在です。

そして、10年前の東日本大震災は、戦後三度目となる災害対策の大きな転換点でした。とりわけ、ハード対策では災害は防ぎきれず、命を守るためには、何よりも避難することが大切だということが、広く認識されました。

さて、今年の「ぼうさいこくたい」のテーマは、「つながりが創る復興と防災力」です。震災の記憶を風化させることなく、次の世代に語り継ぐことで、防災意識の向上や防災の担い手の育成につなげていこうというものです。

災害の多い我が国で、その被害を最小限に抑えるためには、我々一人ひとりの努力が必要です。国民一人ひとりが、正しい知識を身につけ、実践していただくことが重要になってまいります。

今回の大会には、行政、企業、各種団体、学術界など防災に関わる約170の団体が参加し、それぞれの取組や経験などを発表していただきます。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策の観点も踏まえ、オンラインと現地の二つの参加方法を組み合わせた開催形式といたしました。それぞれの参加方法のメリットをうまく組合せて、たくさんの方々にご参加いただき、防災をめぐる新しい出会いや、新たなつながりが生まれることを期待しております。そして、防災の輪が全国各地に広がって、我が国の防災力が一層強化されることを願っております。

結びに、ご出席の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

## 釜石市民ホールTETTO

**S01**  
**ホールA**  
**11/6(土)**  
**10:30~12:00**

## 岩手・釜石の東日本大震災10年の活動に 学び、熱のある多様なつながりをつくる

主催：TEAM防災ジャパン

ぼうさいのお隣さんとつながろう～岩手・釜石発、グラスルーツ活動とネットワーク化～現地では、TEAM防災ジャパン「ぼうさいのお隣さん」に出た岩手・釜石のみなさん、及びお世話係、アドバイザーが集合。活動報告とつながりの作り方について、パネルディスカッション、全国のみなさんとオンラインで意見交換を行い、草の根のつながりを広げました。TEAM防災ジャパンお世話係の澤田雅浩がファシリテーションを行いました。

■登壇者

澤田 雅浩 兵庫県立大学減災復興政策研究科

■話題提供者

鹿野 順一 @リアスNPOサポートセンター  
 葛巻 徹 いわて連携復興センター  
 大棒 秀一 NPO法人津波太郎 理事長  
 早川 輝 NPO法人みやっこベース 理事長  
 山野目 久子 NPO法人母と子の虹の架け橋 理事長  
 江刺 由紀子 NPO法人おはなしころりん 理事長  
 伊藤 昌子 NPO法人きらりんきっず 代表理事  
 黍原 豊 一般社団法人三陸駒舎 理事  
 伊藤 聡 一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 代表理事



**ホールA**  
**11/6(土)**  
**12:15~12:55**

## オープニングセレモニー

開催地、いわて釜石からのオープニングセレモニー

■司会者 柴柳 二郎 テレビ岩手 アナウンサー

12:15~  
12:27

いのちをつなぐ未来館 オンラインツアー（動画配信）

12:27~  
12:52

八神純子氏のメッセージ&楽曲披露



12:53~  
12:58

釜石商工高校による商工虎舞披露（動画配信）



ホールA  
11/6(土)  
13:00~13:20

## オープニング

主催：内閣府

13:01~  
13:06

### 主催挨拶

内閣府特命担当大臣（防災）二之湯 智



13:06~  
13:11

防災推進国民会議 議長、防災推進協議会 会長（日本赤十字社 社長）大塚 義治  
(収録動画)



13:11~  
13:20

### 開催地挨拶

岩手県知事 達増 拓也



釜石市長 野田 武則



ホールA  
11/6(土)  
13:20~14:00

## オープニングディスカッション

主催：内閣府

### ■登壇者

- |       |   |
|-------|---|
| 川崎 杏樹 | 株式会社かまいしDMC 地域創生事業部<br>鵜住居トモス運営課、いのちをつなぐ未来館勤務                       |
| 杉本 伸一 | 雲仙岳災害記念館館長  |
| 瀬戸 真之 | 東日本大震災・原子力災害伝承館<br>事業課 課長代理 福島大学客員准教授                               |
| 田代 浩一 | 宮城県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課<br>課長（みやぎ東日本大震災津波伝承館における震災伝承展示の管理運営を所管する主務課長） |
| 原田 吉信 | （一財）3.11伝承ロード推進機構 事務局長  |



ホールA  
11/6(土)  
14:30~16:00

## ハイレベルセッション つながりが創る復興と防災力～東日本大震災の経験から～

主催：内閣府

大震災から10年。岩手県をはじめとする東北被災地は、街の復興はもとより、住民の防災意識向上、復興の担い手の育成など、ハード・ソフトの両面から、「より良い復興」(Build Back Better)に取り組んできました。被災地の復興と防災力強化を担ってきた内外のリーダーたちをつなぎ、10年間の経験と未来のビジョンを語っていただきました。

### ■登壇者

- |        |  |
|--------|--|
| 板橋 恵子  | 株式会社エフエム仙台 防災・減災プロデューサー<br>仙台市防災会議委員 (オンライン)   |
| 岩崎 昭子  | 旅館 宝来館 女将<br>(一社) 根浜MIND代表理事                   |
| 及川 善弥  | 三陸フィッシュペースト株式会社<br>代表取締役社長                     |
| 神谷 未生  | 一般社団法人おらが大槌夢広場 代表理事                            |
| 越谷 信   | 岩手大学理工学部教授/<br>地域防災研究センター長                     |
| 佐藤 摩利子 | 国連人口基金 駐日事務所長<br>釜石市地方創生アドバイザー                 |
| 中川 優芽  | 富士宮市立富丘小学校 教諭<br>(防災教育担当)<br>慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 |
| 野田 武則  | 釜石市長   |
| 村上 威夫  | 内閣府 政策統括官 (防災担当) 付<br>参事官 (普及啓発・連携担当)          |



**S02**  
**ホールA**  
**11/6(土)**  
**16:30~18:00**

## 災害廃棄物の処理

主催：公益財団法人 日本消防協会

災害廃棄物は、東日本大震災では、巨大津波も加わって、膨大な量が発生し、その後も各地で大量に発生しているが、災害廃棄物は、発災直後の被災者の生活維持にとって問題であるほか、早期の復旧復興を進めるうえでも重要な課題である。そのため、東日本大震災発災後、地元の県、市町村は国と連携し、最大限の努力を尽くしたがその経験を活かしながら、より速やかな解決を図ることができるよう、関係の方々による討論を行った。

### ■登壇者

室崎 益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授
吉岡 敏明	東北大学大学院環境科学研究科教授
舟山 重則	一般社団法人日本災害対応システムズ事務局長
佐々木 秀幸	岩手県環境生活部資源循環推進課総括課長
須田 恵理子	環境省 環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室 災害廃棄物対策官
秋本 敏文	公益財団法人日本消防協会会長



**S03**  
ホールA  
11/7(日)  
10:00~11:30

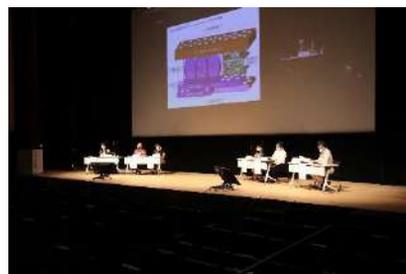
## どこで災害が起きても支援を届ける コーディネーション

主催：特定非営利活動法人  
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)

「東日本大震災」以降、毎年のように広域で多発的な自然災害が起きています。その後、「熊本地震」を契機に被災地で復興支援にあたる行政、社会福祉協議会（社協）、民間による「三者連携」が進んできました。さらに、支援の「モレ、ムラ」をなくすため「三者連携」をベースとした多様な支援主体との連携を調整する、「災害支援コーディネーション」の重要性が増しています。当セッションでは、その重要性の理解を深めました。

### ■登壇者

萩原 玲子	内閣府 政策統括官（防災担当）付 企画官（普及啓発・連携担当）
小川 耕平	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長
葛巻 徹	いわてNPO災害支援ネットワーク (INDS) 共同代表 NPO法人いわて連携復興センター 代表理事
山田 幹夫	公益財団法人味の素ファンデーション(TAF) シニアアドバイザー
法橋 華子	公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部 プログラム・オフィサー
明城 徹也	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 事務局長
吉田 仁美	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 事業部



**S04**  
ホールA  
11/7(日)  
12:30~14:00

## 東日本大震災、これまでの10年、 これからの10年～伝承・教育の未来～

主催：一般社団法人 日本損害保険協会

### 【テーマ】

本セッション（パネルディスカッション）では、東日本大震災から10年が経った今、各分野の有識者が集い、災害伝承と防災教育の進歩と課題を振り返り、これからの災害伝承と防災教育の在り方を提言するとともに、地震保険による備えの重要性を伝えました。

### ■登壇者

武田 真一	宮城教育大学特任教授／ 3.11メモリアルネットワーク代表
桜井 愛子	東洋英和女学院大学 兼 東北大学災害科学国際研究所 教授
小松 則也	吉浜教えの里プロジェクト事務局長／ 大船渡市立猪川小学校教諭
菊池 のどか	株式会社 8 kurasu防災教育推進担当
杉山 雅和	日本損害保険協会岩手損保会会長／ 三井住友海上岩手支店長
甲斐谷 望	IBC岩手放送アナウンサー



ホールA  
11/7(日)  
14:30~15:30

## クロージング

主催：内閣府

14:30~  
14:34

釜石東中学校 合唱（動画配信）



14:36~  
14:52

「夢団～未来へつなげるONE TEAM～」&市川淳子氏  
感謝のメッセージ



14:54~  
15:32

閉会挨拶

防災推進国民会議副議長、日本消防協会会長 秋本 敏文（収録動画）  
岩手大学理工学部教授／地域防災研究センター長 越谷 信  
防災推進協議会運営委員会委員長 日本損害保険協会業務企画部長 佐々木 修  
兵庫県防災監 藤原 俊平（収録動画）  
内閣府副大臣（防災担当） 大野 敬太郎（収録動画）



## 釜石市民ホールTETTO

**S05**  
ホールB  
11/6(土)  
10:30~12:00

## 避難を！命をあきらめない！震災から生まれた車いすの避難用具で、命を守る行動を！

主催：株式会社 JINRIKI

セッションでは自治体（陸前高田市・名古屋市）、障がい者や団体（脊髄損傷者連絡会・日本身体障害者連合会）、介護事業者等に登壇をお願いしました。

屋外展示では車いすで障害物を乗り越える体験をして頂きました。

### ■登壇者

岩鼻 千代美	釜石市 保健福祉部 地域福祉課 課長補佐
金野 義男	平田（へいた）どうもの会事務局長
村田 奈々	パラ水泳選手
小山 賢	グループホームやかた管理者
中村 正善	(株)JINRIKI 代表取締役社長



**S06**  
ホールB  
11/6(土)  
14:30~16:00

## 社会と東北大学が共につむぐ レジリエントな世界

主催：東北大学 災害科学国際研究所

東北大学の災害科学国際研究所は、令和3年度から災害評価・低減、災害人文社会、災害医学の3つの研究部門と防災実践推進部門に組織を再編し、幅広い連携先と災害科学研究と、成果の社会での実践を強化しています。今回はみやぎ防災・減災円卓会議のご協力も得て、研究成果の社会実装の取組みを紹介しました。

### ■登壇者

武田 真一	防災・減災円卓会議
越村 俊一	東北大学 災害科学国際研究所
村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所
佐藤 翔輔	東北大学 災害科学国際研究所
丸谷 浩明	東北大学 災害科学国際研究所



## 釜石市民ホールTETTO

**S07**  
ホールB  
11/6(土)  
16:30~18:00

## ラストワンマイルにいかにか、緊急支援物資を届けるか～プッシュ型支援輸送を考える～

主催：一般財団法人 危機管理教育&演習センター

災害が多発する中で、緊急支援物資輸送において、肝心な物資が被災者に届けられないといったラストワンマイル問題に対して、いかに緊急支援物資を届けるか過去の災害事例の教訓を踏まえ、ボトルネックを抽出し、参加者からの意見もいただき改善方策、効率的な「プッシュ型支援輸送」のあり方を検討しました。

### ■登壇者

齋藤 輝彦	国土交通省 総合政策局技術政策課 技術基準企画調整室長
荒谷 太郎	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所・海上技術安全研究所知識・データシステム系 知識システム研究グループ
細坪 信二	一般財団法人危機管理教育&演習センター 理事長
市原 和雄	株式会社プロドローン 常務取締役
山口 正幸	東京都江戸川区 危機管理部 部長



**S08**  
ホールB  
11/7(日)  
10:00~11:30

## 防災・減災への新聞社の取り組み・役割

主催：TEAM防災ジャパンメディアチーム

ニュースパーク（日本新聞博物館）が、今年開催した企画展「伝える、寄り添う、守るー『3・11』から10年」の展示や、被災3県だけでなく阪神大震災を地元で伝えた神戸新聞も参加したシンポジウムの内容を共有。当日は、地元の岩手日報や、南海トラフ地震に向き合う取り組みを続ける中日新聞、TEAM防災ジャパンの福和伸夫、佐藤翔輔、中川和之のコーディネートで議論しました。

### ■登壇者

ニュースパーク（日本新聞博物館）	
室崎 益輝	兵庫県立大学 減災復興政策研究科長
川端 章子	岩手日報社釜石支局長
寺本 政司	中日新聞社名古屋本社編集局長
佐藤 翔輔	東北大学 災害科学国際研究所 准教授
福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター 教授
中川 和之	時事通信社解説委員



S09

ホールB

11/7(日)

12:30~14:00

## これからの事業継続に必要な要素

主催：特定非営利活動法人 事業継続推進機構

東日本大震災から10年が経過するなか、様々な災害や新型コロナによる需要蒸発、サイバー攻撃等に事業継続としての対応事例を交え、これからの事業継続に必要な要素について専門家や企業経営者により、リレー形式で情報提供させていただきました。

### ■登壇者

丸谷 浩明	東北大学 災害科学国際研究所 教授
細坪 信二	一般財団法人危機管理教育&演習センター 理事長
奥野 一三	株式会社奥野組 代表取締役
川村 丹美	アステラス製薬株式会社 コーポレート・リスクマネジメント部 課長



S10

スタジオA

11/7(日)

10:00~11:30

## 災害文化の顕在化のこころみ ー 日常の中に災害文化をよみとくー

主催：災害文化研究会

三陸沿岸には災害との闘いの中で生まれてきた「災害文化」がある。断片的な「教訓」が重層化し、生活様式や自然観という日常の中に埋め込まれて存在する災害（リスク）への対応の技術である。岩手県沿岸部の具体的事例（綾里小学校演劇『暴れ狂った海』・田老第一中学校震災体験と語り継ぎ・岩手大学合同授業「私の碑を作ろう」、方言の力）をもとに、災害文化の構造を示し、災害体験を現在・未来に活かす架け橋として提示した。

### ■登壇者

山崎 友子	災害文化研究会世話人代表
熊谷 勵	元大船渡市立綾里小学校校長
佐々木 力也	元宮古市立田老第一中学校校長
田中 成行	岩手大学准教授
大野 眞男	岩手大学嘱託教授
山崎 憲治	元岩手大学教授
小室 祐人	災害文化研究会 学生会員、 岩手大学三陸委員会こより 委員



S11

配信

11/6(土)

10:30~12:00

## 我が国の災害対策力の向上の提案

～東京大学の災害対策トレーニングセンター（DMTC）～

主催：東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/  
生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター（DMTC）

今後の我が国の災害対策の方向性や考え方を踏まえ、なぜ、東京大学の災害対策トレーニングセンター（DMTC）は人材育成に着目しているのかをご説明します。また、教育プログラムの基本となる「基礎コース」の講義内容、災害対策の全体像を習得するための災害対応工程管理システム（BOSS）などを紹介します。災害対策に関する基礎知識や基本動作を紹介し、地域住民、企業の方から自治体の方まで一丸となった災害対策について提案いたしました。

## ■登壇者

目黒 公郎 東京大学生産技術研究所・情報学環・教授・DMTCセンター長  
沼田 宗純 東京大学生産技術研究所・情報学環・准教授・DMTC副センター長

S12

多目的集会室

11/6(土)

14:30~16:00

## 防災分野へのドローン利用の最前線

主催：一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム

防災・災害状況把握へのドローン利用の最新状況を紹介すると共に、災害時のドローン利用・導入の実利用事例を紹介しました。また、当該セッションでは、防災・災害状況把握に最前線で取り組む研究者・事業者が登壇し、事例を紹介させて頂きました。特に、今年、静岡県熱海市で発生した土砂災害の事例や土砂災害へのドローン利用の取組みなどを紹介させて頂きました。

## ■登壇者

酒井 直樹 防災科学技術研究所 総括主任研究員  
木下 篤彦 国土技術政策総合研究所 主任研究官  
杉本 直也 静岡県 交通基盤部建設政策課 イノベーション推進班長  
延 原肇 筑波大学 准教授  
須田 信也 株式会社 WorldLink&Company 代表取締役社長



**S13**  
多目的集会室  
11/6(土)  
16:30~18:00

## 東日本大震災津波からの復興と地域防災力の強化 ～「防災を学習する場」としての岩手～

主催：岩手県

これまでの復興の取組を進める過程で得られた教訓の伝承や、防災・減災の最先端地域としての三陸の姿を広く国内外に発信するため、復興防災に関わるテーマを分野別に設定し、トークセッションを実施しました。東日本大震災津波からの復興の歩みや復興支援への感謝の想いを伝えるとともに、復興の先を見据えた「防災を学習する場」としての新しい岩手の姿を、世界に発信しました。

### ■登壇者

戸舘 弘幸	岩手県復興防災部長
南 正昭	国立大学法人岩手大学理工学部 教授 (地域防災研究センター兼任)
佐々木 雄治	根浜親交会 事務局長
林田 慎太郎	トヨタ自動車東日本株式会社 地域連携推進領域 領域長
菊池 のどか	株式会社 8 kurasu
津軽石 昭彦	関東学院大学法学部 地域創生学科 教授



**S14**  
多目的集会室  
11/7(日)  
10:00~11:30

## 「いざという時どうなる？あなたの食と栄養」 vol.11 ～東日本大震災から学んだ食のチカラ～

主催：公益財団法人 味の素ファンデーション

目的：食のチカラを活かした、個人と地域の自助・互助力の向上

内容：当財団の東日本大震災復興応援事業における参加型料理教室では、8年間半の活動の結果、食と栄養の意識・態度変容のみならず、個人のソーシャルキャピタル向上や地域コミュニティの再生に繋がったことが判明した。この結果を今後の防災や地域づくりにどの様に活かすべきか、栄養や防災の専門家と、地域に根差す食の支援者と一緒に議論を行った。

### ■登壇者

加藤 孝明	東京大学 生産技術研究所 教授 東京大学 社会科学研究所 特任教授、博士 (工学)
村山 伸子	新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科 教授
川村 公美	いわて生活協同組合 組合員活動チーム チームリーダー
福士 久美子	いわて生活協同組合 元東日本大震災支援 活動担当
中村 弥生	いわて生活協同組合 組合員活動チーム 福祉活動担当
齋藤 由里子	公益財団法人 味の素ファンデーション (TAF) 被災地復興応援事業 統括マネージャー



## 釜石情報交流センター

**S15**  
**多目的集会室**  
 11/7(日)  
 12:30~14:00

## いのちを守る防災CAMP

主催：一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN

『防災パフォーマーによる「いのちを守る@防災劇場」演技の途中で突然ストップ！会場の参加者は、防災ファシリテーターと一緒に「いのちを守る」為のより良いのすべについて考えました。パフォーマンスとセミナーを融合させた、楽しみながら学べる 世界初の新感覚防災セミナー「防災劇場」は全世代の方が一緒に防災について話し合う機会が生まれます。「目的:いのちを守ること。その守りたいのちで大切な人のいのちを守り、生き抜くこと。』

※今回はコロナ対応の為防災劇場を中止し、防災マジックショー&セミナーを開催となりました。」



## ホテルサンルート釜石

**S16**  
**鳳凰 (西)**  
 11/6(土)  
 10:30~12:00

地域防災の担い手やジオガイドが徹底質問  
「地震のこと、語れるまで教えて」

主催：公益社団法人 日本地震学会

地震学会の第一線の専門家が、地域で地震を伝える側になる地域防災の担い手やジオガイド向けにプレゼン動画を作成。日本ジオパークネットワークと連携し、各地のジオガイドが事前に解説動画を見て、分からないところや、普段からの疑問点を事前に質問しました。もちろん一般参加の事前質問も大歓迎、当日聞くだけでもOKです。一方的な説明ではなく、皆さんが「分からないところ」を納得するまで、できる限り質問に答えました。

## ■登壇者

小原 一成	公益社団法人日本地震学会会長
青井 真	防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター長
	南海トラフ海底地震津波観測網整備推進本部副本部長
松澤 暢	東北大学大学院理学研究科教授
杉本 伸一	雲仙岳災害記念館館長
中川 和之	時事通信社解説委員



**S17**  
**鳳凰（西）**  
**11/6(土)**  
**14:30~16:00**

## 台風・豪雨災害から日本の森林を守る 自伐型林業の可能性

主催：NPO法人  
 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会

近年の台風豪雨による山林の土砂災害では、集落にも土石流が押し寄せ、人命も失われる大被害が発生した。弊団体では専門家とともに林業施業と土砂災害の関連について調査してきた。セッションでは、被災地調査結果を報告し、防災・森林保全効果を高める自伐型林業の意義、地域防災の担い手としての林業者の育成手法、政策実装方法等について議論した。中嶋健造(自伐協代表理事)、若手林業者他が登壇した。



**S18**  
**鳳凰（西）**  
**11/6(土)**  
**16:30~18:00**

## わたし、防災には関心がありません！

主催：アールシーソリューション株式会社

目黒星美学園は、生徒が自ら防災の課題を洗い出し解決策を考える防災教育に取り組んでいます。アールシーソリューションには、毎年、防災の仕事をしたいと希望する学生が入社します。でも、若い人の多くは防災には関心がありません。防災の大切さが訴えられているはずなのに、関心を持つ人、持たざる人に別れてしまうのはなぜでしょうか？事例を交えて、若い人に防災に興味を抱いてもらうためのヒントを探りました。

### ■登壇者

京 百合子  
 大本 凜

目黒星美学園中学高等学校 教諭（社会科）  
 アールシーソリューション株式会社 事業推進室



**S19**  
**鳳凰（西）**  
 11/7(日)  
 10:00～11:30

## 東日本大震災からの復興支援を通じて得た 知見・教訓と今後の災害対応に向けて

主催：独立行政法人 都市再生機構

UR都市機構は、東日本大震災の復旧・復興支援を全力で推進してきました。今回は、東日本大震災におけるこれまでの復旧・復興支援経験から得られた教訓等を自治体の方向けにご紹介し、今後の災害対応にむけて得られた教訓等をどのようにつないでいくのかについて、有識者も交えたパネルディスカッションを行いました。

### ■登壇者

大沢 昌玄	日本大学理工学部土木工学科 教授
大谷 英基	UR都市機構 震災復興支援室 事業管理課長
小田島 永和	UR都市機構 岩手・宮城震災復興支援本部 市街地整備部 調整役
松本 悟	UR都市機構 災害対応支援室 事業支援課長



**S20**  
**鳳凰（西）**  
 11/7(日)  
 12:30～14:00

## 次世代に「つなげる」、SDGs・ ジェンダー視点を取り入れた中学生防災教育

主催：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと

地域の高齢化が進む中、防災を持続可能な活動として続けるためには、地域と小中学校の児童生徒や保護者、教員等が防災拠点である小中学校を中心に連携し防災に取り組むことが地域防災力の向上につながる。この10年間で20,000人以上を対象に研修等を手掛けている当社代表理事が青森市中学校で取り組んだ「ジェンダー視点の中学生防災教育プログラム」の紹介と共に次世代に「つなげる」ための若年層対象の取り組みについて報告しました。

### ■登壇者

小山内 世喜子	一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事
工藤 健	原別地域まちづくりを進める会 副会長



**S21**  
**鳳凰（東）**  
 11/6(土)  
 10:30～12:00

## 令和新時代の民間防災 ～自助・共助の新たな視点～

主催：特定非営利活動法人日本防災士会

セッションテーマ：「令和新時代の民間防災～自助・共助の新たな視点」

開講挨拶：室崎益輝・日本防災士会理事長

基調講演：廣井悠・東京大学大学院教授

防災士による活動事例発表（千葉県、富山県の防災士2名）

現地会場でのセッション（基調講演・防災士活動事例発表）をオンライン（Zoom）配信

### ■登壇者

室崎 益輝	日本防災士会理事長 兵庫県立大学防災教育研究センター長 神戸大学名誉教授
廣井 悠 佐伯 邦夫	東京大学大学院工学系研究科教授 特定非営利活動法人 日本防災士会 理事 特定非営利活動法人 富山県防災士会 理事長
平山 優子	特定非営利活動法人 日本防災士会 理事 千葉県防災士連絡会理事 船橋SLネットワーク理事 船橋市応急手当指導員



**S22**  
**鳳凰（東）**  
 11/7(日)  
 14:30～16:00

## その気づきが、みんなを守る ～災害リスクと事業継続への備え～

主催：中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室

事業継続力を高めるために、自社の事業所がある地域がどのような災害リスクがあるのか、風水害や地震、感染症等に備えてどのような対策をすればよいのか、中小企業等が気づき、行動を起こす一助となるような講演を行いました。具体的には、事業者の被災時の事例を紹介し、事業継続力強化のポイント解説や、「防災×ICT（AI）」をテーマとしたパネルディスカッションを通じて、防災力の向上を図りました。

### ■登壇者

藤井 大輔	株式会社JX通信社 FASTALERT事業責任者
津田 裕大	株式会社Resilire 代表取締役
越村 俊一	株式会社RTi-cast 最高技術責任者
渡邊 美信	株式会社中山鉄工所 営業部部長（企画開発担当）
福泉 裕	中小機構 中小企業アドバイザー（経営支援）



## ホテルサンルート釜石

**S23**  
**鳳凰（東）**  
 11/6(土)  
 16:30～18:00

## 岩手大学地域防災フォーラム：学校教育現場における防災教育・活動の融合と実質化

主催：岩手大学 地域防災研究センター

学校防災には、児童・生徒たちの防災に関する防災教育、教員自身の防災に関する知識・知見・ノウハウの深化および学校運営における防災活動がある。本セッションでは、実例を学びながら、これらを融合した実践的な学校防災活動を考えました。

■登壇者

村山 良之	山形大学大学院教育実践研究科 教授
桜井 愛子	東洋英和女学院大学国際社会学部 兼 東北大学災害科学国際研究所 (クロスアポイント) 教授
森本 晋也	文部科学省総合教育政策局安全教育調査官/ 岩手大学地域防災研究センター 客員教授
越谷 信	岩手大学理工学部教授 地域防災研究センター長



**S24**  
**鳳凰（東）**  
 11/7(日)  
 10:00～11:30

## こどもが夢中になる防災学習 ～主体的・対話的深い学びの具体的展開～

主催：株式会社明石スクールユニフォームカンパニー

子どもたちが災害時に主体的に臨機応変に対応できる能力を身につけるための「防災教育・教材」についてのディスカッションを行いました。

■登壇者

前林 清和	神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科・ 教授
諏訪 清二	防災教育学会会長／兵庫県立大学特任教授 (大学院減災復興政策研究科)
東館 拓也	宮城県多賀城高等学校 災害科学科長
榊原 隆	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー スクール第二販売部部長



## ホテルサンルート釜石

**S25**  
**鳳凰（東）**  
 11/7(日)  
 12:30～14:00

## 市民を守る新しい公助のカタチ、 共創で災害時のトイレ問題解決に挑む！

主催：災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」

- 共創、コレクティブインパクトでの防災・減災の必要性を提起。
- 共創事例として、災害時に深刻化するトイレ問題の解決に取り組む、災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」を紹介。
- 支援実績および実車も展示、全国の自治体へ災害派遣トイレネットワークへの加盟を呼びかけました。

### ■登壇者

小長井 義正	静岡県富士市長
福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター 教授
石井 宏子	千葉県君津市長
三浦 正	福岡県篠栗町長
石川 淳哉	一般社団法人 助けあいジャパン 代表理事
早瀬 マミ	一般社団法人 助けあいジャパン



**S26**  
**配信LINE1**  
 11/6(土)  
 10:30～12:00

## 土砂災害VRやマイ・タイムラインなどを 活用した効果的な防災教育のあり方について

主催：広島県

災害を自分ごととして認識するとともに、地域全体での防災力向上を図るための、効果的な防災教育のあり方について、参加団体の取組紹介及びディスカッションを実施しました。

### ■登壇者

海堀 正博	広島大学防災・減災研究センター長・特任教授（専門：砂防学）
後藤 秀昭	広島大学大学院人間社会科学研究科准教授（博士（文学））
伊達 富美	広島県危機管理監みんなで減災推進課 ひろしまマイ・タイムライン推進員
京久野 涉	広島県土木建築局砂防課 土砂災害警戒推進担当監
西岡 律子	海田町立海田南小学校 校長
野元 祥太郎	広島大学附属小学校 教諭（社会科）
増原 伸	ソフトバンク株式会社コーポレート統括CSR本部 参与（中国担当）
東谷 次郎	ソフトバンク株式会社ソリューションエンジニアリング本部 担当部長
南京極 巧	ソフトバンク株式会社5G & IoTエンジニアリング本部中国IoT技術部

## 配信

S27

配信LINE1

11/6(土)

14:30~16:00

## 防災教育と災害伝承

主催：防災学術連携体・日本学術会議

2011年東北地方太平洋沖地震により引き起こされた大災害：東日本大震災発災から十年が経過した。この多くの犠牲を受けた災害から得た教訓を、東北と日本の今後の安全な社会実現のために活かしていく必要がある。本セッションでは、釜石市における災害伝承に関する経験をお話しいただくとともに、この十年間の経験と教訓を踏まえ、今後の防災教育と災害伝承のあり方、および進めるべき取組みについて、学術分野から発信した。

## ■登壇者

米田 雅子	日本学術会議防災減災学術連携委員会委員長、東京工業大学特任教授
加藤 孔子	釜石市のちをつなぐ未来館名誉館長、岩手大学教育学研究科(教職大学院)特命教授、大震災かまいの伝承者、北九州市防災・減災教育推進アドバイザー
西澤 泰彦	日本建築学会・建築歴史意匠委員会委員、名古屋大学教授、建築史学会会長
柳谷 理紗	仙台市役所、地域安全学会会員
田中 聡	常葉大学教授、地域安全学会副会長
姥浦 道生	東北大学大学院工学研究科教授
岡谷 隆基	日本地図学会常任委員・編集委員長、国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター測量新技術研究官
山川 充夫	日本学術会議連携会員、福島大学名誉/客員教授、日本地域経済学会会長
戸田 芳雄	日本安全教育学会理事長、全国学校安全教育研究会特別顧問、明海大学客員教授
大友 康裕	防災学術連携体代表幹事、日本災害医学会代表理事、厚生労働省日本DMAT検討委員会委員長、東京都災害医療コーディネーター、東京医科歯科大学救急災害医学分野教授
田村 和夫	日本学術会議連携会員、防災学術連携体事務局長、神奈川大学客員教授

S28

配信LINE1

11/6(土)

16:30~18:00

## 3者連携の必要性和平時からの備え

～東日本大震災・台風被害を経験した岩手だからこそ伝えたいこと～

主催：特定非営利活動法人いわて連携復興センター、いわてNPO災害支援ネットワーク

共催：岩手県、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

## ■ 県域の3者連携の事例紹介

## ■ 市町村域の3者連携の事例紹介

## ■登壇者

栗田 暢之	認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD) 代表理事
長谷川 克信	岩手県保健福祉部地域福祉課生活福祉担当課長
斉藤 穰	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部長兼ボランティア・市民活動センター所長
葛巻 徹	いわてNPO災害支援ネットワーク共同代表
佐々木 重光	岩手県岩泉町役場危機管理監兼危機管理課長
鈴木 悠太	特定非営利活動法人クチエ理事・事務局長
菊池 亮	社会福祉法人釜石市社会福祉協議会地域福祉課長兼生活ご安心センター副センター長
伊藤 聡	一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校代表理事

## 配信

S29

配信LINE1

11/7(日)

10:00~11:30

## WAA ReSCue 発足記念シンポジウム

主催：WAA ReSCue 準備委員会

## ●発足宣言

1) 基調講演 「災害支援はコレクティブインパクトの時代へ」

2) パネルディスカッション

ぼうさいこくたい21の場をお借りして、平常時にはワーケーションにより地域とつながり、災害時にはその地域を支援できる人材を育て、備える「WAA ReSCue」の発足を宣言。これからの日本の災害支援人材養成の考え方や地域にとってのWAA ReSCueの価値について、活発な意見交換を行いました。

## ■登壇者

目黒 公郎	東京大学教授
木村 敬	熊本県副知事
樋口 務	くまもと災害ボランティア団体ネットワーク (KVOAD) 代表
島田 由香	ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社人事総務本部長、Team WAA! 主宰、YeeY Inc. 代表、一般社団法人dialogue 代表理事、Delivering Happiness Japanチーフコーチサルト、Japan Positive Psychology Institute 代表
石川 淳哉	ソーシャル・グッド・プロデューサー

S30

配信LINE1

11/7(日)

12:30~14:00

災害伝承ミュージアム・セッション vol.3 2021  
災害への備えを啓発する新たなチャレンジ

主催：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

このセッションは、全国の災害伝承ミュージアムに参加いただき、互いの活動へのフィードバックと、協働の模索等に活かすことを願い、情報交換をしました。第一部では、全国から選抜された複数施設から、長く続くコロナ禍における施設運営の取り組みなど、最新の取り組みをプレゼンテーションしていただきました。また第二部では、有識者等によるショートレクチャーや、各施設への質問を通し、テーマを深く掘り下げ、今後の展望等について議論しました。

## ■登壇者

川崎 杏樹	いのちをつなぐ未来館 (岩手県釜石市)
伊藤 崇宏	みやぎ東日本大震災津波伝承館 (宮城県石巻市)
筑波 匡介	福島県立博物館 (福島県会津若松市)
丸山 浩司	東京臨海広域防災公園そなエリア東京 (東京都江東区)
筆保 慶一	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター (兵庫県神戸市)
米山 正幸	北淡震災記念公園 (兵庫県淡路市)
東山 陽次	雲仙岳災害記念館 (長崎県島原市)
澤田 雅浩	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授
川西 勝	読売新聞大阪本社編集委員、人と防災未来センター・リサーチフェロー
平林 英二	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 運営課 企画ディレクター

## 配信

S31

配信LINE2

11/6(土)

10:30~12:00

## 地区防災計画の更なる可能性を考える

主催：内閣府防災担当 普及啓発・連携担当

自然災害が頻発化・激甚化していることに加えて、南海トラフ地震などの巨大地震の発生も危惧されている中で、災害に立ち向かい、乗り越えるためには、避難や避難生活などにおいて、お互いに助け合う「共助」の力を促進することが必要不可欠です。このため、内閣府防災担当では、住民などが自発的に防災活動を推進し、「共助」による防災力の向上を図る「地区防災計画制度」を推進しています。今回のセッションでは、“防災だけではない、他の視点も取り入れた計画づくり”や“住民以外の主体による計画づくり”について紹介いただき、地区防災計画の更なる可能性について考えました。

## ■登壇者

加藤 孝明	東京大学 生産技術研究所 教授／同社会科学研究所 特任教授
鍵屋 一	跡見学園女子大学 教授
阪本 真由美	兵庫県立大学 減災復興政策研究科 教授
野毛 貴登	株式会社土肥館 代表取締役
上野 慎也	株式会社シミズ・ビルライフケアBM事業本部 北海道営業所副所長
中嶋 利隆	大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 エリア防災推進委員会委員長

S32

配信LINE2

11/6(土)

14:30~16:00

## 災害時における情報共有

主催：公益社団法人 日本医師会

速やかな被災地内外での組織的な支援活動には、ICTを活用した情報共有は不可欠である。近年では、様々な情報共有ツールの研究や整備が進み、実災害でも活用されている。日本医師会では、2013年にJAXAと協定を結ぶなど、関係事業者とともに災害時の情報通信訓練を実施してきており、情報共有体制を常に見直してきた。このセッションでは、日本医師会が構築している情報共有ツールについて、関連事業者とともに紹介した。

## ■登壇者

近藤 久禎	一般社団法人日本災害医学会 庶務担当理事
加藤 良平	株式会社ケアレビュー 代表取締役
桐谷 浩太郎	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター 主幹研究開発員
瀬尾 淳	スカパーJSAT株式会社 宇宙・衛星事業本部 法人事業部 専任部長
加陽 直実	一般社団法人 静岡県医師会 理事
中川 俊男	公益社団法人 日本医師会 会長
猪口 雄二	公益社団法人 日本医師会 副会長
長島 公之	公益社団法人 日本医師会 常任理事

## 配信

**S33**  
**配信LINE2**  
 11/6(土)  
 16:30~18:00

## 震災廃棄物（コンクリート構造物を大割で解体したブロック（シティコンと呼ぶ））を利用した海の食料増産

主催：特定非営利活動法人 東京いのちのポータルサイト

当NPOでは、巨大地震で被災する膨大なコンクリート構造物を新たな基準に沿って迅速に大割で解体し、海の生態系を活性化する人工海底山脈の材料として有効利用する事で、海の食料増産に貢献すると共に、早期復興を支援する。今大会では、この新たな取組みをそれぞれの専門の立場で発表し議論しました。

■登壇者

中林 一樹	東京都立大学名誉教授・首都防災ウィーク実行委員会委員長
高橋 正征	東京大学名誉教授、高知大学名誉教授、（公財）日本科学協会会長、（公社）日本水産資源保護協会会長
大迫 政浩	国立環境研究所資源循環領域 領域長
有川 太郎	中央大学 教授、博士(工学)
武田 真典	（一社）水産土木建設技術センター 上席研究員
西川 智	名古屋大学減災連携研究センター教授
鈴木 達雄	
古本 聡	株式会社土屋 取締役・最高文化責任者、土屋総研所長

**S34**  
**配信LINE2**  
 11/7(日)  
 10:00~11:30

## 地球観測による防災技術の最新動向と衛星データの活用事例の紹介

主催：一般社団法人日本リモートセンシング学会

自助・共助の重要性から、インターネットを通じて誰でも簡単に防災や避難について検討する方法をご紹介しました。しかし日々刻々と変化していく地域情報までをリアルタイムに把握し地域防災を検討する際の材料として扱うことは困難です。そこで衛星データから罹災域とその現況を把握するところから一歩話を進め、衛星データから作成される地表面の情報を避難に応用してゆく最新技術や実務事例を紹介しました。

■登壇者

作野 裕司	広島大学 准教授
大木 真人	JAXA 主任研究開発員
伊東 明彦	日本リモートセンシング学会 事務局長補佐
石内 鉄平	宮城大学 准教授

## 配信

**S35**  
**配信LINE2**  
**11/7(日)**  
**12:30~14:00**

## ナッジで人間のリアルを踏まえた防災施策へ ～行動科学の視点から見た防災行動と事例紹介～

主催：よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム

目的：現実的な人間像を前提に自発的な行動変容を促す手法「ナッジ」について、定義、意義、活用方法、世界中での活用事例、防災分野での応用可能性について発表した。

対象：防災行動の促進に関わる行政、民間、学術及び地域の関係者

■登壇者

竹 順哉	よんなな防災会発起人
永井 宏昭	よんなな防災会
植竹 香織	ポリシーナッジデザイン合同会社代表

**S36**  
**配信LINE3**  
**11/6(土)**  
**10:30~12:00**

## 災害と先端技術 ーそこにAI（愛）はありますかー新避難（助）スタイル

主催：一般社団法人 DroneAI技術研究機構

「より多くの命をいかに守るか」それが私たちの挑戦です。特に、お年寄りやお子様、そしてフィジカルチャレンジをされている方への「逃げるを助ける技術」について一緒に考えてました。

■登壇者

田口 政行	防災研究者（教育） 研究員
藤重 裕	理事長 研究者（学者）

## 配信

S37

配信LINE3

11/6(土)

14:30~16:00

## 災害体験を語り継ぐ意味

主催：防災教育学会

阪神・淡路大震災、東日本大震災をこども時代に体験し、その体験をいま語り継ぐ若者と、被災体験を持たなくても体験の継承・発信に関わる若者をパネリストに招き、「語り継ぎ」の意味を考えました。特に、こどもの頃の体験の語りや、防災を学ぶ今のこどもたちにどのようなインパクトを与えるのか、災害を「我が事」と捉え災害と防災に向き合うために、同世代の体験談がどんな意味を持つのかを深く議論しました。

## ■登壇者

長谷川 元気	語り部KOBÉ1995
岸本 くるみ	神戸学院大学現代社会学部社会防災学科
久保 カ也	株式会社8kurasu 代表取締役
菊池 のどか	株式会社8kurasu 防災教育推進担当
諏訪 清二	防災学習アドバイザー・コラボレーター

S38

配信LINE3

11/6(土)

16:30~18:00

主体的に防災活動ができるようになる  
環境づくり

主催：清流の国ぎふ 防災・減災センター

当センターは県と大学の特性を併せ持つことが特徴で、そこに防災人材も加わって日々協議を重ねています。その結果、市町村、学校等でのセンターの活用、地域人材の有機的繋がりができつつあります。本セッションでは、これまでの取り組みや、市町村・学校・地域とどのような関係を作ってきたか紹介し、関係団体からセンターがどのように見られているか、活用のポイント、環境を構築するために必要なことについて対話を行いました。

## ■登壇者

能島 暢呂	岐阜大学工学部教授
高木 朗義	岐阜大学社会システム経営学環教授
岩井 慶次	日本防災士会理事 岐阜県支部長
伊藤 三枝子	清流の国ぎふ女性防災士会 会長
岩茸 伸一	高山市民防災研究会 会長
岩垣津 信太郎	岐阜県防災課 主任
今井 亮	下呂市 市長公室危機管理課 主査

## 配信

S39

配信LINE3

11/7(日)

10:00~11:30

## 集まれ! 防災女性職員とその応援団

主催：内閣府男女共同参画局

地方公共団体、省庁等の防災・男女共同参画・その他災害対応に関わる部局の職員、地域の防災リーダー、防災士等を対象に、実際の災害発生時の行政職員の対応に関する事例紹介と、3つのテーマ「①防災x行政女性職員」「②防災x子育て・介護」「③防災x男女共同参画x福祉」でそれぞれワークショップを行い、防災女性職員とその応援団で組織を超えてつながりました。

## ■登壇者

林 伴子 内閣府男女共同参画局 局長  
 内田 欽也 内閣府大臣官房審議官(防災担当)  
 よんなな防災会女子部  
 オンライン市役所デザイン部 図解・グラレコ課

S40

配信LINE4

11/6(土)

16:30~18:00

## 公開シンポジウム「21世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは～防災統合知の構築戦略～」

主催：防災減災連携研究ハブ、  
 日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会

南海トラフ地震、首都直下地震など巨大災害の発生は切迫しており、地球規模の気候変動により、豪雨等による水害の発生リスクも高まっている。こうした国難級リスクに適切に備え、被害の軽減並びに早期の回復を図るためには、既存の学問分野の枠組みに囚われず、人文社会科学も含めた「総合知」により立ち向かう必要がある。他分野で活躍する日本を代表する研究者らによって、その構想や戦略について討議した。

## ■登壇者

林 春男 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長、IRDR分科会委員長  
 永松 伸吾 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 部門長  
 越村 俊一 東北大学災害科学国際研究所教授  
 宮本 守 国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 研究員  
 大西 正光 京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授  
 荒木 裕子 名古屋大学減災減災連携研究センター特任准教授  
 井ノ口 宗成 国立研究開発法人防災科学技術研究所主幹研究員／富山大学都市デザイン学部准教授  
 川崎 昭如 東京大学特任教授、未来ビジョン研究センター グローバル・コモンズ・センター  
 小池 俊雄 国立研究開発法人 土木研究所(PWRI)、水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)

## ワークショップ詳細

---

釜石市民ホールTETTO

W01 スタジオA 11/6(土)10:30~12:00

主催：一般社団法人 おいしい防災塾

おいしい防災塾防災お菓子ポシェット作りと防災講話

対象 4歳児以上の親子(家族全員でご参加可能)  
 限定 防災お菓子ポシェットを作成するお子様10人限定  
 予約方法：現地 釜石市民ホールTETTO スタジオA にて10:00~  
 お子様10人になり次第締め切り。

時間 60分/参加費無料 10:30~11:30  
 参加者持ち物：筆記具・マスキングテープ・はさみ



W02 スタジオA 11/6(土)14:30~16:00

主催：日本たばこ産業株式会社

段ボールジオラマ防災授業

段ボール製のパーツを組み立てていくことで、居住エリアの地形を立体的に再現したジオラマを製作。それをもとに地域の浸水・土砂災害リスクを参加者自らが考えるワークショップを実施することで、防災意識の向上と、自分の命は自分で守ること(自助)を身に付ける機会としました。



W03 スタジオA 11/6(土)16:30~18:00

主催：東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価  
 (東京海上日動) 寄附研究部門

防災・減災スタンプラリー！～みんなで話して考えよう～

防災・減災スタンプラリーは、子供から大人まで楽しく学べる「生きた防災教育」です。津波が来た時に危ない場所はどこな所？いま、大津波が来たらどれくらい被害が出るの？といった疑問に、直感的に理解できる答えを世界最先端の研究現場からお届けしました。教育現場や自治体で防災に携わる方から家族の安全を願う皆様まで、幅広い方々に御参加頂き、一緒に防災・減災について考える場となることを目的としました。



W04 会議室2 11/6(土)14:30~16:00

主催：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

身近なもので楽しく防災ワークショップ

ボーイスカウトは、イオンモールとの共催により全国60会場以上で「全国防災キャラバン」を展開しています。今回のワークショップでは、防災キャラバンでも行っている、ビニール袋や新聞紙など身近にあるものを使った防災ワークショップを展開することで、参加する子どもたちやその家族が楽しく防災を身近に感じてもらうことを目指しました。ワークショップの運営は、岩手県内にいるボーイスカウトの青少年が行いました。



W05 会議室2 11/6(土)16:30~18:00

主催：認定NPO法人 防災・減災サポートセンター

自然災害のさまざまな“目安”を実験する

自然災害が起きたり、起きそうときには、様々な情報が飛び交います。そのなかで、私たちは正確な情報の判断や、内容を理解して適切な行動をしなければなりません。いつも災害に関心を持ちつつ、災害時には、先を読んで行動することをしないと、思わぬ事故や被害を受けるということになります。そのためには、何気なく聞いていたことを、イメージ化して理解することが大事なことになります。5つの演目を実施しました。



## 釜石市民ホールTETTO

W06 会議室2 11/7(日)10:00~11:30

主催：一般社団法人 防災教育普及協会

防災クイズ&amp;ゲームワークショップ in ぼうさいこくたい2021オンライン

- 目的 多様な防災教育教材の具体的な活用方法や事例等について、現地及びオンラインで体験してもらう。
- 対象 小学生以上。
- 出展内容 現地及びオンラインでの防災教育教材の紹介及び体験。



## ホテルサンルート釜石

W07 桐 11/6(土)10:30~12:00

主催：一般社団法人 あでやか切り絵協会

『あでやか切り絵』ワークショップ

2011年に、切り絵系アイデアを思い付き3月に東日本大震災が起き被災に遭われた方のお役に立てると云う勝手な思いで『あでやか切り絵』を製作、2012年1月から名取市閑上からボランティアを開始し、南三陸町・気仙沼・石巻・釜石等で約100箇所以上で多くの笑顔を見て来ました。これからもまだまだ多くの災害があると思います。多くの方に『あでやか切り絵』を知って頂き、色んな場面で活用してもらえたらと思っています。



W08 桐 11/6(土)16:30~18:00

主催：ペット防災サポート協会

自分とペットの避難を考えるそれぞれの形を見つけよう

団体オリジナルのペット防災ノート「たすかるノート With Pet」を使ってペット同行避難、同伴避難、備え、準備等についての理解を深めるペット防災講座を行った後、ご参加の皆様にはペットと避難所へ行く、他の所へ分散避難する、在宅避難をする等の想定をそれぞれノートに記入してもらいました。その後グループ内で各自発表し、全体でもグループごとに発表して新しい発見に繋げてもらいました。こちらを会場とオンラインの両方で行いました。



W09 桐 11/7(日)10:00~11:30

主催：防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）

防災クイズで学ぼう・体験しよう！

防災専門図書館オリジナル「防災いろはかるた」を用いた防災クイズに挑戦するイベントを開催しました。例えば、防災かるた「ツナ缶に灯をともし」をもとにしたクイズ「ツナ缶に○をともし。○に入るの何でしょうか？」等に挑戦。その解説をしながら、来場された方と一緒に、ゴミ袋・新聞紙を使ってレインコート・スリッパ・コップを作製しました。



W10 桐 11/7(日)12:30~14:00

主催：日本ジオパークネットワーク

大地の成り立ちから知る防災のヒント

ジオパークネットワークでは、災害を伝え身を守る取組として、大地の成り立ちを学ぶことにより起こった災害、これから起こるであろう災害を知り、体験談や遺構により災害を伝えている。そのような取組を紹介した。



## 釜石市民ホールTETTO

W11 スタジオB 11/6(土)10:30~12:00

**主催：海ぼうずの会（「ふじのくにDIGセミナー」参加者の会）****DIG2022津波防災編テストラン in いわて釜石 釜石から学ぶ：  
DIGで考える南海トラフ巨大地震に向けた津波防災まちづくり**

サブタイトルを「釜石から学ぶ：DIGで考える南海トラフ巨大地震に向けた津波防災まちづくり」としました。釜石での東日本大震災からの復旧復興経験を、南海トラフ巨大地震に向けた災害予防（津波防災まちづくり）にどう活かすか。現在取りまとめ中のDIG2022津波防災編のノウハウを用いて（時間の関係上ダイジェスト版になります）、この課題に取り組みました。

W12 スタジオB 11/6(土)16:30~18:00

**主催：一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN****いのちを守る防災CAMP**

いのちを守る伝道師。高貝正芳によるぼうさい教室。遊びや勉強を通じて学んだことでいのちを守る武器にする体験型教室です。パフォーマンスとセミナーを融合させた、楽しみながら学べる 防災エンタワークショップは全世代の方が一緒に防災について話し合う機会が生まれます。「目的いのちを守ること。守りたいのちで大切な人を守り生き抜くこと。」

W13 スタジオB 11/7(日)10:00~11:30

**主催：株式会社 東京海上日動パートナーズ東北****備えあれば余裕あり！？Let'sバーチャル体験**

保険代理店である私たちが伝えられる想い・使命を形にするため、「被災経験をされたお客様のインタビュー動画」や弊社独自の「防災ツール（クリアファイルや災害ポケットメモ）」等を全て自分達で作成しました。当日は、来場者の方に浸水被害や土砂災害のバーチャル体験を通じて、「災害」を疑似体験してもらおうとともに、作成ツールの説明・配布・視聴を通じて、日頃の備えの大切さについて等お伝えしました。

W14 スタジオB 11/7(日)12:30~14:00

**主催：株式会社明石スクールユニフォームカンパニー****災害発生、さあどうする!?～時系列で考える災害対応～**

5人程度のグループに分かれ、災害発生の条件を設定し、どのような災害対応ができるかを時系列で考えます。一人ひとりが日頃から災害に備え、学校で安全な環境を整えられるように、災害時に起こりうること、それに対してどのような備えができるかについて話し合いました。

## 配信

**W15 配信LINE1 11/6(土)10:30~12:00****主催：日本セイフティー株式会社****在宅避難時代到来!!災害時あなたの地域・自宅で生き延びられるのか？**

災害関連死をゼロにする。それには、私達ひとりひとりが災害関連死の原因は何か？を理解した上で、現状に合った最適な避難を検討していく必要があります。コロナ禍で収容人数が激減した避難所の代わりに在宅避難が推奨されている現状で、在宅避難を実現するには何を想像する必要があるのか？「断水」「停電」であなたの自宅やマンションのトイレへの備えは大丈夫なのかを一緒に考えました。

**W16 配信LINE1 11/6(土)14:30~16:00****主催：一般社団法人 Do It Yourself****電子工作×防災課題「雨量計をつくろう」**

実際の観測に使われる「転倒マス型雨量計」を3Dプリンタ出力品と、基板へのはんだ付けにより製作しました。溜まる量で転倒するマスに連動しLEDが点灯、その回数によって水量を計測して雨量が算出できます。マイコンでも動作する雨量や累積雨量を表示したり、設定雨量でメール配信するプログラムも公開しました。防災への関心に頼らない好奇心に訴求し、雨量情報や避難行動への関心を高めました。

**W17 配信LINE1 11/6(土)16:30~18:00****主催：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン****これだけは知っておきたい 災害時の子ども支援「28の基準」  
(人道行動における子どもの保護の最低基準)**

災害など緊急支援の現場で、子どもたちが危険にさらされることなく安心・安全に過ごせるために、支援者はどのような点に気を付ける必要があるのでしょうか。2021年に発行された「人道行動における子どもの保護の最低基準（第2版）」をもとに、子どもを適切に守るために支援関係者が知っておくべき28の基準をレクチャーとグループワークを通して学びました。

**W18 配信LINE1 11/7(日)10:00~11:30****主催：広島市防災士ネットワーク****鯉こいキャラバン～楽しく体験・学ぶ防災減災イベント～**

「鯉こいキャラバン！」は町内会・自主防災組織など地域の方々と協力して開催し、来場者に防災ゲームや防災工作などの体験や広島の豪雨災害の被災状況などの展示、被災者の声を紹介することで、大規模土砂災害の実態と日ごろの防災の大切さを訴え、さらに災害による犠牲者ゼロ実現への活動を紹介する防災イベントです。「鯉こいキャラバン！」の紹介や実際のゲームを体験して、防災イベント開催への推進や防災への興味付けを行った。

**W19 配信LINE1 11/7(日)12:30~14:00****主催：広島防災リーダーネットワーク会議****避難の呼びかけ体制づくりと住民の避難行動計画作成ワークショップ**

西日本豪雨災害の際、多くの人々が避難行動を取らず被災。しかし、避難した人から「他者からの呼びかけ」の有効性が判明。広島県は「避難の呼びかけ体制づくり」マニュアルを作成し、一人一人の避難行動計画「ひろしまマイ・タイムライン」の波及により、災害から身を守る行動を推進している。今回は「避難の呼びかけ体制づくり」のワークショップや「ひろしまマイ・タイムライン」作成などを体験し防災活動への参考にしてもらいました。

## 配信

W20 配信LINE2 11/6(土)10:30~12:00

**主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会****防災教育交流会**

本大会のテーマである「～震災から10年～つながりが創る復興と防災力」を踏まえ、基調講演および意見交換会を行うことにより、今後の防災教育の普及推進に向けた検討課題の共有化を図りました。

1. いのちのでんでんこ～釜石東中の災害を知ること伝えること～（村上祥子）
2. 阪神淡路大震災の体験者は何を語るのか（諏訪清二）
3. 災害の歴史をふりかえる意味～昭和三陸津波の『復興の歌』について～（北原糸子）
4. 東日本大震災をどのように伝えるか（佐藤翔輔）

W21 配信LINE2 11/6(土)14:30~16:00

**主催：日本赤十字社**
**東日本大震災から10年 防災への意識を高めよう  
「日頃の備え・避難することになったら、なにが必要？」**

東日本大震災等過去の災害の教訓を踏まえ、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることを目的に、「赤十字防災セミナー」を開催しました。

W22 配信LINE2 11/7(日)12:30~16:00

**主催：母と子の育児支援ネットワーク****災害時における授乳アセスメント（聞き取り）を体験しよう**

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」(2020)に載った授乳アセスメントシートを参加者がオンラインのグループワークで体験的に使ってみました。避難所等で授乳中の母子に接する可能性のある人がこのシートを使うことで、母乳を飲ませている女性が安心して継続でき乳児用ミルクが必要な人には安全に使うための支援ができるようになることを目指しました。

W23 配信LINE3 11/6(土)14:30~16:00

**主催：一般社団法人危機管理教育研究所****「話題のFMB（ファーストミッションボックス）を体験してみよう」**

1. FMBOXの説明および実際に導入した担当者からの導入事例紹介
2. サンプルのFMBOXを用いた体験訓練
3. 属性別（自治体、マンション、避難所、企業、園・学校等）にFMBOXの効果を検証

W24 オンデマンド 11/6(土)・7日(日)

**主催：株式会社ピースポーク****AIチャットボットによる災害時対応と防災DXの推進**

・目的対象：災害時の課題解決（避難誘導、避難場所の情報提供、住民以外への情報発信、問合せ対応の混雑による連絡不通、多言語による対応等）

- ・ AIチャットボットのご紹介
- ・ デモンストレーションの実施
- ・ 過去の取り組みや実績のご紹介
- ・ 質疑応答

## プレゼンブース詳細

---

釜石市民ホールTETTO

P01 ギャラリー

主催：河村電器産業株式会社

電気火災を減らすための防災製品をご紹介します！

プレゼンブースに2つの当社製品と、それぞれの動作実演機を展示しました。

- ①「感震ブレーカー」…地震の揺れを検出して電気を自動的に遮断する装置です。分電盤タイプ[内蔵型]、分電盤タイプ[外付型]、コンセントタイプがあります。
- ②「プレトラックコンセント」…埃や湿気が溜まって起きるトラッキング火災を未然に防ぐコンセントです。スタンダード、エアコン用、多回路用があります。



P02 ギャラリー

主催：一般社団法人 日本建設業連合会

建設会社の防災活動

- ・当会の紹介
- ・冊子・パンフレット等の配布
- ・A c e（当会広報誌）
- ・大規模災害等への対応
- ・震災時初動対応ハンドブック
- ・建設関連の防災に関する冊子 等



P03 ギャラリー

主催：一般社団法人 危機管理・労働災害防止機構

まさか被災するなんて  
—自分は大丈夫と思ったときから不安全行動がはじまる—

新潟県の高田平野における大規模地震として考えられる高田平野東縁断層帯の实情及び海底断層が動いたときの沿岸部への津波の状況についてポスター掲示を行い地域で活動している内容のうち、共助・自助努力の重要性を説明しました。また、高田平野に興味を持っていただけるように防災にちなんだ抽選会を実施しました。



P04 ギャラリー

主催：独立行政法人 都市再生機構

頻発する自然災害に備えて  
～東日本大震災からの復興支援や災害対応支援の取組みの紹介～

UR都市機構が地方公共団体向けに取り組んできた様々な災害における復旧・復興・防災の支援内容（東日本大震災での復旧・復興支援事例や事前防災への取組事例等）をパネル展示やパンフレット等を通じて幅広く紹介しました。



P05 ギャラリー

主催：一般社団法人 子ども安全まちづくりパートナーズ

「逃げ地図」と「キツネを探せ！」の紹介と体験

「逃げ地図」は、津波を逃れるための高台までの距離&時間を地図上の道に色を塗ることで、一目でわかるようにした地図です。東日本大震災津波の直後に被災した地域で誕生し、全国で活用されています。「逃げ地図」と「地図を応用した防災教育プログラム『キツネを探せ!』」を紹介し、逃げ地図づくりの体験会を行いました。



釜石市民ホールTETTO

P06 ギャラリー

主催：株式会社 技研製作所

地震や津波に粘り強い「インプラント構造物」

インプラント工法は、躯体部と基礎部が一体となった許容構造部材を地中に押し込み、地球と一体化した構造物（インプラント構造物）を構築する工法です。シンプルで合理的な工法であること、工事の影響範囲を最小限に抑える圧入工法で施工することにより構造物構築時の周辺への環境影響を抑えます。構築されたインプラント構造物は、外力に対して高い耐力を発揮するため、地震や津波に粘り強く抵抗し、国民の命と財産を守ります。



P07 ギャラリー

主催：一般社団法人 日本照明工業会

みんなで考えましょう！「あかり」による防災とりくみ

活動の一つとして災害や非常時に対応する誘導灯や非常用照明器具の評定業務や、独自に住宅や屋外の非常用照明器具自主評定を行っています。この独自の自主評定業務は、街や地域の災害に対応した照明の役割を提案する事も目的としており、今回この業務を紹介しました。弊会の会員企業様が開発し製品化され、評定により認証された照明器具製品の展示、地域や街の災害に対応した「あかり」を紹介したパンフレットを配布しました。



P08 ギャラリー

主催：株式会社アクアキューブ

ヘリポート夜間照明システム（可搬型HEXAGON⇒ドクターヘリ）

①ヘリポート夜間照明（HEXAGON）；航空法に準拠した「簡易ヘリポート設置」が、可能な日本初のシステム。緊急使用時24H運用可能、「ヘリポート灯台」「境界灯」「境界誘導灯」「風向灯」「吹き流し」「置台」を簡易設置し「地上員」又は、「パイロット直」にスイッチON/OFF遠隔操作可能。

②防災ラジオ；非常用電源及びLED照明の活用。

③救助検知器；携帯通信端末システム活用の緊急・救助検知器の展示。



P09 ギャラリー

主催：エピスタコーポレーション/株式会社プリート

ノンアルコール・アトピー肌用化粧品から生まれたウエットティッシュ（化粧品類）

世界で唯一のエピスタブロブル やさしいウエットティッシュをご来場者配布物としてパンフレットと共に、1000名様へプレゼント。また、出店ブースにおいて、感染対策に全身ご使用いただける化粧品類のウエットティッシュを実演ご提案。敏感肌の方にもやさしくお使い頂ける、化粧品類のウエットティッシュ「エピスタブロブル やさしいウエットティッシュ」4種類をご来場の方へ無償配布。新商品「エピスタレスキューinポーチ安心セット」と、弊社新開発の「配布する自立型携帯トイレ」をご案内し、いざという時の備えをご提案しました。



P10 ギャラリー

主催：復興庁岩手復興局

東日本大震災からの復興の状況と取組

東日本大震災からの復興の進捗状況等について、定量的なデータや具体的な事例を中心に、紹介いたしました。



P11 ギャラリー

**主催：特定非営利活動法人 全国足紋普及協会**  
**被災者の身元確認に有効な「足紋」の採取会**

「足紋」が身元確認に有用であることを広く知っていただくために 「足紋採取会」を行い、希望者の足紋を採取して、「足紋証明書」を発行するなど「足紋」が個人識別に有効であることを体験していただいた。身元確認の科学的方法は、①歯牙（歯型）鑑定、②指紋、③DNA型鑑定があるが、それぞれ隘路があり完璧にできなくて身元不明になるケースがある。最も簡便で費用が掛からない足紋の活用を提案した。



P12 ギャラリー

**主催：よんなな防災会学生部**  
**学生たちのウェルカム防災**

当団体が日ごろ行っている（1）防災知識の習得・共有（2）防災関連の意見共有会（3）交流会などの活動紹介を動画やポスター、チラシなどを用いておこないました。それによって、全国の防災に関心のある学生や学生とつながりたい大人の方に私たちの活動を知ってもらい、防災のネットワークを広げました。加えて、アンケートボードや書き込みなど参加型の仕掛けを用いることで、学生の意見を集め、今後の防災活動や提案につなげました。



P13 ギャラリー

**主催：株式会社サンコー**  
**災害時のトイレ問題を解決**

非常時に役立つ便利なアイテムを展示いたしました。展示品は、プラスチック製の洗える簡易トイレと耐水段ボール使用の簡易トイレ、抗菌凝固剤と汚物袋のセットを展示いたしました。



P14 ギャラリー

**主催：パナソニックライティングデバイス 株式会社**  
**防災対策用タングステン耐切創手袋**

パナソニックが開発、製造した災害時に役立つタングステンを使用した耐切創手袋のご紹介です。危険な状況下での作業時にしっかりと手を保護します。この耐切創手袋はダイヤモンドの次に固い鉱物のタングステンを使用しており、この強度を活かし撚り線にして作った手袋です。用途に合わせ耐切創レベル別にご用意しました。



P15 ギャラリー

**主催：大丸鐵興株式会社**  
**断水の備えに飲用水の備蓄だけでは足りません、生活用水の備蓄も考えませんか？**

みずがめ君と小型非常用貯水槽協会の製品紹介展示（ポスター、設置事例写真など）、初公開となるみずがめ君の新型「寒冷地仕様モデル」を展示します。災害時に断水したことを想定し、実際に必要な水の量や水の確保の重要性などを中心にわかりやすくご覧いただける展示を行いました。



釜石市民ホールTETTO

P16 ギャラリー

**主催：国土交通省 国土技術政策総合研究所**  
**「国総研」は、日本の国土を診る【総合病院】**



国土技術政策総合研究所のインフラ施設を中心とした、防災及び災害対応の取り組み、及びTEC-FORCEの活動について、パネルやタブレットを用いて、一般の方に分かりやすく紹介しました。また、防災の大切さを遊びながら伝える【防災カードゲーム】も紹介しました。

P17 共通ロビー

**主催：名古屋学芸大学**  
**復興支援活動（東日本大震災）を通しての学生の学び**  
**（2014年度から2020年度までの学生の活動と学び）**



本学が行った復興支援活動を振り返った。復興庁が行った「復興支援インターン」「復興・創生インターン」では、岩手・宮城・福島各県の企業インターン事業に40人の本学学生が参加し、被災企業の経営課題に経営者と協働して解決に取り組んだ。これらの活動に本学独自の活動も加え、学生の取り組みと学びのパネルを展示し、宮城県石巻市で「復興・創生インターン」に参加した学生と学生らをサポートした本学教員が説明を行った。

P18 共通ロビー

**主催：株式会社リブライト**  
**小中学生に向けた防災企画**



弊社は「若年層の防災」をテーマとして、出張防災工作教室と学生防災プロジェクトを出展しました。まず、防災工作教室とは、工作から防災の啓発をすることを目的とした教室です。子供の防災イベントの参加率を高める集客ツールとしてお役立ていただきたいと考えています。学生防災プロジェクトは、中学教育における防災教材として構成した企画です。その他一般のお客様に対しては、水で発電を開始する防災ライトの展示を行いました。

P19 共通ロビー

**主催：一般社団法人 防災教育普及協会**  
**いのちを守る防災教育の実践**



- 目的 地域における防災力向上と国民の防災意識向上のため、防災教育の必要性を伝えると共に普及啓発に寄与する。
- 対象 不問。
- 出展内容 (1) A0版カラーポスター × 2枚 (2) 協会案内、活動紹介 × 各500部 (3) 各種防災ゲーム
- 写真、参考資料 (1) 防災クイズ&ゲームデー、他、これまでの防災イベントのハイライトをwebから (2) 企業研修等、参考写真

P20 共通ロビー

**主催：防災教育学会**  
**災害体験を語り継ぐ意味**



防災教育学会の活動をビデオ、リーフレットなどを使って紹介しました。防災教育に関する相談会も実施しました。

釜石市民ホールTETTO

P21 共通ロビー

**主催：宮城県多賀城高等学校**

**宮城県多賀城高等学校 防災減災教育の取組  
～東日本大震災から10年が経過して～**

○防災・減災教育のパイロット校としての取り組みを紹介した。

○3.11東日本大震災で多賀城市を襲った「都市型津波」（河川津波）についての研究成果を知らせた。

○震災後より生徒が主体となって行った津波の痕跡を示す「津波波高標示プレート」の設置活動を紹介した。

○そのプレートと史都・多賀城市の史跡を辿る「まち歩き」ボランティアを紹介した。

○災害科学科卒業生の活躍を紹介した。



P22 共通ロビー

**主催：特定非営利活動法人 防災自助普及委員会**

**子どもの未来の為に・・・防災自助は子どもの頃から始まる**

いつ来るかわからない南海トラフ地震に備え、子供の頃から自助を身に付けよう！と名古屋の防災ソングを制作し2020年名古屋市防災表彰を受け、歌に合わせてダンス、合唱パターンだけでなく子ども学生が興味を引くよう歌のイメージキャラクターを作製、3D化ダンスを現在制作中。市民、企業、役所が力を合わせて自助促進を促すプロジェクトを紹介しました。



P23 共通ロビー

**主催：(株)ハタヤリミテッド**

**「公助」・「自助」・「共助」に対する『備え』**

各種LED照明を設置し、備蓄検討されている企業・自治体に向けて設営・運搬時のイメージを持って頂き、活用方法や備えの大切さをお手伝いさせていただきます。備蓄される上で保管所や重量は重要となりますので、ご確認して頂きました。

目的対象：対象問わず、興味・検討されているかたへ備蓄照明の必要性を認識して貰うことが目的です。



P24 共通ロビー

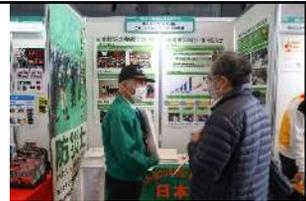
**主催：特定非営利活動法人 日本防災士会**

**防災士制度の普及活動、防災士のための活動支援、情報提供**

・展示物：防災士の活動事例写真パネル（発災前の事前活動、発災時の被災地支援活動、ボランティア活動等）

・配布資料：日本防災士機構、日本防災士会、防災士研修センター各パンフレット 防災士養成研修開催のご案内等

・その他：パソコンによるイメージ映像の放映



P25 共通ロビー

**主催：静岡大学学生防災ネットワーク**

**地域に根付いた学生防災とは？**

当団体の過去の活動（小学校・高校での防災教育、企業等と連携した活動、被災地支援活動 等々）を写真及びパネルを用いて掲示しました。その活動について、どのようなつながりの中で・どのように準備し・どのような成果・結果があったのかを、常駐しているメンバーが説明しました。また展示物として当団体にて作成した防災啓発ツールを持参（展示台に並べる形で展示）し、その使用方法について常駐メンバーが解説しました。



釜石市民ホールTETTO

P26 共通ロビー

**主催：有限会社鈴木**  
**雪国を幸国に変える**

- ①雪下ろし用ハーネスアンカー・・・転落防止のため、命綱を家屋に固定する（結びつける）アンカー
  - ②雪止め金具・・・屋根に積もった雪から落雪事故を防ぐための金具 ※雪止め金具は複数種類がございます。
  - ③大雪、強風対策囲い金具・・・大雪や強風などから窓を保護する板などを取り付ける金具
- ブース内では雪止め金具の組立体験をさせていただきました。



P27 共通ロビー

**主催：国立歴史民俗博物館**  
**歴史文化の災害対策**  
**-「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の紹介-**

国立歴史民俗博物館は、地域の歴史文化を象徴する多様な資料を様々な危機から守り、後世に伝える取り組みとして、「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」を推進し、大学や博物館等が地域住民と協働して実施する各地の資料保存活動と連携し、歴史文化の災害対策を実践しています。今回は、同事業が進める歴史文化の災害対策について、歴史文化継承に向けた地域連携の意義とそれを支える技術を紹介しました。



P28 共通ロビー

**主催：シンロイヒ株式会社**  
**自身の安否や、支援物資の要望を「見せる」「伝える」防災グッズ**

蛍光塗料を生かした様々な表示に関する視認性の向上と分かり易さ。日頃の誘導サインにおける記憶の刷り込み、避難誘導などの視認性向上、災害時救助側または救助される側の視認性向上を目的とした使用例。



P29 共通ロビー

**主催：公立大学法人岩手県立大学**  
**地域の避難訓練、防災計画づくり、岩手県立大がお手伝いします！**

本学所属教員による東日本大震災被災地での津波、コロナ禍を想定した避難訓練の運営支援活動の紹介、東日本大震災・令和元年東日本台風被災地等の復興に関する写真展示、東日本大震災以降に生じた災害からの教訓に基づく避難所運営教育ツール等を紹介しました。また、岩手県の自治体・自治会・地域住民を主対象とした避難訓練、地区防災計画の策定支援に関する紹介等を行いました。



P30 共通ロビー

**主催：HIGASHI DE AERU 呼び水プロジェクト「あかしの井戸」**  
**「あかしの井戸」新しい井戸と井戸端**

- ・これまでの活動紹介
- ・活動への参加、協力と活用アイデアの募集
- ・地域に残る井戸の価値や課題
- ・他地域での井戸活用方法の提案



釜石市民ホールTETTO

**P31 共通ロビー**

**主催：岩手県  
復興の歩み**

東日本大震災津波からの復興の取組を進める過程で得られた教訓の伝承や、防災・減災の最先端地域としての三陸の姿を伝えるとともに、これまでの復興支援への感謝の想いを発信しました。



**P32 共通ロビー**

**主催：三信建設工業株式会社  
地盤技術のプロバイダー**

簡易的な液状化実験の実施。東日本大震災で崩壊した道路等の構造物の復興に活躍した地盤処理技術（WILL法）等の紹介。



**P33 共通ロビー**

**主催：よんなな防災会  
行政をはじめとして幅広い防災の繋がりを全国へ**

【目的】・よんなな防災会をより多くの方に知っていただくことで、よんなな防災会のメンバーの一員となっただき、防災に関する人と人との繋がりを創出することを目的としています。

【対象】・行政職員、民間企業の方、学生をはじめ、どなたでも大歓迎

【内容】・よんなな防災会の概要及び活動紹介（会に所属することもメリットを併せて紹介）



**P34 共通ロビー**

**主催：一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）  
産官学の連携で防災ビジネスのイノベーションを推進！**

日本の防災技術は国内のみならず、海外でもたくさん活躍しています！

今回の展示では様々な導入事例や各国での活動状況等をご紹介します。日本の防災技術と一口に言っても、災害種別も対策方法（インフラを強くする、早く避難する、備蓄する…etc）も様々です。JBPには「防災」に関わる多種多様な会員企業が集まっていますので、様々な技術・防災ソリューションをご紹介します。



**P35 共通ロビー**

**主催：一般財団法人 自治体国際化協会（クリア CLAIR）  
災害時の外国人支援～多言語表示・指差しで会話ができるツール、  
外国人支援の取組を紹介！～**

東日本大震災時に、当協会を通じてALTとして勤務していた方が亡くなるなど、多発する災害による外国人被災者を減少させるため、外国人支援に関わりうる方に災害時の外国人支援を紹介

①多言語表示シートの作成体験、多言語指差しボード※R2年新規作成、避難者登録カード等の配布

②災害時多言語支援啓発動画の上映 被災時の外国人・災害時多言語支援の様子

③取組紹介（自治体等と連携した訓練や研修、先進取組事例）等



釜石市民ホールTETTO

**P36 共通ロビー**

**主催：竹内工業株式会社**

**ジャッキのパワーを体験しよう！**

人の力を助けてくれる救助用品のパワーを体験できるブースです。数十kgの重りを

①人の手だけで持ち上げた時

②道具を使って持ち上げた時

どちらがより簡単に重りを持ち上げることができるか体験して実感していただきました。



**P37 共通ロビー**

**主催：LACITA**

**新時代の防災必需品「ポータブル電源」**

目的：災害時の停電対策として、パソコン、スマホ、小型家電等に給電できる高出力・大容量で携帯可能なバッテリーの利便性を紹介。停電下における職場・家庭単位での「自助能力」向上の意識づけを図る。

対象：自治体の危機管理担当者、企業の総務担当者、災害対策に関心の高い一般家庭の方。

展示内容：ポータブル電源からブース内の照明、ディスプレイ（PC）等に電源を供給し、視覚的に説明。



**P38 共通ロビー**

**主催：一般財団法人 防災教育推進協会**

**日本人の防災力向上と防災教育プログラムのご紹介**

一般財団法人防災教育推進協会の活動内容を紹介し、防災教育プログラム（ジュニア防災検定など）の活用事例や、様々な取り組みの内容を展示し、資料の配布も行いました。



**P39 共通ロビー**

**主催：特定非営利活動法人 都市環境標識協会**

**全国統一型避難誘導標識の普及・啓発について**

全世界の中でも多様な天災が発生する我が国において、同一地域内で駅一つ違うところでも避難場所を探すことが出来ない人々が多く、まして遠方からの来訪者や異言語国の人々は皆目路頭に迷う結果になりまして、夜間の避難では、皆目探すことは不可能となります。このことは先の東北太平洋沿岸の地震での避難行動の中で明確になりました。今回のぼうさいこくたい2021では全国統一型避難誘導標識等を展示しました。



**P40 共通ロビー**

**主催：こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）**

**お住いの地盤診断サービス～地盤の強さや、自然災害のリスクを確認～**

当会のHPで紹介している「お住いの地盤診断サービス」を活用し、お住いの災害リスクをチェックいただけます。本サービスは住所を入力するだけで地盤の強さや自然災害のリスクを1枚のレポートで閲覧できるもので、災害発生時の危険なエリアや避難場所などを確認いただくことで、防災・減災への意識を高めていただけます。また、当会のリーフレットをお渡しし備えることの大切さを知っていただきました。



**P41 共通ロビー**

**主催：日本たばこ産業株式会社**

**Rethink PROJECT 東日本大震災復興支援**

「段ボール防災ジオラマ授業」は、自分たちの住むエリアの立体地図を段ボールで制作し、地域の災害リスクを自らが考える取り組みで、楽しみながら防災意識の向上や自助の力を身に付けることを目的としています。2021年は、岩手（陸前高田市）・宮城（仙台市・石巻市）・福島（いわき市）で計7回を実施。地域での取り組みの様子をモニター放映・パネル・リーフレットを配布して紹介しました。



**P42 共通ロビー**

**主催：一般社団法人 72時間サバイバル教育協会**

**子どもたちが自ら考えて行動する力を身につける体験学習**

当団体で全国展開しているサバイバルマスター®のプログラム紹介と、協力団体である教育機関や企業との連携事業の事例紹介を行いました。ポスターパネルの展示をし、パンフレットを配布し、ご来場者にご説明をしました。対象は、行政、教育機関、一般の親子、一般企業となり、目的は体験学習を通じた減災教育を全国に拡げていくためです。



**P43 共通ロビー**

**主催：株式会社ゼンリン**

**まちを知ることから始めよう～地図×防災～**

災害に対して、事前に発生を想定した意識を持つこと・準備をすることが大切だと考えています。地域の防災意識の向上のため、自治体や自治会様と一緒に取り組んできた事例をもとに防災活動に役立つ情報を発信しました。また、速やかで安全な避難行動のためには、地域のことを十分に知っておく必要があります。地域の活動・防災教育・ご家庭での避難準備に取り組んでいたような地図を使った事例を紹介しました。



**P44 共通ロビー**

**主催：株式会社レジリエンスラボ／株式会社明電舎**

**レジリエンスの高い持続力のある社会を目指して～災害時に必要な燃料・電源等のエネルギーを補い合う共同備蓄スキーム～**

大規模災害時に発生する長期停電に備えて、電源・燃料等のエネルギーの備蓄を会員同士で補い合う共同備蓄スキーム「BCPチャージ」の構築を目指しています。緊急時には、共同備蓄拠点から、必要としている会員に対し、最優先で燃料・非常用電源等を配送します。各社・組織をつなぎ、共助の取り組みを仕組化することで、これまで価格や保管場所の問題により対応することが出来なかった長期停電への備えを実現します。



**P45 共通ロビー**

**主催：帝人フロンティア株式会社**

**まるごと防災WITH感染対策～ニューノーマル時代の防災～**

今からの防災の重要なテーマは、「仕事と生活の調和」「安全と健康の確保」です。私たちは、ニューノーマル時代の防災で何をすれば良いか？室内安全対策・水害対策・備蓄対策・感染対策について、自助と共助ができる総合防災のプラットフォーム「まるごと防災」を提案しました。



釜石市民ホールTETTO

P46 共通ロビー

**主催：独立行政法人 中小企業基盤整備機構**  
**経営の強靱化を支援します！**

- 現地出展 セミナーやハンズオン、マッチングサイト等による事業継続力強化計画の策定支援など、中小企業支援施策を紹介しました。来場した中小企業経営者や防災担当者を対象として、専門家による事業継続力強化に係る相談会を実施しました。
- オンライン 中小企業「強靱化」キックオフイベント（9月開催）及びシンポジウム（10月開催）の基調講演、パネルディスカッション等を録画収録して配信。



P47 共通ロビー

**主催：内閣官房国土強靱化推進室**  
**国土強靱化の取組について**

我が国は、これまで様々な大規模自然災害を経験し、その度に甚大な被害を受け、長期間にわたり復旧・復興を図る事後対策を余儀なくされてきました。国土強靱化は、災害に対する事前の備えとして、予断を持たずに最悪の事態を念頭に置き、人命を最大限に守り、また経済社会が致命的な被害を受けず、被害を最小化して迅速に回復する、強さとしなやかさを備えた安全・安心な国土・地域・経済社会を構築することを目指しています。



P48 共通ロビー

**主催：公益社団法人 日本非常食推進機構**  
**SDG s に寄与する防災備蓄品の有効活用**

総務省の東北管区行政評価局の防災備蓄食料の活用促進に関する調査（2019年3月28日報告）によると、中央官庁及び地方自治体で63.8%が一部または全てを廃棄しているとのある。これらの廃棄問題と食品ロス削減、SDG s の推進を総合的に取り上げ、広域的な防災備蓄食料の活用事例をポスター、チラシ等で紹介し、防災備蓄食料の活用推進を図る。また具体的な活用事例をポスター掲示し国内二一スも伝えてた。



P49 共通ロビー

**主催：地震調査研究推進本部／**  
**文部科学省研究開発局地震・防災研究課**  
**地震調査研究推進本部の取組について**

地震調査研究推進本部の紹介と公開している成果を、ポスターなどで分かりやすくご紹介しました。



P50 共通ロビー

**主催：盛岡地方気象台**  
**防災気象情報の利活用**

気象災害の危険が認められる場所（急傾斜地や河川周辺など）に大雨などの激しい現象が加わると、土砂災害や洪水等が発生し、命に危険が及ぶ非常に危険な状況となります。盛岡地方気象台では、災害から身を守るために役立つキキクル（危険度分布）をはじめとする防災気象情報や海水浴場等で津波警報等の発表をお知らせする津波フラッグについて、パネルやリーフレットを使って説明しました。



釜石市民ホールTETTO

P51 共通ロビー

**主催：広島市**

**わがまちは自分たちで守る「防災まちづくり事業」について**



広島は、全国で最も土砂災害危険区域が多く、近年では、平成26年8月広島豪雨災害、平成30年7月豪雨災害、さらに、今年も8月の大雨で大きな被害を受けました。広島市では、頻発化する大規模災害に対し、地域防災力の向上を図るため、平成27年度から「防災まちづくり事業」を行っています。ブースでは、この「防災まちづくり事業」や令和3年8月の大雨での本市の対応について、職員がパネルにより紹介しました。

P52 共通ロビー

**主催：仙台市防災環境都市推進室**

**「防災環境都市・仙台」の実現に向けて**



東日本大震災を経験し、仙台市では、将来の災害や気候変動リスクなどの脅威にも備えるしなやかで強靱な「防災環境都市」を推進しています。今回の出展では、東日本大震災から10年間の本市の復興のあゆみや防災環境都市としての取り組み、復興や防災に尽力してきたステークホルダーの活動などについて、来場する一般の方や防災関係者の方を対象に動画の放映やパネル展示、リーフレットの配布等によりご紹介しました。

P53 共通ロビー

**主催：公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構  
東日本大震災・原子力災害伝承館**

**東日本大震災・原子力災害伝承館**



当館の設立理念や機能をお伝えする他、災害発生当時の状況や廃炉を含めた復興の進捗状況について、展示パネルに加えて動画によるご紹介をいたしました。当館は研究機関や大学におけるフィールドワーク、或いは民間企業や学校での研修や教育旅行の場として、様々な来場者の方々に向けて、施設の概要や 利用方法についてご案内しました。

P54 共通ロビー

**主催：NPO 津波太郎**

**津波防災の聖地 津波太郎（田老）の津波防災文化から学ぶ  
—津波警報技術の向上で安心安全な社会を—**



ブースでは東日本大震災津波が防潮堤を強襲する写真と被害状況写真集の閲覧、当法人が作成した復興の進捗状況（2年、3年、6年）の写真小冊子と「津波防災の町」宣言の田老の東日本大震災津波を検証した小冊子、防潮堤を築いた関口松太郎村長の昭和三陸大津波復興記録誌を展示すると共に、第3回国連防災世界会議（仙台）で発表したポスター、田老の赤沼山避難場所に設置した、田老の津波防災の取り組みを伝える案内板の展示、宮古市管内の小中学生への防災意識アンケート結果報告他。

P55 共通ロビー

**主催：宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課**

**宮城県震災復興パネル展「あなたの応援を力に。今までも。これからも。」**



震災から10年が経過した宮城県内の被災地の復興状況について、被災当時と現在の写真を比較した内容のパネルにより周知した。また、被災地で復興に向けた活動を行っている人物に焦点を当てた内容のパネルも展示し、宮城県の復興の歩みを周知した。その他、本県で作成した復興・伝承に係る広報冊子の机上配布も行った。

釜石市民ホールTETTO

P56 共通ロビー

**主催：日本労働組合総連合会（連合）**

**連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～**



連合が災害発生後に取り組んできた災害ボランティアの展示や、防災・減災に向けた取り組みを紹介しました。  
 ○過去の災害ボランティア（東日本大震災・熊本地震・近年の豪雨災害など）の写真パネルの展示、DVD上映など  
 ○減災に向けた取り組みとして防災・減災に関する政策制度実現に向けた取り組みに関する資料配布  
 ○震災を風化させない取り組みとして実施した「絆フォーラム」に関連する資料配布

P57 共通ロビー

**主催：福島県**

**福島県の復興状況**



福島県の復興のあゆみを伝えるため、復興状況をまとめたパネルの掲示、東日本大震災の経験や教訓をまとめた防災ガイドブック「そなえるふくしまノート」及び福島が誇る食や自然、工芸品等の魅力をお伝えする「ふくしままっぷ」等の配布を行いました。

P58 共通ロビー

**主催：株式会社 東京海上日動パートナーズ東北**

**3.11リボンプロジェクト～あの日を忘れない、未来を結ぶ絆～**



保険代理店である私たちが伝えられる想い・使命を形にするため、「被災経験をされたお客様のインタビュー動画」や弊社独自の「防災ツール（クリアファイルや災害ポケットメモ）」等を全て自分達で作成しました。それらの視聴・配布を通じ、また、来場者の方々に楽しく学んでいただきながら、地震や津波などの災害が発生した際の対応、日頃の備えの大切さについてお伝えしました。

P59 共通ロビー

**主催：一般財団法人 世界防災フォーラム**

**世界防災フォーラム World Bosai Walk TOHOKU+10 のご紹介**



財団の活動と、2022春に実施を予定（コロナにより2021秋から延期）しているイベント「World Bosai Walk TOHOKU+10」についてご紹介しました。本企画では、東日本大震災から10年の節目の年に、福島県いわき市から青森県八戸市にかけて復興の様子をレポートしながら歩きました。パネル展示、チラシ配布、動画を通してイベントの概要をご紹介しました。

P60 共通ロビー

**主催：国立国会図書館**

**国立国会図書館 東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）**



「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）」（以下「ひなぎく」という。）を紹介するポスターを掲示し、パンフレット（日・英）を配布した。ひなぎくは、東日本大震災の記録を国全体で収集・保存・公開を進めるためのポータルサイトである。2021年10月15日現在で55のアーカイブと連携を実施し、検索できるコンテンツは、約496万件に及ぶ。国全体の取組として、広く国民に知っていただき、今後の研究や防災教育に使用してもらいたい。

釜石市民ホールTETTO

**P62 共通ロビー**

**主催：環境省自然環境局総務課 動物愛護管理室**  
**大丈夫？ あなたとペットの災害対策**



災害が起こるたびにペットを連れた被災者（避難者）の避難所等での受入れ拒否の問題や、ペットがいるために危険を顧みずに避難しない方が現れる。そこで、ペットの飼い主には災害時の同行避難を強く啓発し、ペットの躰など重要な観点をお知らせした。また避難所等の運営者にはペット受入れのためのヒントをお示ししてご検討いただいた。

**P63 共通ロビー**

**主催：一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会**  
**福祉BCPと福祉避難所**



【福祉施設等の責務と災害への備えの必要性】全国各地で、様々な自然災害等が発生しています。災害時、社会福祉施設や事業者は、施設の入所者・利用者や職員の命を守ることはもちろんのこと、常日頃から行っている利用者への支援を続けるという責務を担わなければなりません。災害等に備えて、常日頃から行われている利用者への支援が途切れないよう、あらかじめ準備しておくことが重要です。

**P64 共通ロビー**

**主催：株式会社メルシー**  
**コンパクト設計で全身のケアが出来るフットケア機器のご紹介です**



フットケア機器の体感スペース。車中や施設での避難待機中等に起こる血液障害にお役立てください。

**P66 共通ロビー**

**主催：国立研究開発法人情報通信研究機構**  
**ダイハードネットワーク®**



大規模災害時や障害時に、広域で公衆通信網に輻輳や途絶が発生した際に有効な「通信途絶領域解消技術」として、サーバ機能を有する複数の装置同士が接近時通信により情報同期を行い、装置が移動することで情報を伝達・共有する新たなシステムを紹介しました。及び、総務省東北総合通信局と連携し、災害に強い分散型地域ネットワーク（NerveNet）も屋外に展示しました。（東北総合通信局テント内）

**P67 共通ロビー**

**主催：株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）**  
**通信途絶時でも使える可搬型ローカル通信システム（LACS）と  
 災害情報のスムーズな取得/共有/発信を可能にするポータブルSIP4D**



インターネットや電話が使えない環境でも利用可能な可搬型のローカル通信システムLACS（Locally Accessible Cloud System）を紹介します。LACSは、大規模災害時に発生しうる通信途絶環境において、災害対策本部や避難所などで急増するローカルな通信需要に即応します。展示では、LACSを用いて実現した災害情報共有システム：ポータブルSIP4Dのご紹介等を行いました。

釜石市民ホールTETTO

P68 共通ロビー

**主催：防災科学技術研究所**

**防災科研が取り組む防災・減災に関する様々な研究活動や  
陸海統合地震津波火山観測網「MOWLAS」の紹介**

防災科研は、「生きる、を支える科学技術」をアイデンティティとして掲げ、あらゆる種類の自然災害を対象に、予測・予防・対応・回復のすべての段階について総合的な研究開発を進め、人々の命と暮らしを支えています。今回は会場が岩手県であることから、防災科研が取り組んでいる防災・減災に関する様々な研究活動の中から、「地震津波火山ネットワークセンター」の取り組みを紹介しました。



P69 共通ロビー

**主催：東北大学災害科学国際研究所**

**東北大学災害科学国際研究所の社会への発信**

東北大学災害科学国際研究所は、東日本大震災の翌年に発足し、“「実践的防災学」”の創成をミッションに活発な研究・実践活動を行ってきました。レジリエント社会の構築に向けて情報発信も重視し、国内外の小中学校生・一般市民・行政・研究者など様々な方を対象に、東日本大震災の教訓・最先端研究成果・防災力向上に役立つツールやノウハウなどを積極的に発信しています。今回の展示では、そのいくつかの実例を紹介しました。



P70 共通ロビー

**主催：株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター**

**三陸漁業集落の震災復興まちづくり**

1. 2012年以来、毎年ワークショップを開催してきている。唐丹町の復興まちづくりに関する、2019年8月まで8回のワークショップの意見交換と成果のとりまとめ。
2. 防潮堤高さの費用対効果についての考え方 過去の津波高さの確率モデルの提案、総費用最小化原理の防潮堤高さ決定への応用、被害想定についての考察など
3. 震災復興まちづくりについて、これから都会と三陸漁業集落との連携に向けての提言



P71 ギャラリー

**主催：株式会社 エスエスティー協会**

**国土を強靱にする地盤改良技術**

自治体の土木・建築の関係者や建設関係企業等の来場者に対し、地盤改良技術により軟弱地盤に起因する土木・建築分野の災害が防止できること、従来より優れた新たな技術が開発され、国土強靱化にも役立つものであること等を説明しました。

- (1) 地盤改良技術による災害対策（建築構造物、道路盛土、河川堤防、斜面・土砂災害、液状化対策）
- (2) 新たな地盤改良技術による国土強靱化への貢献



釜石情報交流センター

P72 会議室1.2

**主催：南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める  
10県知事会議**

東日本大震災を教訓を活かし、南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進めよう

南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議の活動や、会議を構成する10県（静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県）が東日本大震災の教訓を活かして推進する南海トラフ地震対策の取組を、パネルや映像を使用して紹介しました。



P73 会議室1.2

**主催：防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト  
南海トラフ地震に備える  
ー防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクトー**

プロジェクト概要、成果、トピック等を、現地ではポスターや動画などで、オンラインではスライドや動画で紹介しました。構築中の命・地域産業・都市機能を守るツールやシステム、南海トラフで通常と異なる活動があった際の検出システム、過去の地震津波履歴、南海トラフの地殻活動推移予測、リテラシー向上を目指す防災学習、地域との連携などを紹介し、来場者・参加者・視聴者が防災についてあらたに考えるきっかけを提供しました。



P74 会議室1.2

**主催：海ぼうずの会（「ふじのくにDIGセミナー」参加者の会）  
「DIG2022津波防災編」で考える東日本大震災と南海トラフ巨大地震  
の津波防災**

「地図から『災害の物語』を読み解き、地図を前に『防災の物語』を語り継ぐ」災害図上訓練DIGは避難経路確認のワークショップではありません。では、地図からどのように「災害の物語」を読み解き、釜石の教訓を踏まえ、南海トラフ巨大地震の災害予防に向け、どのような「防災の物語」を語り継ぐべきか。取りまとめ中のDIG2022津波防災編の概略を紹介しつつ、防災や防災論議の「そもそも論」についても共に考えました。



P75 会議室1.2

**主催：社会福祉法人岩手県社会福祉協議会  
1日でも早くふだんの暮らしを取り戻すため  
～災害ボランティア活動の紹介～**

東日本大震災津波被災後、県内市町村社会福祉協議会では、被災した住民の暮らしの早期回復を目指し、災害ボランティアセンターの開設・運営に取り組みました。県内には、延べ563千人（2018年度末現在）のボランティアが駆けつけ、発災直後の瓦礫の撤去から、サロン活動、引っ越しなど、支援ニーズの変化に応じた柔軟な対応を行っていただきました。本パネル展示では、災害ボランティアの取組について紹介しました。



P76 会議室1.2

**主催：イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」  
「被災地と共に歩んだ、復興への道程」  
イオンの東日本大震災支援の取り組み**

東日本大震災後、イオングループは本業を通じた地域経済の支援、地域のにぎわいを創出するための施策、安全安心な暮らしを実現するために活動してまいりました。特に心をつなぐプロジェクトでは、地域住民と手を取り合いふるさと創生を目指しモノづくりやコトづくりを実施してまいりました。来場した皆さまとの交流でもそうした地域との協働についてお話をさせていただきました。



**P77 会議室1.2**

**主催：丸木医科器械株式会社**

**災害時施設状況伝達横断幕SOSシート**



災害時施設状況伝達横断幕SOSシートを出展しました。あわせてカタログや資料の配布、動画再生を実施しました。SOSシートを自治体災害担当者、消防、自衛隊等救助者及び住民の皆様へ広く周知しました。

**P78 会議室1.2**

**主催：一般社団法人みんなネットワーク**

**みんなネットワークの取り組み**



自然災害の種類やハザードマップの種類についての解説。ハザードマップ閲覧時に間違えやすい点、勘違いしやすい点などの紹介。実際の各種ハザードマップや国・自治体のハザードマップの内容に関して、専門家による分かりやすい解説。また自然災害が起こりやすい日本の国土がどのように形成されたのか、日本人がどのように災害に向き合ってきたのか、地質学の専門家の視点から解説しました。

**P79 会議室1.2**

**主催：ジオわーくサイエンス**

**ジオわーくサイエンスの取り組み**



その土地その土地によって、想定されるリスクの種類は異なります。土地に潜む災害リスクを理解し「許容できるリスク、許容できないリスク」を検討し、あらかじめ準備しておくことが大切です。弊社ではそのような災害に対するレジリエンスを持った社会構築を目的として、企業等を対象に、各種サービスを展開しておりますので、その内容に関して出展しました。

配信

**P61 オンライン**

**主催：Y Y 防災**

**地域防災・学校防災**

地域防災計画で東日本大震災指定避難所運営を地域住民行った。学校防災教育。

**P65 オンライン**

**主催：株式会社ヤマト**

**血行促進**

弊社OEMの管理医療機器は医療学会・看護学会でご紹介しており来場者さまに体験していただきエコノミークラス症候群の予防の体験をしていただきました。

**P80 オンライン**

**主催：防災ママかきつばた**

**絵本×オンライン×地域×ママの防災活動紹介**

防災ママかきつばたの活動紹介&講師依頼をする方法についてPRしました。ママたちの備えを紹介することで、一般のお客様への啓発と同時に防災団体への活動のヒントになるべく活動紹介を行いました。また、私たちは愛知・オンラインで活動していることもあり、他の地域の防災啓発をお手伝いできるきっかけになりたいと思います。

**P81 オンライン**

**主催：一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク**

**段ボールジオラマ防災授業**

組立式のジオラマキットを活用したワークショップ型の防災学習プログラムのご紹介です。自分の住んでいるエリアの地図が印刷された段ボール製のジオラマを組み立て、楽しみながらまちの地形や災害リスクが学べます。その後も地域の共有資産として活用いただけます。

**P82 オンライン**

**主催：一般社団法人全国建設業協会**

**つくる！なおす！まもる！地域建設業の取り組み**

近年頻発・激甚化している台風や地震などの自然災害や鳥インフルエンザ・CSF（豚熱）などに対する防災・減災への取組は喫緊の課題となっており、建設産業は「地域危機管理産業」として、日ごろから地域の安全・安心を守るという使命感・責任感をもって活動しています。特に、地域の建設業は災害が発生すれば、いち早く現場に駆けつけ、最前線で応急復旧活動に従事する、いわゆる「地域の守り手」として重要な役割を担っています。

## 配信

## P83 オンライン

**主催：イオン株式会社****地域とともに未来を創る～東日本大震災から10年～**

東日本大震災当時の店舗の営業再開や被災地支援の取り組みを紹介することで、地域とくらしをキーワードにイオンの安全・安心の取り組みを紹介しました。東日本大震災以降、イオンが地域社会とともに復興に取り組んだものを未来に向けて発信しました。

## P84 オンライン

**主催：NPO法人 岡山NPOセンター****災害支援のWikipedia「サイカイペディア」と、物資支援のコーディネーター**

各地で自然災害が発生する中で、新たに被災地となってしまった地域の自治体職員の方や地元社協、NPOなど、はじめて災害支援に取り組む方が、国や外部支援者の間で飛び交う災害支援特有の「専門用語」や「業界用語」がわからず困った！という際に簡単に意味が分かることに主眼を置いたウェブ用語集「サイカイペディア」と、現在、開発中の災害時に「支援企業と被災現場との物資受給調整」をするマッチングシステムを紹介しました。

## P85 オンライン

**主催：豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」****ドローンを駆使し南海トラフ地震から豊橋市及び東三河地域を守る!豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」**

南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域である豊橋市では、津波等の教訓を活かした対策を進めています。東日本大震災の時には、懸命な避難広報を市民に行っていた防災担当者が、二次災害に巻き込まれるなどの被害が発生しました。我々はドローンを用いて、安全かつ迅速な被災状況の把握と情報共有活動、そして平常時から市の各業務で活用している内容を映像にて紹介しました。

## P86 オンライン

**主催：公益社団法人中越防災安全推進機構****支援物資の発注業務をDX化するスマートサプライEC**

自治体向けの災害支援物資調達システムスマートサプライECの紹介をオンラインで行いました。スマートサプライECを用いることで、従来の災害時における支援物資調達の課題をどのように改善できるかを説明しました。また、スマートサプライECの機能や操作方法、プランなどについての紹介も行いました。

## P87 オンライン

**主催：株式会社スギタ****防災避難着 早期発見全身反射ポンチョ**

線状降水帯などゲリラ豪雨などによる洪水などの避難時に、着用して頂ければ、万が一遭難した際、暗闇でサーチライトなどに反射し、早期発見が可能になります。早期発見が可能になれば、要救護者の生存率が上がるだけでなく、捜索隊の危険度も格段に下がります。遮熱効果の高い生地を使い、遭難時、夜間の体温低下を防ぎ、低体温への対策も可能です。昨今の高齢者の健康ブームによる登山時の対遭難グッズとしても有効と考えます。

配信

**P88 オンライン**

**主催：有限会社 西谷**

**子育て世代の災害時の悩みや不安に向き合い続ける防災ボックス**

当社の都合で選んだ商品は、災害時に本当に必要とされるのだろうかという不安が消えませんでした。そこで、SNSを中心に被災者や子育て世代の災害時の悩みや不安を集めて、リアルな声を徹底的に重視することに。全国の皆様から寄せられたお声によって、災害時に本当に必要とされるものが見えてきました！今回は楽しい・オシャレ・おいしいをテーマに企画・開発をした防災ボックス「ENJOYBOUSAI」を3シリーズ5ボックスご紹介しました。

**P89 オンライン**

**主催：一般社団法人 防災安全協会**

**新しい防災資格「災害備蓄管理士」の受講募集**

防災やBCPに役立つ人材を育てる「災害備蓄管理士」受講講座の認定事業のご紹介として、希望者には「災害備蓄管理士受講テキストブック」の無償配布や試験日程についてのプレゼンテーションを行いました。

**P90 オンライン**

**主催：江崎グリコ株式会社**

**温めずに食べられるレトルトカレー“常備用カレー職人”のご紹介**

民間企業様はBCPの観点での品揃えから、自治体様は昨今の台風、大雨被害対応として常備用カレー職人のご要望やお問合わせが増えています。商品内容や活用方法等をご紹介いたしました。

**P91 オンライン**

**主催：鹿児島市**

**火山防災トップシティ 鹿児島市～大規模噴火に備えた火山防災対策～**

日常的に噴火を繰り返す桜島の活動と60万人市民が桜島と共生する鹿児島市の世界トップレベルと称される火山防災対策を映像等を用いて紹介しました。

- ・映像放映（鹿児島市の火山防災対策、大正噴火の様子、桜島火山爆発総合防災訓練など）
- ・火山防災リーフレット
- ・火山防災トップシティPRパンフレット

**P92 オンライン**

**主催：富士フィルムシステムサービス株式会社**

**-AIによる被害状況可視化と住家被害認定調査のデジタル化-**

**『罹災証明交付迅速化に向けた取り組み』**

災害が発生した時、地方自治体が交付した罹災証明書をもちに被災者は様々な生活再建の手続きを行うことができますが、東日本大震災のような大規模地震が発生した場合、現在の対応方法では罹災証明書の交付までには膨大な時間を要することが想定されています。富士フィルムシステムサービスは、被災者のいち早い生活再建の実現に向けて、先進技術を活用した『罹災証明書交付迅速化の取り組み』を行っております。

配信

**P93 オンライン**

**主催：ビット・パーク株式会社**

**避難所ソリューション市内全域の避難所開設を“ココBOX”でスムーズに展開**

“ココBOX”：避難所の鍵を収容する遠隔解錠BOXです。市役所などから、解錠指示、地震検知で自動解錠します。解錠したこともWEBで確認できるため、避難所の開設が市内全域で確認できます。この他に土石流検知器や傾斜計、水位計、冠水報知器などのIoT関連製品をバーチャル展示しました。

**P94 オンライン**

**主催：WPPグループ Japan Pet Press**

**一命から読み解く災害への備えー**

- 1 「避難所とペット」
- 2 「アニマルトラスト制度」について
- 3 「ペットを探す技術」

以上3点を中心に、ペットイベントの際に参加者の皆さんが関心の高い項目（テーマ）を取り上げました。

**P95 オンライン**

**主催：防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）**

**防災専門図書館企画展「東日本大震災から10年」を開催！**

防災専門図書館で開催中の企画展「東日本大震災から10年」や、65年かけて収集した蔵書の紹介写真、そして防災専門図書館の紹介動画を掲載しました。

**P96 オンライン**

**主催：NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会**

**平時の支援：災害時 乳幼児が適切な栄養を受け取れるために**

動画は「国際スタンダードを踏まえた災害時の乳幼児栄養支援」について小児科医、IBCLC奥起久子先生が説明。災害時に母乳の分泌が低下するとの情報もあり母親が不安になりますが、周囲の支援が大切なことを資料掲載していますので活用ください。

**P97 オンライン**

**主催：福島大学つくしまふくしま未来支援センター**

**「福島から発信する防災教育」**

- ①防災教育教材「さすけなぶる」を活用した避難所運営研修 東日本大震災での避難所運営の教訓をもとに作成した防災教育教材「さすけなぶる」による避難所運営研修及び普及啓発活動について紹介しました。
- ②防災教材「Le・i・c（レイク）」を活用した避難所運営ラーニング 福島県内外の中・高校生を対象に実施している防災教育（避難所運営実践プログラム）について紹介しました。

## 配信

## P98 オンライン

**主催：三重県・三重大学 みえ防災・減災センター****みえ防災・減災センター及びみえ防災・減災アーカイブの紹介**

三重県における地域防災力向上のために当センターが実施しているさまざまな取り組みをご紹介します。昭和19年東南海地震や昭和34年伊勢湾台風など県内被災者の災害体験談、地震津波の碑及び防災紙芝居などを「みえ防災・減災アーカイブ」で紹介しています。アーカイブコンテンツを紹介することで、災害に対してどのように備え、対応するかを各自で考えていただきました。

## P99 オンライン

**主催：機能ガラス普及推進協議会****防災安全合わせガラスの有効性**

「機能ガラス普及推進協議会」は、建築用ガラスの生産・販売・流通に関わる以下7団体で構成され、建築物や住宅の安全性や居住性の向上に寄与するエコガラス、エコガラスS、地震台風等の自然災害に有効な「防災安全合わせガラス（合わせガラス）」等の機能ガラスの普及推進を目的に活動しております。

## P100 オンライン

**主催：国際復興支援プラットフォーム（IRP）****「Build Back Better（よりよい復興）」に関する経験と教訓の発信**

12分野にわたる復興の優良事例や知見などをとりまとめた「分野別復興ガイドスノート」や、広報誌である「IRP Herald」の紹介、また国内外から著名な復興の専門家等を招へいし、各国の復興の優良事例等を発信する「国際復興フォーラム」（毎年1月に神戸で開催）や、国際的なイベント（防災グローバル・プラットフォーム会合、アジア防災閣僚級会合）における活動などを紹介しました。

## 屋外展示詳細

---

## イオンタウン釜石第2駐車場

## 001 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：NPO法人日本防災用品技術研究協会

老いも若きも みな一緒に介助運搬車（手押し車）で避難



屋外展示テント前の広場を利用して介助運搬車（手押し車）の試乗会を実施しました。介助運搬車（手押し車）は、シニア・身体・目の不自由な方々を緊急時に運ぶ為に考えた。老老介護の時代に搬送の担い手には、女性や老老避難を考えなくてはなりません。2輪の為に安定した走行が出来てテコの原理を利用しているので軽く持ち上げて搬送する事が出来ます。また、バケツ（船）を取り付けて普段使いが出来る。

## 002 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：アイコム株式会社

進化し続けるけるトランシーバー – トランシーバー10年間の進化 –



東日本大震災のときにはなかったIPトランシーバーや衛星トランシーバーなど、非常時はもちろん、普段からかんたんに使える広域通信機器や、以前よりもユーザーフレンドリーになった通信ソリューションを提案いたしました。

主な出展内容

○広域同報通信システムなどの通信ソリューション

○災害時の情報発信や通信

## 004 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：ホリカフーズ株式会社

災害食を通じて人々を支える



防衛省に60年以上の納入実績があり、無菌包装米飯、レトルトパウチ食品、缶詰をはじめ、治療・介護食や業務用製品など様々な食品を手掛けている当社の災害食は、安心・安全の品質で災害時に本当に必要とされる災害食として全国各地の被災地でご活用いただいております。また、企業備蓄、個人備蓄をはじめ、自助、公助、共助のどれにおいても災害食を通じて人々を支え、お役に立てることをご紹介いたしました。

## 005 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：一般社団法人 浄化槽システム協会

災害に強い浄化槽システム



生活排水の個別分散型処理施設である浄化槽は、災害に強いといわれている。この浄化槽の持つ特長を啓発することにより、減災・防災及び復興の一助とする。（現地展示）浄化槽カットモデル・ミニチュアモデル、マンホールトイレ、パネル等で浄化槽の解説、減災・防災に寄与する浄化槽、応急仮設住宅で活躍する浄化槽などを啓発する。（オンライン）浄化槽の解説動画、マンホールトイレ・パネル写真、災害時の協力協定等を展示した。

## 006 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：日東工業株式会社

体験可！感震ブレーカー&amp;停電時の携帯充電



商用電源に頼らず太陽光発電から電気を使用できる製品（独立電源システム）と感震ブレーカーを取り付けた住宅用分電盤のデモ機を展示し、実際の利用方法などを紹介しました。独立電源システムの展示については、実際に太陽光発電した電源を使用し携帯電話などを充電していただく体験を実施しました。

## イオンタウン釜石第2駐車場

## 007 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：株式会社MT-NET

震災10年。改めて考えるその時のモノとココロの「備え」



ご覧いただけることの少ない多彩なグッズをなるべく多く、できるだけ体験可能な形で（限られたスペースではありますが）展開しました。グッズ類の現場での実演もしっかりとご覧いただきました。ブース内にQRコードも配置し、現地で実演できないものについてはスマートフォンなどを経由し、オンライン動画の形でその場でご覧いただきました。

## 008 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：株式会社フジタ

"ぼうさいのフジタ"

～総合建設会社によるハード/ソフトぼうさいへの取り組み



実物展示：【ロボQs】汎用重機に搭載可能な無人化施工ユニット。

【FTマッドキラー】災害で堆積したヘドロ状の土に混ぜるだけで瞬時にサラサラの土に改質する特殊改質材。

【災害用簡易ベッド】テントが一体となった備蓄用組立式ベッド。飛沫拡散防止とプライバシー確保。

パネル・映像展示：【防災への貢献】 【ドローン技術】 【ダム改修技術】 など

## 009 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：株式会社白獅子

「VRの技術を使った災害体験と、より効果の高い避難広報への提案」



「VRの技術を使い災害体験」私達は防災に特化した3DCGアニメーション制作を得意としVR空間へそこに存在しない世界や情景を創ることが出来ます。技術と業務実績を活かし制作相談やVRコンテンツ貸出業務を展示しました。特にVRデバイスの貸出は、小中学校の授業でも使える様安価で扱いやすいものを提案しました。岡山消防局、岡山大学と連携した防災減災についての研究の報告と使用するシステムの展示を行いました。

## 010 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：熊本県

熊本地震から5年。令和2年7月豪雨から1年。

「創造的復興」のいま。



熊本地震や令和2年7月豪雨の教訓を広く共有し、災害への備えに役立てるため、記録写真や映像等を分類・整理し「デジタルアーカイブ」として公開しています。出展では、さらに多くの人に利活用いただくため、パネル等を用いた本サイトの紹介や利用体験、空撮映像の上映等を行いました。また、被害や復興の状況のパネル展示や、検証をまとめたリーフレットの配布等を行いました。

## 011 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：公益社団法人 日本技術士会防災支援委員会

科学技術で大規模災害の被害を軽減



当会の紹介、当会が実施している減災・防災支援活動を紹介するパネルを展示する。それとともに学童向け防災クイズをパネルで作成し、クイズを解きながら防災力向上について考えて頂けるようにした。展示の最後では、当会が作成している「家族で考える防災Q&A」や「防災カード」などを簡単なノベルティとともに提供し、帰宅後も話題にして頂けるようにした。これらはオンライン配信とリンクさせ、WEB技術士相談室を開設した。

## イオンタウン釜石第2駐車場

## 012 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）**

**教訓が、いのちを救う『3.11伝承ロード』**



東北地方整備局は、東北管内における国土交通省の地方支分部局です。当整備局では、東日本大震災による被災地への思いを風化させることなく、震災での活動で得られた経験と教訓を忘れずに、多くの方々に後世に伝えるための取り組みを実施しています。当整備局において、被災4県（青森県、岩手県、宮城県、福島県）と仙台市とで、「震災伝承ネットワーク協議会」を設立し、震災伝承をより効果的・効率的に行うためにネットワーク化に向けた連携を図る『3.11伝承ロード』を形成し、交流促進や地域創生とあわせて、地域の防災力強化を目指しています。

## 013 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会**

**災害用トイレの備蓄調査の結果発表**



- ・2020年10月に行った南海トラフ地震で被害が予測される地域での、災害時用トイレの備蓄調査の結果発表。
- ・災害時に使用されるトイレである「携帯トイレ」「簡易トイレ」「マンホールトイレ」「仮設トイレ」の4種類の実物展示、紹介。
- ・災害時に使用出来るトイレが不足する為、「携帯トイレ」「簡易トイレ」の備蓄推奨 及び 現物説明、配布。

## 014 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：有限会社アシストコム**

**VRやICTを活用した防災減災学習**



VRで地震の揺れ方や津波の速さを体験・体感して頂き、自分（家族など）の身の安全を守る為の行動や知識を学習できます。災害時の情報収集用Webシステム・アプリの展示。迅速な情報の収集、確認の重要性をお伝えしました。防災や地理の学習に最適な、標高模型を使った持ち運び可能なプロジェクションマッピングの展示もしました。※VRコンテンツにおいて、地震の揺れ、津波が押し寄せる表現がございます。

## 015 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：株式会社 JINRIKI**

**要配慮者避難 着脱けん引式車いす補助装置体験**



既存の車いすに簡単装着をするだけで、車いすでは困難だった段差や階段、ガレキ、積雪、砂などの様々な不整地が走行可能となり、これまで諦めていた要配慮者やその家族などの避難を可能にすることで、一人でも多くの命を守ることが可能とする。これまで「避難をする？しない？」の判断の前にあった「避難ができる？できない？」の大きな問題を解決しました。

## 016 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：アールシーソリューション株式会社**

**【ゆれくる遊撃隊】オリジナルのサバイバルカードを作ろう！**



JAの子ども雑誌「ちゃぐりん」で連載している「ゆれくる遊撃隊のレッツ防災術」のキャラクターを活かしたサバイバルカードを作成しました。サバイバルカードに名前や住所、避難場所等の情報を記入してもらい、その場で写真を撮影、加工をして手渡しました。災害発生時、子どもたちの自助と、助け合いにつながるプログラムです。

## イオンタウン釜石第2駐車場

## O17 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：日本赤十字社

東日本大震災から10年 防災への意識を高めよう  
「日頃の備え・避難することになったら、なにが必要？」

人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める必要であることから、屋外展示ブースにて感染予防を考慮しながら、「自助共助のための心肺蘇生・AED使用方法の展示と体験」「備蓄や避難時持ち出しグッズ、防災食等の紹介」「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！（幼稚園・保育所向けのプログラム）の紹介と体験」を行いました。



## O18 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：株式会社NTTドコモ 東北支社 岩手支店

## NTTドコモの災害対策

- ・日本全土でご利用いただける「衛星携帯電話サービス」
- ・カメラ映像による「河川の水位、状態監視サービス」
- ・被災地域に滞在の方の安否状況を確認いただける「災害用伝言版サービス」
- ・被災により携帯電話基地局が停止した際に応急的に復旧させることができる「移動基地局車両」



## O19 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：公益社団法人 日本薬剤師会

## 薬剤師会モバイルファーマシー展示

モバイルファーマシーはキャンピングカー等を改造した、薬局機能を搭載した災害対策医薬品供給車両であり、電力や水の途絶えた被災地の医療救護所等で自立的に調剤業務と医薬品の供給を行うことができます。屋外展示により、一般来場者・参加者の方々に災害発生時に被災地で活動するモバイルファーマシーをご覧いただきました。



## O20 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：総務省 東北総合通信局

## 非常災害時における通信・放送の確保のために

東日本大震災では、情報通信インフラ、施設は壊滅的な被害となった。これらの復旧・復興にあたり、その経験や教訓から産学官連携で災害に強いICTシステムの研究開発を進め、南海トラフ地震等将来の大地震等に備えていただくシステムの社会実装を目指している。今般NICTと連携し災害時において容易に通信ネットワークを構築するシステムを展示し、自治体や防災関係機関等に広く周知を図った。また、災害時における通信確保や情報伝達のため自治体等に無償貸与する移動電源車、可搬型発電機、衛星携帯電話、トランシーバー及び臨時災害放送局を同時展示し、無償貸与資機材の認知を図った。



## O21 イオンタウン釜石第2駐車場

主催：岩手県

## 「防災そばっちゃん」(地震体験車)による防災体験プログラム

地震体験を通じて、私たちが日頃心掛けておかなければならないことがらなどについて「見て」「触れて」「体験」し、災害時の被害を少なくするための「生きた知識」を身につけていただきました。



## イオンタウン釜石第2駐車場

## 022 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」****市民を守る新しい公助のカタチ、共創で災害時の  
トイレ問題解決に挑む！**

- 共創、コレクティブインパクトでの防災・減災の必要性を提起。
- 共創事例として、災害時に深刻化するトイレ問題の解決に取り組む、災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」を紹介。
- 支援実績および実車も展示、全国の自治体へ災害派遣トイレネットワークへの加盟を呼びかけました。



## 023 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：自衛隊岩手地方協力本部****車両展示**

東日本大震災津波を始めとする大規模災害時等に、被災地で活動する自衛隊の車両及び装備品を展示しました。



## 024 イオンタウン釜石第2駐車場

**主催：東日本電信電話株式会社 岩手支店****NTT東日本の災害における取組み  
(災害対策機器の展示・サービスの体験)**

テントブースでは災害時に安否確認・連絡を行うための災害用伝言ダイヤル171の体験会の他、普段見ることがないNTTの災害対策機器や災害時に活用するドローンの展示、車両ブースではNTTの災害対策車両を展示し、災害時における通信提供方法の紹介を行いました。

- ・171のデモ機を使った体験
- ・避難所等へ設置する機器の展示
- ・設備被害を調査するドローンの展示
- ・非常用通信を提供する特殊車両の展示



**その他の展開**

---



ぼうさいこくたいホームページ上でテレビ岩手制作「たゆたえども沈まず」をワンタイム限定で上映しました。

The screenshot shows a website page for the 'ぼうさいこくたい 2021' (Bousai Kokutai 2021) event. At the top, there are navigation links and social media icons. The main content area features a large banner for the documentary 'たゆたえども沈まず' (Tayutaedomo Shizumasazu), produced by TV Iwate. Below the banner, there is a smaller video thumbnail and a text box with the following details:

- テレビ岩手制作** (Produced by TV Iwate)
- 東日本大震災10年ドキュメンタリー映画『たゆたえども沈まず』** (East Japan Great Earthquake 10th Anniversary Documentary Film 'Tayutaedomo Shizumasazu')
- ワンタイム上映** (One-time screening) on **11月6日 21時** (November 6th, 9 PM).

The text explains that the film was produced by TV Iwate and is available for streaming on the website. It also provides a URL for the film's page: <https://www.bousai.go.jp/kyouka/kyouka/kyouka/kyouka/kyouka/>. Below the text is a video player showing a scene from the documentary. At the bottom of the page, there are navigation links for other events and contact information for the organizing committee.

総再生回数	948回
-------	------

制作物

---



- 名称：防災推進国民大会2021 パンフレット
- 仕様：A4
- 頁数：26
- 掲載：大会ホームページよりダウンロード



表紙



P1



P2



P3



P4



P5



P6



P7



P8



P9



P10



P11



P12



P13



P14



P15



P16



P17



P18



P19



P20



P21



P22



P23



P24



裏表紙

■セッション プログラムサイン A2

**セッションプログラム**

**ホールA**

11月6日(土)

10:30～12:00 **TEAM防災ジャパン**  
「岩手・釜石の東日本大震災 10年の活動に学び、  
熱のある多様なつながりをつくる」

13:00～14:00  
**オープニング**

14:30～16:00 **内閣府**  
「ハイレベルディスカッション」

16:30～18:00 **公益財団法人 日本消防協会**  
「災害廃棄物の処理」

■ワークショップ プログラムサイン A2

**ワークショッププログラム**

**スタジオA**

11月6日(土)

10:30～12:00 **一般社団法人 おいしい防災塾**  
「防災お菓子ポシェット作りと防災講話」

14:30～16:00 **日本たばこ産業株式会社**  
「段ボールジオラマ防災授業」

16:30～18:00 **東北大学災害科学国際研究所**  
地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄付研究部門  
「防災・減災スタンプラリー！  
～みんなで話して考えよう～」

■プレゼンブース団体サイン 900×1800mm

地震・火山 **河村電器産業株式会社** P01

地震による電気火災を減らす  
感震ブレーカーのご紹介

■屋外展示団体サイン 900×1800mm

南海トラフ **NPO法人日本防災用品技術研究協会** O01

老いも若きもみな一緒に  
介助運搬車(手押し車)で避難。

■メインホール吊看板 7200×900mm

～震災から10年～ つながりが創る復興と防災力

**ぼうさいこくたい2021** -いわて釜石から-

主催：防災推進国民大会2021実行委員会 協力：岩手県、釜石市

■名前垂れ 300×600mm

釜石市長  
**野田武則**

■入口出口サイン 450×450mm

450  
450  
1500

ぼうさいこくたい2021  
**入口専用**

ぼうさいこくたい2021  
**出口専用**

■駐車場サイン 600×1500mm

ぼうさいこくたい2021  
**関係者駐車場**

■ 総合案内



■ イオンタウン釜石 館内誘導サイン B3



■ プレゼンブース案内サイン 1800×1800mm



■ セッション、プレゼンブース案内サイン 600×1500mm



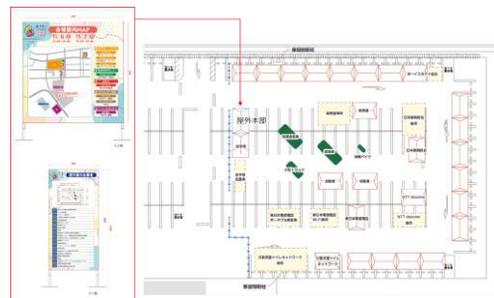
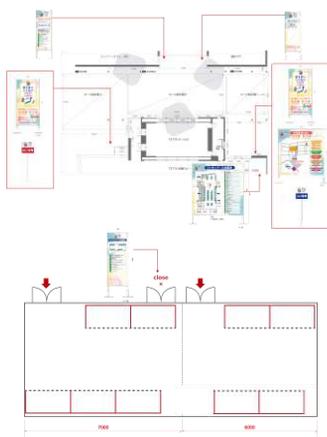
■ 屋外展示案内サイン 900×1800mm



■ ホテルサルート釜石前案内サイン 900×1800mm



■ 設置レイアウト



■サイン各種 A3



■会場名サイン各種 A3



■バッジ

- ・仕様：25×25mm
- ・作成数：4000個
- ・配布先：現地出展団体



■スタッフパス

出展者



スタッフ・関係者



取材メディア



# 広報記録

---

地元メディアでの県内訴求のみならず、配信イベントの特性を生かすためにSNSで全国に参加を呼びかけました。

	7月	8月	9月	10月	11月
大会 ホームページ	7/2 (金) リニューアルオープン	→			● 11/3 (水) グランドオープン
駅貼り広告				10/8 (金) 掲出 →	
ポスター・チラシ				10/12 (火) 各所配布 →	
SNS展開	7/2 (金) リニューアルオープン			10/15 (金) ~ 投稿 →	
SNS広告 (Facebook、 Twitter、 Youtube)				10/22 (金) ~ 11/6 (土) →	
情報誌				● 10/26 (火) 情報誌ゆうゆう掲載	
新聞				● 10/27 (水) 岩手日報掲載	● 11/3 (水) 岩手日報掲載
街頭ビジョン				10/30 (土) 掲出	
テレビCM				10/31 (日) ~ CM放送 →	
テレビ番組					● 11/4 (木) 5きげんテレビ
プレスリリース				● 10/29 (金)	

防災推進国民大会2021

●  
11/18 (木)  
情報誌ゆうゆう掲載

大会情報のポータルメディアとして大会ホームページを設置しました。  
 出展団体の詳細や登壇者情報も掲載しました。  
 URL: <https://bosai-kokutai.jp/>

■ TOPページ



■ 会場マップ



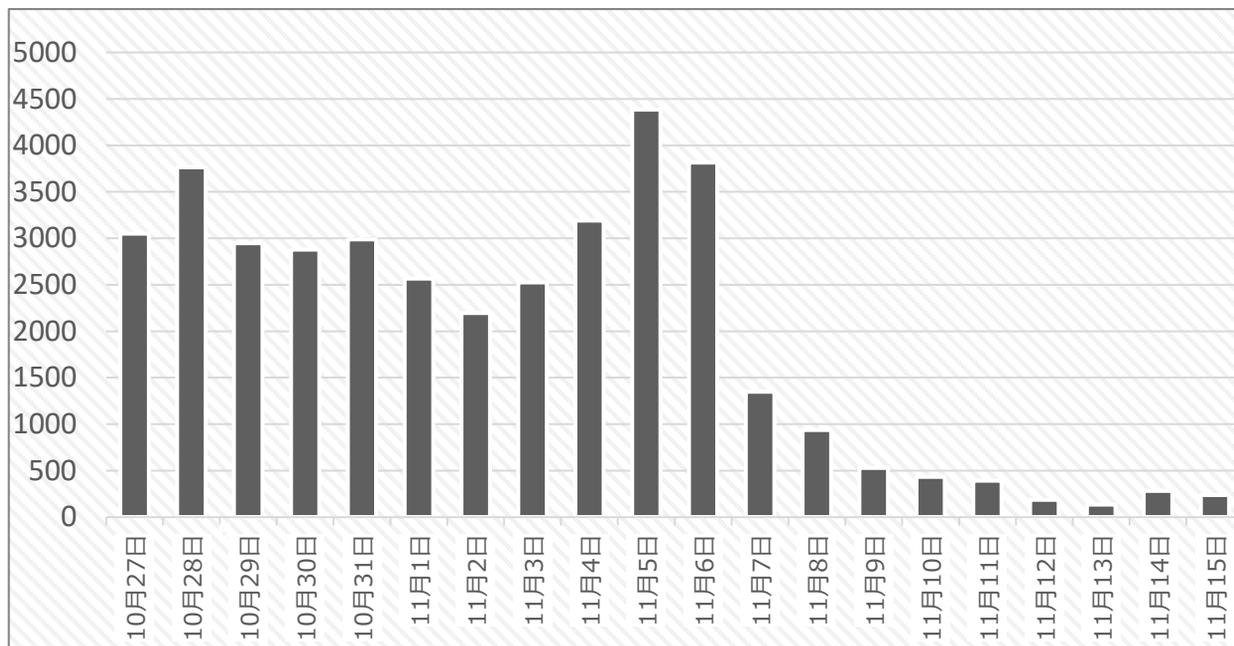
■ 出展団体ページ



【ぼうさいこくたいホームページ】

次頁まで、全てGoogle Analytics (UTC-8)による数値。

ユーザー数 (2021.10.27~2021.11.15)



■ 日別アクセス数 (2021.10.27~2021.11.15)

日付	ユーザー	セッション	ページビュー
10月27日	3049	3323	8479
10月28日	3763	4095	10536
10月29日	2948	3122	6705
10月30日	2879	3046	5685
10月31日	2990	3240	8359
11月1日	2567	2868	9707
11月2日	2196	2407	7298
11月3日	2526	2876	9306
11月4日	3192	3737	13454
11月5日	4385	6137	28368
11月6日	3814	5729	25434
11月7日	1349	1633	6080
11月8日	938	1090	3291
11月9日	530	615	1814
11月10日	432	496	1285
11月11日	393	434	1017
11月12日	188	213	691
11月13日	135	164	414
11月14日	283	316	762
11月15日	238	266	723
<b>合計</b>	<b>38795</b>	<b>45807</b>	<b>149408</b>

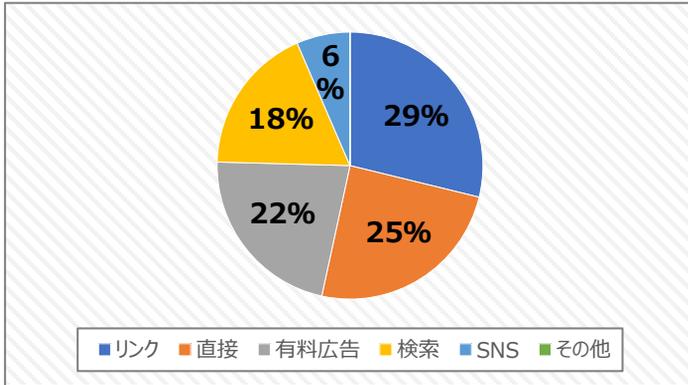
ユーザー数：  
何人のユーザーがサイトを閲覧したかを表しています。

セッション数：  
検索や広告からWebサイトに入ってきて、離脱するまでの一連の流れが行われた回数の事を指します。

ページビュー数：  
ユーザーがWebページを表示した回数 of ことを表します。同じページを読みなおした場合でもページビュー数はカウントされます。

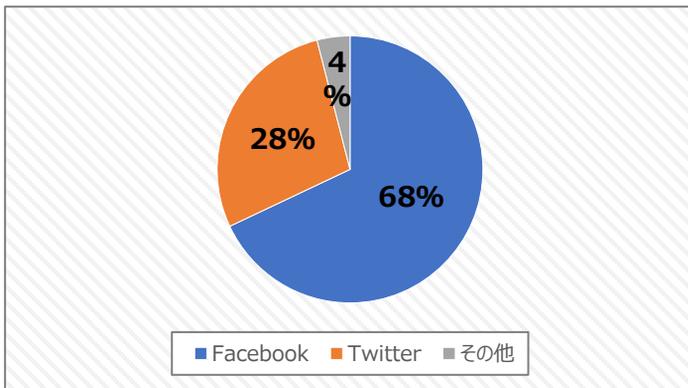
※本頁はロサンゼルス時刻でのカウントとなっています。

■ 流入経路別訪問者数



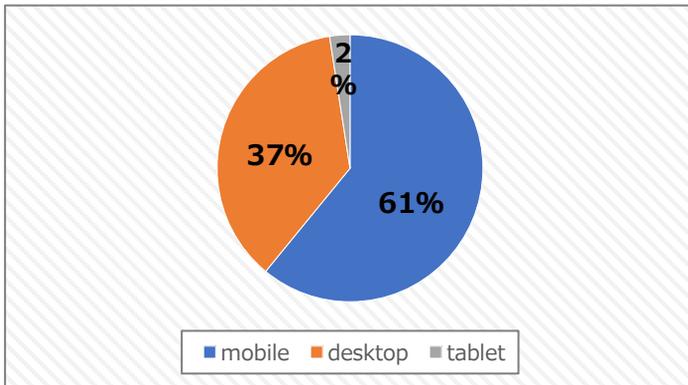
チャンネルグループ	セッション
リンク	13192
直接	11276
有料広告	10084
検索	8272
SNS	2977
その他	6
<b>合計</b>	<b>45807</b>

■ SNSからの訪問



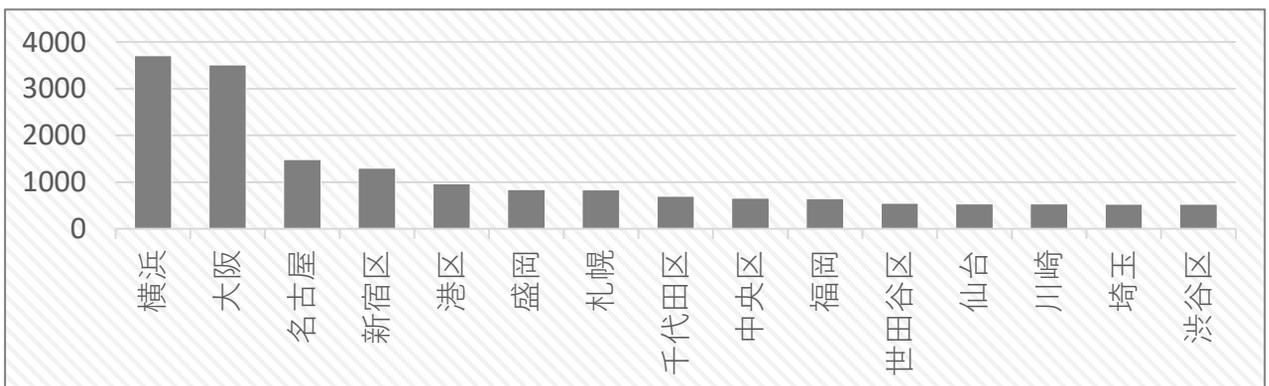
SNS	ユーザー
Facebook	68%
Twitter	28%
その他	4%

■ デバイス別アクセス数



デバイス	セッション
Mobile	61%
Desktop	37%
tablet	2%

■ 地域別アクセス数 (ベスト20)



団体別アクセス数 セッション

団体記号	パターン	主催団体名	11/6				11/7			
			リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数	リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数
S01	2	TEAM防災ジャパン	59	57	23	21	-	-	14	11
S02	2	公益財団法人 日本消防協会	-	-	61	45	175	42	26	19
S03	2	特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	-	-	122	89	30	63	11	11
S04	2	一般社団法人 日本損害保険協会	-	-	125	109	75	60	29	22
S05	1	株式会社 JINRIKI	50	-	13	12	-	-	8	8
S06	2	東北大学 災害科学国際研究所	39	12	17	16	-	-	9	8
S07	2	一般財団法人危機管理教育&演習センター	10	48	20	17	-	-	3	3
S08	2	TEAM防災ジャパンメディアチーム	-	-	75	70	35	48	21	18
S09	2	特定非営利活動法人事業継続推進機構	-	-	131	115	9	52	6	5
S10	2	災害文化研究会	-	-	129	110	20	34	10	10
S11	2	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/ 生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター (DMTC)	52	-	57	49	-	-	22	20
S12	2	一般社団法人日本ドローンコンソーシアム	27	37	52	49	-	-	12	11
S13	2	岩手県	46	199	213	176	-	-	29	28
S14	2	公益財団法人 味の素ファンデーション	-	-	205	105	16	36	21	20
S15	2	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN	-	-	168	136	15	12	9	8
S16	2	公益社団法人 日本地震学会	34	128	45	38	-	-	13	13
S17	2	NPO法人 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会	6	40	26	24	-	-	6	6
S18	2	アルシーソリューション株式会社	3	85	340	241	-	-	35	34
S19	2	独立行政法人都市再生機構	-	-	200	158	14	111	29	24
S20	2	一般社団法人男女共同参画地域みらいなっと	-	-	183	129	11	0	16	15
S21	2	特定非営利活動法人日本防災士会	40	144	23	22	-	-	6	6
S22	2	中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	15	30	40	33	-	-	17	13
S23	1	岩手大学地域防災研究センター	40	-	67	47	-	-	6	6
S24	1	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー	-	-	42	41	20	-	8	8
S25	2	災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	-	-	171	125	20	27	20	20
S26	3	広島県	-	40	79	68	-	-	43	33
S27	3	防災学術連携体・日本学術会議	-	559	67	63	-	-	22	20
S28	3	いわてNPO災害支援ネットワーク	-	55	130	103	-	-	21	20
S29	3	WAA ReSCue 準備委員会	-	-	71	60	-	63	5	5
S30	3	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	-	-	206	162	-	280	7	29
S31	3	内閣府防災 普及啓発・連携担当	-	153	80	73	-	-	42	37
S32	3	公益社団法人 日本医師会	-	-	78	68	-	-	55	47
S33	3	特定非営利活動法人東京いのちのポータルサイト	-	35	31	28	-	-	7	6
S34	3	一般社団法人日本リモートセンシング学会	-	-	95	84	-	40	19	19
S35	3	よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム	-	-	145	126	-	176	11	11
S36	3	一般社団法人DroneAI技術研究機構	-	176	40	28	-	-	12	11
S37	3	防災教育学会	-	111	52	50	-	-	23	19
S38	3	清流の国ぎふ 防災・減災センター	-	27	112	99	-	-	23	20
S39	3	内閣府男女共同参画局	-	-	127	117	-	79	21	20
S40	3	防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	-	176	153	124	-	-	13	12

上記アクセス数は出展者によるカウント  
 リアル参加者数：現地で参加した人数  
 オンライン参加者数：オンラインで参加した人数  
 ページビュー数：ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読みなおした場合でもページビュー数はカウントされます。  
 ページ別訪問数：Webページのアクセス（閲覧）した数がカウントされます。

団体別アクセス数 ワークショップ

団体 記号	パターン	主催団体名	11/6				11/7			
			リアル 参加者数	オンライン 参加者数	ページ ビュー数	ページ別 訪問数	リアル 参加者数	オンライン 参加者数	ページ ビュー数	ページ別 訪問数
W01	1	一般社団法人おいしい防災塾	7	-	10	10	-	-	7	6
W02	1	日本たばこ産業株式会社	17	-	3	3	-	-	5	4
W03	1	東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門	20	-	14	13	-	-	1	1
W04	1	公益財団法人ボイスカウト日本連盟	30	-	10	10	-	-	2	2
W05	1	認定NPO法人 防災・減災サポートセンター	8	-	3	3	-	-	2	2
W06	2	一般社団法人防災教育普及協会	-	-	98	79	6	16	3	3
W07	1	一般社団法人あてやか切り絵協会	未記入	-	6	5	-	-	-	-
W08	2	ペット防災サポート協会	4	15	46	39	-	-	10	10
W09	1	防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	-	-	26	23	4	-	5	4
W10	2	日本ジオパークネットワーク	-	-	106	88	15	36	8	8
W11	2	海ぼうずの会（「ふじのくにDIGセミナー」参加者の会）	11	34	22	22	-	-	7	7
W12	2	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAPAN	11	8	55	49	-	-	13	10
W13	1	株式会社 東京海上日動パートナーズ東北	-	-	19	16	50	-	3	3
W14	1	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー	-	-	42	35	12	-	7	7
W15	3	日本セイフティー株式会社	-	166	44	40	-	-	11	10
W16	3	一般社団法人 Do It Yourself	-	5	20	20	-	-	5	4
W17	3	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	-	62	43	41	-	-	10	10
W18	3	広島市防災士ネットワーク	-	-	56	45	-	2	5	3
W19	3	広島防災リーダーネットワーク会議	-	-	78	63	-	1	12	10
W20	3	防災教育チャレンジプラン実行委員会	-	100	45	44	-	-	12	12
W21	3	日本赤十字社	-	56	42	38	-	-	13	12
W22	3	母と子の育児支援ネットワーク	-	-	47	42	-	28	6	6
W23	3	一般社団法人危機管理教育研究所	-	52	37	29	-	-	14	11
W24	3	株式会社ピースボーク	-	33	41	37	-	30	9	9

上記アクセス数は出展者によるカウント

リアル参加者数：現地で参加した人数

オンライン参加者数：オンラインで参加した人数

ページビュー数：ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読みなおした場合でもページビュー数はカウントされます。

ページ別訪問数：Webページのアクセス（閲覧）した数がカウントされます。

団体別アクセス数 プレゼンブース

団体記号	パターン	主催団体名	11/6				11/7			
			リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数	リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数
P01	1	河村電器産業株式会社	88	-	20	19	79	-	3	3
P02	1	一般社団法人 日本建設業連合会	110	-	6	6	65	-	3	3
P03	1	一般社団法人 危機管理・労働災害防止機構	184	-	16	15	116	-	2	2
P04	1	独立行政法人都市再生機構	50	-	12	12	50	-	1	1
P05	1	一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ	80	-	13	13	30	-	2	2
P06	1	株式会社 技研製作所	45	-	9	9	25	-	1	1
P07	1	一般社団法人 日本照明工業会	80	-	7	7	60	-	1	1
P08	1	株式会社アクアキューブ	30	-	8	8	10	-	3	2
P09	1	エピスタコーポレーション / 株式会社プリント	500	-	6	6	230	-	5	4
P10	1	復興庁岩手復興局	100	-	12	11	60	-	1	1
P11	1	特定非営利活動法人全国足紋普及協会	100	-	10	10	50	-	3	3
P12	1	よんなな防災会学生部	43	-	19	18	26	-	2	1
P13	1	株式会社サンコー	80	-	16	16	50	-	3	3
P14	1	パナソニックライティングデバイス 株式会社	150	-	9	9	70	-	1	1
P15	1	大丸鐵興株式会社	150	-	9	9	150	-	6	6
P16	1	国土交通省 国土技術政策総合研究所	170	-	8	8	230	-	2	2
P17	1	名古屋学芸大学	59	-	13	13	16	-	-	-
P18	1	株式会社リブライト	2	-	17	17	2	-	-	-
P19	1	一般社団法人防災教育普及協会	148	-	24	22	56	-	-	-
P20	1	防災教育学会	70	-	14	14	-	-	-	-
P21	1	宮城県多賀城高等学校	78	-	18	18	63	-	2	2
P22	2	特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	280	-	16	15	200	-	-	-
P23	1	㈱ハタヤリミテッド	1	-	15	15	1	-	1	1
P24	1	特定非営利活動法人日本防災士会	100	-	23	22	100	-	5	5
P25	1	静岡大学学生防災ネットワーク	58	-	21	20	27	-	5	5
P26	1	有限会社鈴文	12	-	4	4	15	-	1	1
P27	1	国立歴史民俗博物館	25	-	7	7	20	-	-	-
P28	1	シンロイ株式会社	46	-	13	12	11	-	1	1
P29	1	公立大学法人岩手県立大学	80	-	13	13	50	-	4	4
P30	1	HIGASHI DE AERU 呼び水プロジェクト「あかしの井戸」	20	-	4	4	16	-	2	2
P31	1	岩手県	100	-	15	15	150	-	3	3
P32	2	三信建設工業株式会社	67	7	17	16	45	3	2	2
P33	2	よんなな防災会	10	0	20	19	15	0	3	2
P34	1	一般社団法人 日本防災プラットフォーム (JBP)	70	-	8	8	70	-	2	2
P35	1	一般財団法人 自治体国際化協会 (CLAIR:クリア)	200	-	7	7	67	-	-	-
P36	1	竹内工業株式会社	50	-	4	4	30	-	4	3
P37	1	LACITA	100	-	14	14	50	-	3	3
P38	1	一般財団法人 防災教育推進協会	134	-	17	15	52	-	2	1
P39	1	特定非営利活動法人都市環境標識協会	50	-	8	8	20	-	-	-
P40	1	こくみん共済 coop (全国労働者共済生活協同組合連合会)	8	4	6	6	45	-	1	1
P41	1	日本たばこ産業株式会社	30	-	6	6	20	-	-	-
P42	1	一般社団法人 7 2 時間サバイバル教育協会	70	-	12	11	60	-	1	1
P43	1	株式会社ゼンリン	300	-	18	14	204	-	8	7
P44	1	株式会社レジリエンスラボ/株式会社明電舎	90	-	7	7	30	-	2	2

上記アクセス数は出展者によるカウント

リアル参加者数：現地で参加した人数

オンライン参加者数：オンラインで参加した人数

ページビュー数：ユーザーがWebページを表示した回数を表します。同じページを読みなおした場合でもページビュー数はカウントされます。

ページ別訪問数：Webページのアクセス（閲覧）した数がカウントされます。

団体別アクセス数 プレゼンブース

団体記号	パターン	主催団体名	11/6				11/7			
			リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数	リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数
P45	1	帝人フロンティア株式会社	19	-	6	6	12	-	1	1
P46	1	独立行政法人 中小企業基盤整備機構	65	-	5	5	40	-	5	3
P47	1	内閣官房国土強靱化推進室	130	-	9	8	75	-	1	1
P48	1	公益社団法人 日本非常食推進機構	45	-	8	8	7	-	1	1
P49	1	地震調査研究推進本部/文部科学省研究開発局地震・防災研究課	60	-	7	7	26	-	1	1
P50	1	盛岡地方気象台	97	-	10	9	73	-	3	3
P51	2	広島市	150	-	12	12	100	-	3	3
P52	1	仙台市防災環境都市推進室	70	-	6	6	50	-	1	1
P53	1	公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館	140	-	7	7	100	-	2	2
P54	1	NPO 津波太郎	150	-	11	11	70	-	1	1
P55	1	宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課	50	-	5	5	50	-	-	-
P56	1	日本労働組合総連合会 (連合)	100	-	7	7	70	-	-	-
P57	1	福島県	190	-	6	6	100	-	-	-
P58	1	株式会社 東京海上日動パートナーズ東北	200	-	9	9	50	-	2	2
P59	1	一般財団法人 世界防災フォーラム	42	-	6	6	12	-	-	-
P60	1	国立国会図書館	250	-	6	6	200	-	-	-
P61	3	Y Y 防災	-	-	11	10	-	-	-	-
P62	1	環境省自然環境局総務課動物愛護管理室	80	-	13	9	70	-	14	11
P63	2	一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	120	2	43	39	120	5	5	4
P64	1	株式会社メルシー	30	-	11	10	20	-	1	1
P65	3	株式会社ヤマト	-	-	13	13	-	-	1	1
P66	1	国立研究開発法人情報通信研究機構	80	-	4	4	80	-	1	1
P67	1	株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)	70	-	8	8	40	-	3	2
P68	1	防災科学技術研究所	30	-	5	5	30	-	1	1
P69	1	東北大学災害科学国際研究所	60	-	9	9	50	-	7	2
P70	1	株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	50	-	10	10	40	-	1	1
P71	1	株式会社 エスエスティー協会	89	-	3	3	41	-	-	-
P72	1	南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議	67	-	13	11	34	-	1	1
P73	2	防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト	70	73	31	26	35	43	8	8
P74	2	海ぼうずの会 (「ふじのくにDIGセミナー」参加者の会)	80	-	42	36	50	-	1	1
P75	1	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会	40	-	7	5	23	-	-	-
P76	1	イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	4	-	6	6	4	-	2	2
P77	1	丸木医科器械株式会社	20	-	5	5	10	-	-	-
P78	1	一般社団法人みんぼうネットワーク	78	-	7	7	26	-	-	-
P79	1	ジオわくサイエンス	30	-	11	10	26	-	-	-
P80	3	防災ママかきつばた	-	13	22	21	-	14	3	3
P81	3	一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク	-	15	16	13	-	15	2	2
P82	3	一般社団法人全国建設業協会	-	-	1	1	-	-	2	2
P83	3	イオン株式会社	-	-	9	9	-	-	1	1
P84	3	NPO法人 岡山NPOセンター	-	-	18	16	-	-	4	4
P85	3	豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」	-	35	16	15	-	36	3	3
P86	3	公益社団法人中越防災安全推進機構	-	10	14	10	-	10	-	-
P87	3	株式会社スギタ	-	-	12	12	-	-	-	-
P88	3	有限会社 西谷	-	-	23	19	-	-	4	4

上記アクセス数は出展者によるカウント  
 リアル参加者数：現地で参加した人数  
 オンライン参加者数：オンラインで参加した人数  
 ページビュー数：ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読みなおした場合でもページビュー数はカウントされます。  
 ページ別訪問数：Webページのアクセス（閲覧）した数がカウントされます。

団体別アクセス数 プレゼンブース

団体記号	パターン	主催団体名	11/6				11/7			
			リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数	リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数
P89	3	一般社団法人 防災安全協会	-	-	24	22	-	-	4	4
P90	3	江崎グロコ株式会社	-	-	11	9	-	-	3	3
P91	3	鹿児島市	-	5	5	5	-	5	2	2
P92	3	富士ファイルシステムサービス株式会社	-	-	10	8	-	-	1	1
P93	3	ビット・パーク株式会社	-	17	16	14	-	20	2	2
P94	3	WPPグループ Japan Pet Press	-	1396	18	15	-	1396	1	1
P95	3	防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	-	47	10	9	-	50	3	3
P96	3	NPO法人 日本ラケーション・コンサルタント協会	-	6	21	16	-	6	13	8
P97	3	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	-	16	26	23	-	23	6	6
P98	3	三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	-	14	14	14	-	14	4	4
P99	3	機能ガラス普及推進協議会	-	15	6	5	-	14	5	5
P100	3	国際復興支援プラットフォーム（IRP）	-	13	13	13	-	4	4	4

団体別アクセス数 屋外展示

団体記号	パターン	主催団体名	11/6				11/7			
			リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数	リアル参加者数	オンライン参加者数	ページビュー数	ページ別訪問数
O01	1	NPO法人日本防災用品技術研究協会	70	-	13	12	80	-	6	6
O02	1	アイコム株式会社	40	-	20	17	35	-	9	8
O04	1	ホリカフーズ株式会社	30	-	17	15	70	-	4	4
O05	1	一般社団法人 浄化槽システム協会	155	-	5	5	220	-	6	3
O06	1	日東工業株式会社	120	-	7	6	120	-	4	4
O07	2	株式会社M T - N E T	20	2	6	6	35	2	2	2
O08	1	株式会社フジタ	74	-	6	5	166	-	5	5
O09	2	株式会社白獅子	30	0	8	7	48	0	2	2
O10	1	熊本県	136	-	19	15	130	-	1	1
O11	2	公益社団法人日本技術士会防災支援委員会	57	なし	18	16	25	なし	4	3
O12	1	震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）	110	-	20	19	80	-	4	4
O13	1	一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	100	-	9	9	60	-	3	3
O14	1	有限会社アシストコム	94	-	28	23	85	-	3	3
O15	1	株式会社 JINRIKI	20	-	12	12	40	-	2	2
O16	1	アールシーソリューション株式会社	66	-	23	22	29	-	5	4
O17	1	日本赤十字社	215	-	16	14	200	-	10	9
O18	1	株式会社NTTドコモ 東北支社 岩手支店	50	-	7	7	50	-	4	4
O19	1	公益社団法人 日本薬剤師会	53	-	12	11	92	-	2	2
O20	1	総務省 東北総合通信局	80	-	10	10	100	-	4	4
O21	1	岩手県	213	-	12	12	241	-	4	4
O22	1	災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	50	-	6	6	50	-	1	1
O23	1	自衛隊岩手地方協力本部	368	-	26	24	407	-	10	8
O24	1	東日本電信電話株式会社 岩手支店	77	-	11	8	85	-	4	4

上記アクセス数は出展者によるカウント  
 リアル参加者数：現地で参加した人数  
 オンライン参加者数：オンラインで参加した人数  
 ページビュー数：ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読みなおした場合でもページビュー数はカウントされます。  
 ページ別訪問数：Webページのアクセス（閲覧）した数がカウントされます。

会場沿線の生活者への告知を目的に展開しました。

掲出駅：三陸鉄道35駅

ポスターサイズ：B2



久慈駅	陸中宇部駅	陸中野田駅
十府ヶ浦海岸駅	野田玉川駅	堀内駅
普代駅	田野畑駅	岩泉小本駅
撰待駅	田老駅	佐羽根駅
一の渡駅	山口団地駅	宮古駅
三陸駅	南嶺駅	徳前赤崎駅

磯鶏駅	八木沢・宮古短大駅	津軽石駅	払川駅
			
豊間根駅	織笠駅	岩手船越駅	波板海岸駅
			
吉里吉里駅	鵜住居駅	両石駅	釜石駅
			
平田駅	唐丹駅	吉浜駅	三陸駅
			
甫嶺駅	綾里駅	陸前赤崎駅	盛駅
			

〈送付先一覧〉

No.	送付先	A1ポスター (枚)	A2ポスター (枚)	チラシ (枚)
1	岩手県小学校	297	0	0
2	岩手県中学校	149	0	0
3	岩手県高等学校	64	0	0
4	岩手県大学	10	0	0
5	釜石市役所	20	0	100
6	朝日梱包株式会社 (津波防災の日)	0	9,100	0
7	図書館	140	0	3,500
8	商店街	25	0	250
9	出展者 (希望枚数) 通常：ポスター5枚 チラシ50枚	909	0	10,313
10	予備	86	0	337
合計		1,700	9,100	14,500

\*No.1～2は教育委員会、No.3は教育事務所に配布を依頼しました。

## 〈Facebook〉

- URL : <https://www.facebook.com/bousaikokutai/>
- フォロワー数 : 1,146名 (昨年度比から328名増加)
- 投稿数 : 16
- いいね数 : 1,026

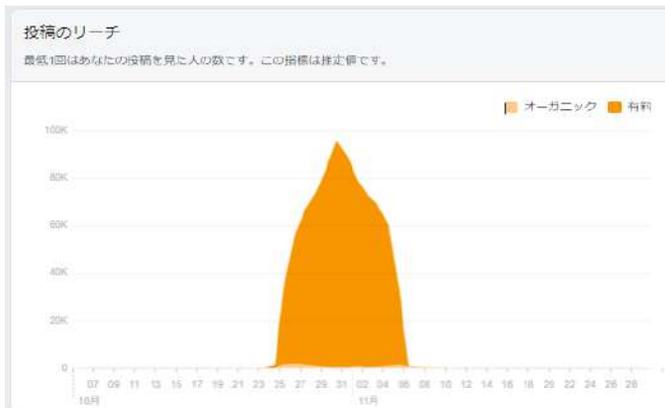


## 〈いいね数〉



ページの合計いいね数 1,026

## 〈リーチ数〉



10/5~11/30の57日間で、821,865名のリーチを獲得しました。うち、facebook広告からのリーチ数は807,470名でした。  
 広告以外は、Facebookへの個人の投稿によるもの。  
 (リーチ数：最低1回は投稿を見た人の数※推定値)

## 〈リーチ数が一番高かった投稿〉

投稿の詳細

投稿のパフォーマンス

1,284	リーチした人数
88	リアクション、コメント、シェア
63	いいね!
12	いいね!
8	コメント
8	シェア
76	総クリック
0	写真表示
44	リンクのクリック率
0	広告掲載
0	投稿を非表示
0	スレッドとして報告

〈Twitter〉

- URL : <https://twitter.com/bousaikokutai>
- フォロワー数 : 923名 (昨年度から156名増加)
- リツイート数 : 286

〈トップツイートベスト3〉

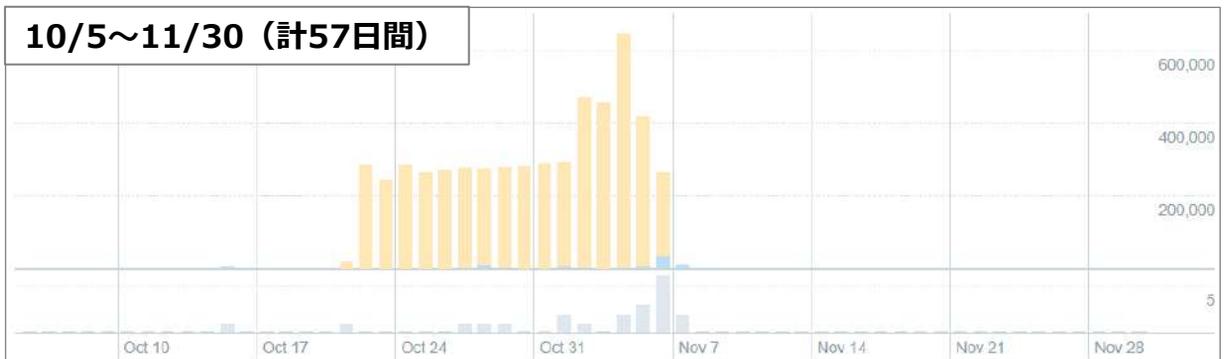


インプレッション	28,738	インプレッション	13,525	インプレッション	12,133
エンゲージメント総数	91	メディアの再生数	51	エンゲージメント総数	237
リンクのクリック数	24	エンゲージメント総数	320	リンクのクリック数	99
プロフィールのクリック数	21	詳細のクリック数	69	詳細のクリック数	39
詳細のクリック数	17	プロフィールのクリック数	60	いいね	36
いいね	15	メディアのエンゲージメント数	51	プロフィールのクリック数	36
リツイート	9	いいね	41	リツイート	17
ハッシュタグのクリック数	5	リンクのクリック数	36	ハッシュタグのクリック数	8
		リツイート	30	フォロー	2
		ハッシュタグのクリック数	10		
		アプリ表示	2		
		返信	1		

インプレッション : ユーザーがTwitterでツイートを見た回数)  
 エンゲージメント総数 : ツイートに対する「反応数」

〈インプレッション数〉 (インプレッション : ユーザーがTwitterでツイートを見た回数)

開催方式決定後から57日間でツイートによって**5,352,776件**のインプレッションを獲得しました。



インプレッション	5,352,776
エンゲージメント	1,679
いいね	866

リツイート	286
返信	3
ツイート数	18

## 〈Facebook広告〉

■ 掲出期間 2021年10月22日（金）～11月6日（土）

キャンペーン名	ぼうさいこくたい2021	キーワード
ターゲット	エリア：全国	防災、地震、災害対策、 消防、危機管理、 防災対策、災害対策、 津波、震災、復興
目的	大会ホームページへの誘導	
URL	https://bosai-kokutai.jp/	

合計	表示回数	クリック数	クリック率
		<b>1,130,268</b>	<b>7,209</b>
18歳-24歳	51,219	257	0.50%
25歳-34歳	119,179	607	0.51%
35歳-44歳	164,779	986	0.60%
45歳-54歳	293,760	2,118	0.72%
55歳-64歳	296,282	1,944	0.66%
65歳以上	205,049	1,297	0.63%



## 〈Twitter広告〉

■ 掲出期間 2021年10月22日（金）～11月6日（土）

キャンペーン名	ぼうさいこくたい2021	キーワード
ターゲット	エリア：全国	防災、地震、災害対策、 消防、危機管理、 防災対策、災害対策、 津波、震災、復興
目的	大会ホームページへの誘導	
URL	https://bosai-kokutai.jp/	

合計	表示回数	クリック数	クリック率
		<b>5,248,279</b>	<b>10,235</b>
男性	4,383,219	8,633	0.20%
女性	704,932	1,312	0.19%
不明	160,128	290	0.18%



## 〈Youtube広告〉

■ 掲出期間 2021年10月22日（金）～11月6日（土）

キャンペーン名	ぼうさいこくたい2021	キーワード
ターゲット	エリア：全国	防災、地震、災害対策、 消防、危機管理、 防災対策、災害対策、 津波、震災、復興
目的	告知動画放映	

合計	表示回数	視聴回数	視聴率
		<b>930,938</b>	<b>365,037</b>
18歳-24歳	65,969	23,458	35.56%
25歳-34歳	44,504	15,410	34.63%
35歳-44歳	57,642	20,334	35.28%
45歳-54歳	135,726	50,302	37.06%
55歳-64歳	200,920	81,323	40.48%
65歳以上	305,073	122,832	40.26%
不明	121,104	51,378	42.42%

### ■ 広告イメージ



\*表示条件：上記キーワードに興味関心があるアカウントに表示  
(キーワードを検索。キーワードに類似した投稿にいいね。キーワードに類似したアカウントをフォロー。など)

〈情報誌〉

住民に親しみのある情報誌を活用

媒体名 : 情報誌ゆうゆう (発行部数 約12万部)  
掲載日 : 2021年10/26 (火)  
タイトル: 第6回防災推進国民大会  
内容 : 事前の告知

全三段記事広告+半3段パブ

情報誌ゆうゆうのSNSアカウントからも発信

Instagram 10/26 (火) 投稿

Facebook 10/26 (火) 投稿



Instagram : リーチ数278  
Facebook : リーチ数不明

〈新聞〉

中高年に支持されているメディアからアプローチ

媒体名 : 岩手日報 (発行部数 約17万部)  
掲載日 : 2021年10/27 (水)、11/3 (水)  
タイトル: ぼうさいこくたい  
内容 : 事前の告知

10/27 (水)

11/3 (水)



〈街頭ビジョン〉

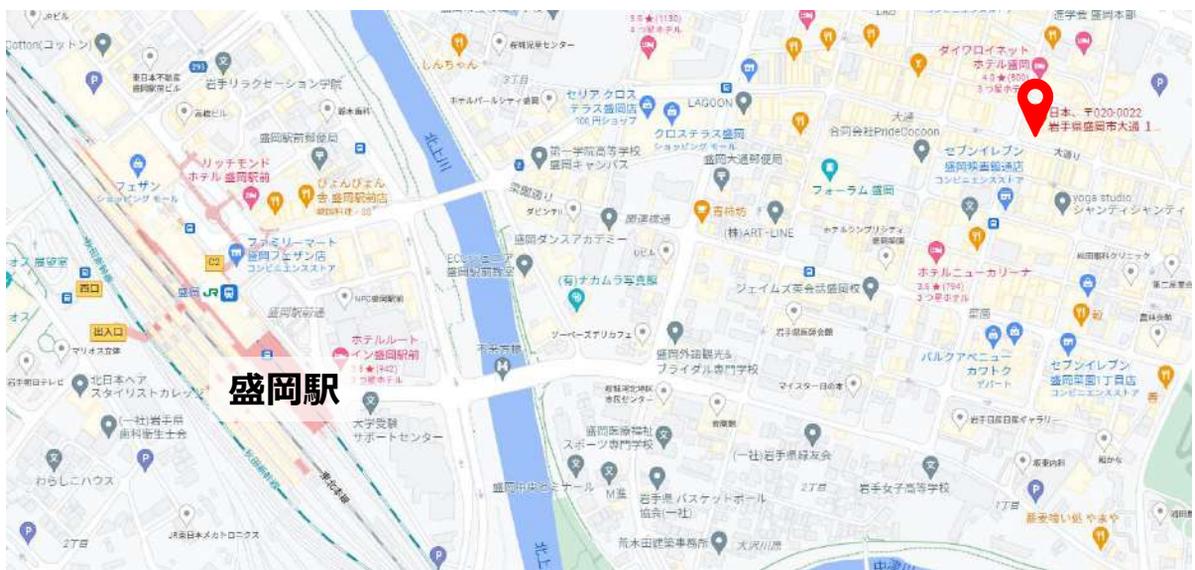
不特定多数の人々の目にとまる、盛岡市内の大通りで放映



媒体名	レインボービジョン
住所	岩手県盛岡市大通 1丁目9-10
掲載日	10/30 (土) ~ 11/6 (土)
放映時間	7:00~19:00
最寄駅(JR盛岡駅) 乗降客数	3.5万人/1日

映像尺	15秒
映像仕様	LEDパネル
映像サイズ	H3.84×W6.14 (23.5776㎡)
アスペクト比	16:9
掲出回数	114回 (18回/1日)

〈掲出場所〉



〈CM放送〉

世代や性別問わない訴求を目的として展開しました

シーン1



シーン2



シーン3



シーン4



シーン5



シーン6



シーン7



想定視聴者数は計測できません。

放送局	テレビ岩手
放送日	11/1 (月) ~ 11/7 (日)

放送尺	15秒
放送回数	20回

放送時間	11/1 (月)	11/2 (火)	11/3 (水)	11/4 (木)	11/5 (金)	11/6 (土)	11/7 (日)
	06:30	10:25	05:20	11:25	08:00	05:59	
	11:45	18:15	11:45	15:50	11:30	15:00	05:45
	13:55	24:59	19:00	24:59	19:00	23:55	07:30

〈5きげんテレビ タイアップ企画〉

テレビ岩手の看板番組「5きげんテレビ」で県民に向けて広く告知



放送局	テレビ岩手
放送日	10/4 (木)

放送時間	17:05~17:53
放送尺	8分程度

放送内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポーター（テレビ岩手アナウンサー）が釜石・いのちをつなぐ未来館を訪問</li> <li>・スタッフの川崎さんの話を伺いながら2021年3月に完成した防潮堤や鶴住居復興スタジアムなどを見つつ、津波てんでんこについて話を聞く。</li> <li>・最後に川崎さんがオープニングムービーに出演するぼうさいこくたい2021を紹介しwebへ誘因。</li> </ul>
------	--

〈テレビ〉

媒体名	放映日	タイトル	放映尺
岩手朝日テレビ (EX系列)	5日(金) 18時26分	釜石で明日から防災イベント	5分30秒
NHK(岩手)	6日(土) 18時45分	「ぼうさいこくたい」釜石で開幕	1分39秒
NHK(岩手)	8日(月) 13時11分	防災の取り組みを発表「ぼうさいこくたい」閉会 釜石	1分38秒
岩手めんこいテレビ (CX系列)	6日(土) 18時40分	防災推進国民大会 釜石で開幕 震災から10年 今後の防災を考える<岩手県>	1分13秒
岩手めんこいテレビ (CX系列)	8日(月) 19時10分	釜石で開催「ぼうさいこくたい」 防災には「全員参加」の意識を	2分10秒
テレビ岩手 (NTV系)	6日(土) 17時40分	岩手県 防災推進国民大会 「ぼうさいこくたい2021」始まる	1分
IBC岩手放送 (JNN系列)	6日(土) 17時55分	国内最大級の防災イベント 「ぼうさいこくたい」始まる/岩手・釜石市	51秒
IBC岩手放送 (JNN系列)	7日(日) 17時52分	「ぼうさいこくたい」2日目 震災の「伝承と教育」考える/岩手・釜石市	50秒
岩手朝日テレビ (EX系列)	6日(土)	「ぼうさいこくたい2021」 災害の経験を風化させず次に備える【岩手・釜石市】	48秒

〈新聞〉

媒体名	掲載日	タイトル
河北新報	3日(水) 7日(日)	防災意識向上へ 釜石で国民大会(24面) 震災伝承巡り意見交換(24面)
朝日新聞	5日(金)	防災考えるイベント 釜石で
朝日新聞	7日(日)	防災、親子で考えた 「ぼうさいこくたい」釜石で始まる
毎日新聞	6日(土)	釜石できょうから「ぼうさいこくたい」「誰一人犠牲にならない津波防災」前イベントで専門家意見交換 /岩手
毎日新聞	7日(日)	釜石「ぼうさいこくたい」開幕 教訓伝え意識向上を 国と被災3県、連携し担い手育成 /岩手
岩手日報	7日(日)	災害に強い国づくりへ 釜石で防災推進国民大会開幕
岩手日報 (本紙) 1面、4面、22面	5日(金) 7日(日)	釜石で防災国民大会(1面) 災害に強い国づくりへ 釜石で防災国民大会開幕(1面) 危険箇所点検進める(4面) 命守る 釜石の誓い(22面)
岩手日報(本紙)	8日(月)	備えの力 学ぶ 伝える(19面)
中日新聞	8日(月)	新聞の役割、意見交換 釜石で「ぼうさいこくたい」
釜石新聞News	15日(月)	東日本大震災の教訓を国の防災力向上に 被災地釜石で「ぼうさいこくたい」
読売新聞	12日(金)	[震災10年 沿岸点描]地理感覚育む、 ジオラマで避難訓練…地域の災害リスクに理解深める
読売新聞 (防災ニッポン+)	17日(水)	災害時の自治体トイレトレーラー互助! 富士市から始まり全国17市町に

アンケート

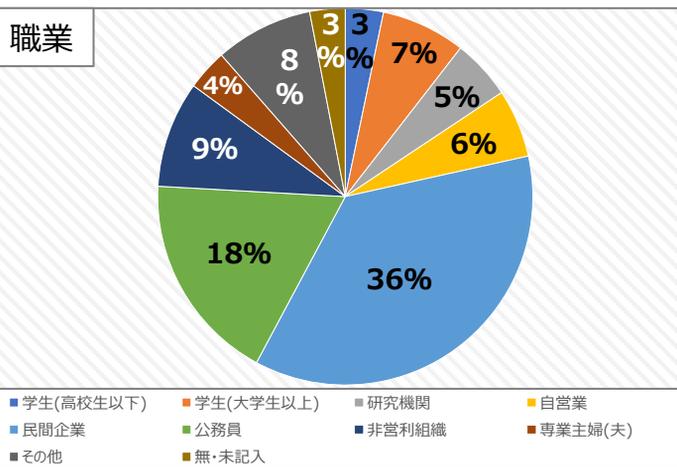
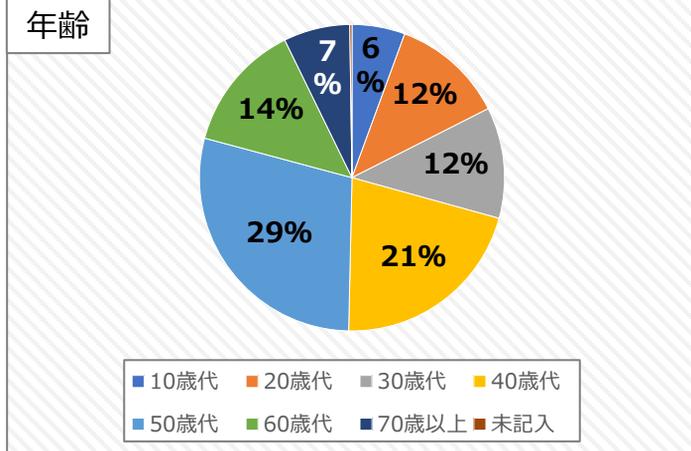
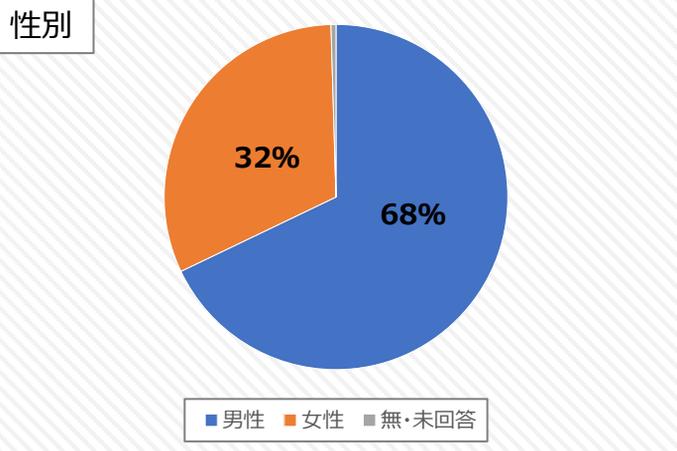
---

〈来場者アンケート集計結果〉

回収数427件(用紙回答96件、オンライン回答331件)

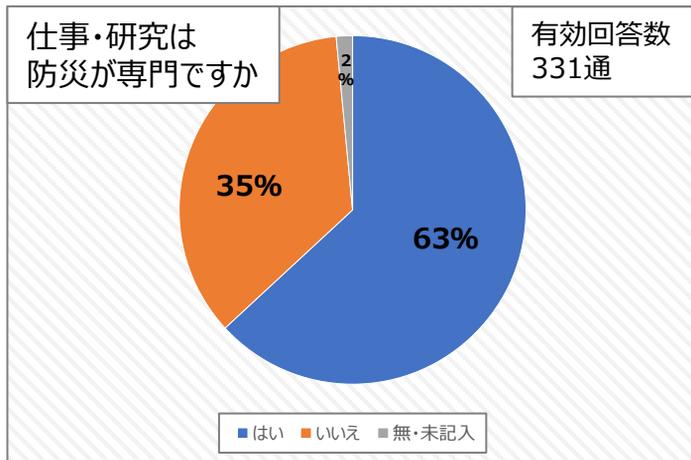
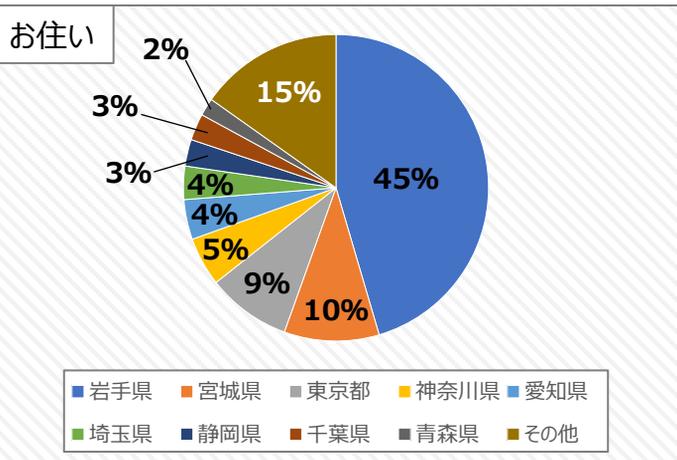
現地調査日	2021年11月6日(土)~11月7日(日)
オンライン調査日	2021年11月6日(土)~11月11日(木)

属性



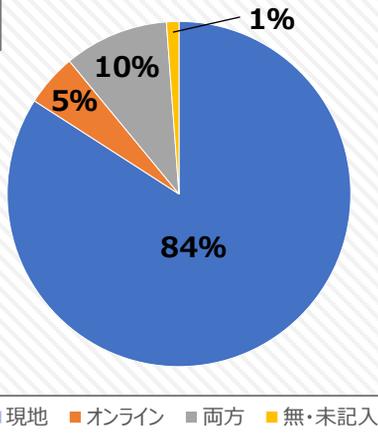
職業-その他の回答

UR	会社員：5回答	社会福祉法人勤務
一般社団法人	看護師	消防団員
団体職員	企業から非営利組織への出向者	団体職員
地域防災支援協会	建築評論家	中学校教員
独法：2回答	現在失業者 元内閣府モニター	定年退職
年金生活	高校生	無職：8回答
パート：2回答	市議会議員	
フリーター	自治体議員	

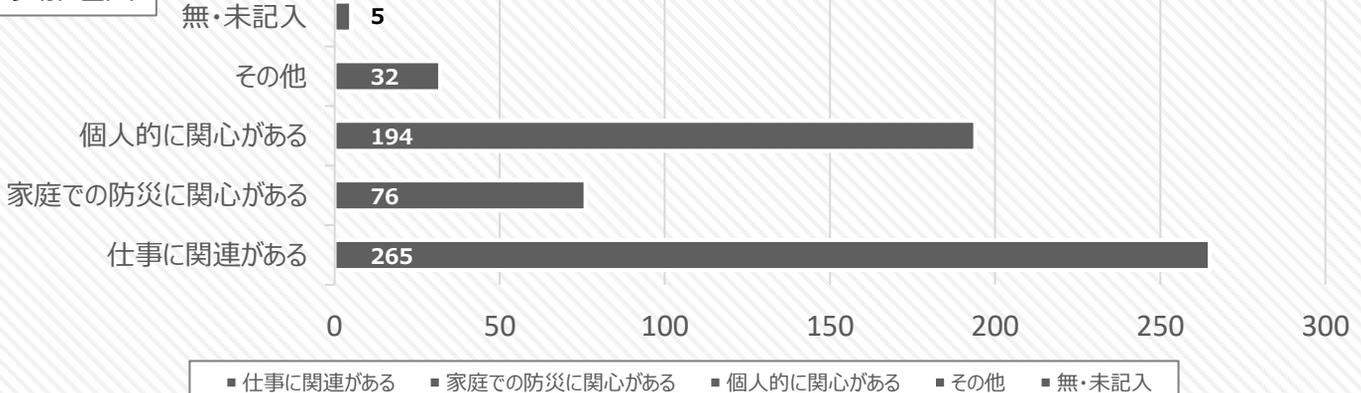


## 属性

参加方法



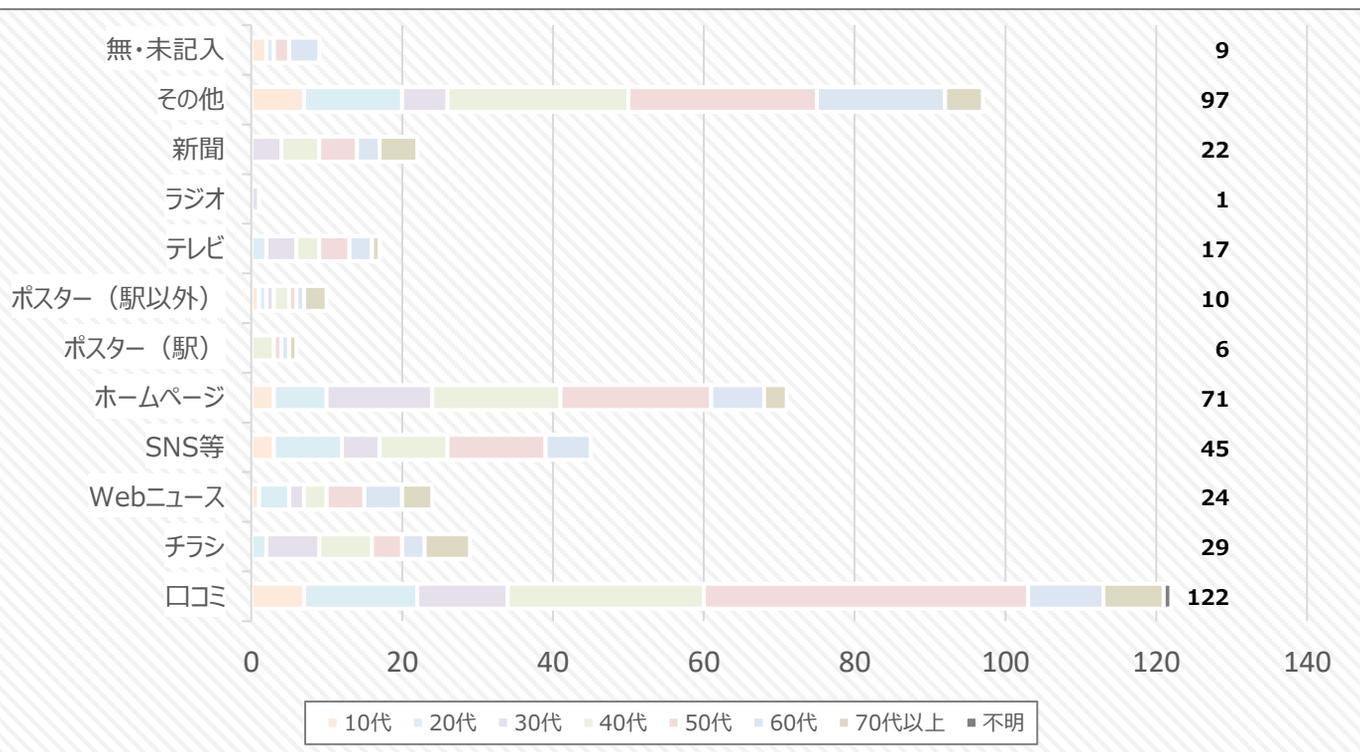
参加理由



参加理由-その他の回答

学校防災に関心がある	登壇者
最近災害が多いので関心を持つ	出展者：2回答
自治体での防災減災に反映させたい。	知り合いが参加する
仕事に関連がある、家族がスタッフとして参加したため。地元が岩手であるため。	知り合いが多く登壇していた
赤十字活動に関わり、防災にも関心があった。	出展者の方にご招待いただいた
復興支援	生徒引率
たまたま開催していた	消防団：3回答
地域自主防災活動	防災士
通りすがり	語り部活動をしている
学校サークル	災害ボランティア
学校で案内が来たため：2回答	自主防災組織
出演：5回答	

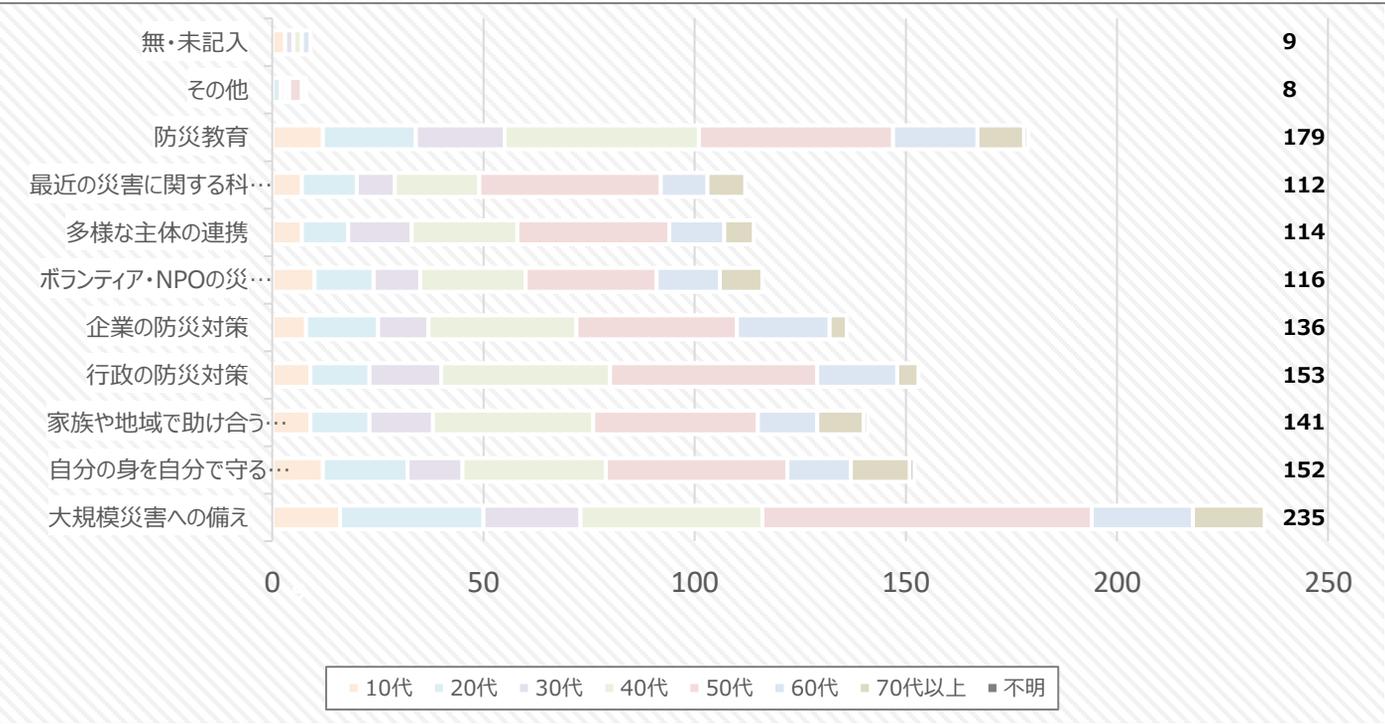
## 問1：大会を何でお知りになりましたか



## 問1-その他の回答

仕事・職場関係から：20回答	現地で知った	内閣府から：7回答	日本損害保険協会から
釜石市から	自治体の広報から：4回答	出展者から：11回答	唐丹小白浜まちづくりセンターから
高校から	雑誌で知った	活動している団体：2回答	防災士会から：4回答
大学から	以前参加していた：2回答	政府関連から：2回答	消防団から：2回答
岩手大学から	知り合い・友人から：9回答	防災関係者から：2回答	施設管理者
先生から：7回答	家族から	消防協会から	
県協会案内	主催者からの案内：2回答	日本赤十字から：3回答	

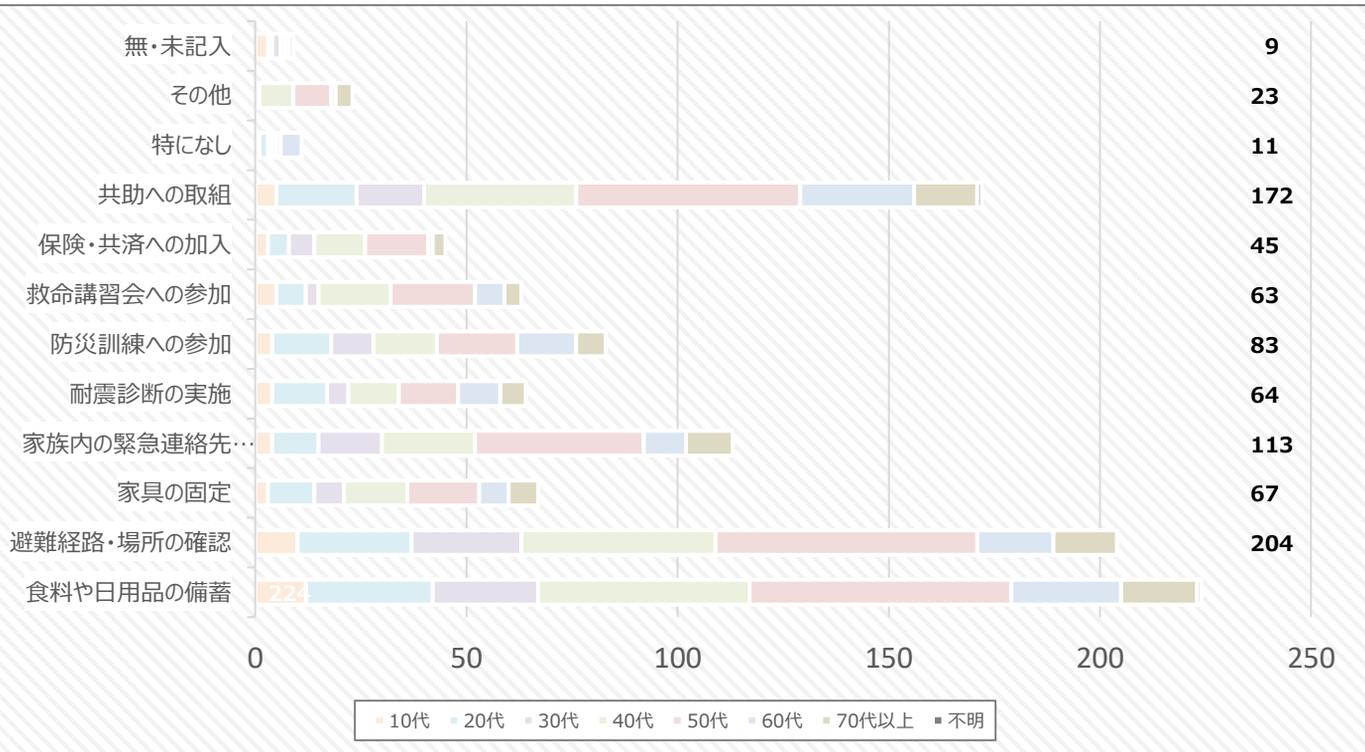
問2：大会を通して学びたかったことは何ですか



問2-その他の回答

ペットと災害について、ペットや高齢者・障害者など弱者の避難対策について、情報と災害、災害報道について	赤十字社の防災活動
自身の組織ではどういった動きが必要か。	伝える防災
みなさんの活動の広報方法	防災とまちづくりのヒントになるものがないかと。
最近の防災の潮流、その中で食と栄養の存在感の多少	防災国体そのものを知るため。

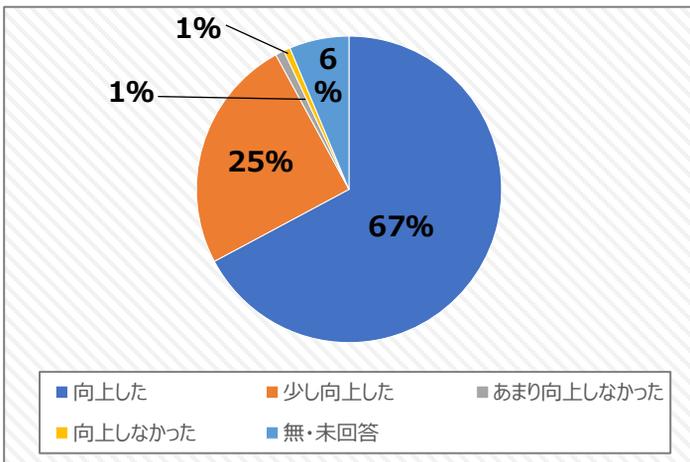
問3：大会を踏まえて今後実践したい事を教えてください



問3-その他の回答

安心安全なまちづくり	更なるトイレ備蓄の普及啓発
ドローンの利用	災害ごとの特徴とその伝承
さらなるドローン研究の推進	自治体へ 備えておくべき備品準備の提案
伝承活動、弱い揺れでも長く揺れたら大津波が襲来するので、高台で津波を観測しよう	多組織連携、平時からの仕組み作り
取り組まれる活動につなげたい。	地域の防災士協会を立ち上げたい
ハザードにからない住まい探し、重要施設の立地検討などのまちづくり	防災リテラシーの維持（災害の正しい理解）
避難グッズ等の備え	防災関連設備の研究
一般的に認識されていない災害事例の発掘	防災教育の進化
衛生対策、感染対策	防災国大への関わり方
学んだことを教育現場で授業に生かしていきたい。	防災士免許取得
関連技術の研究	有事に備えた生体情報の自治体登録管理

問4：大会に参加されて防災意識は向上しましたか



## 問5：ためになったセッション（団体名：理由）

団体名	理由
JINRIKI：3回答	リヤカー感心しました。避難のための素晴らしい道具を開発されている。車いす利用者の避難の困難さ、諦めに対するの解決策を知ることができた。
JT：2回答	立体での地図表示。シオラマを使った防災マップ。
NPO法人 足紋：2回答	生体情報収集の必要性。被災者(行方不明者)の判定に寄与するから。
TEAM防災ジャパン:4回答	各地区の独自の取組。地元の多様なつながり。
UR都市機構：4回答	今後の災害対応について。震災からの教訓など勉強になった。町の復興の実体験に基づく教訓が多面的に議論されていた。
海ぼうずの会：4回答	現状を学ぶことができた。新たな着眼点を与えてくれた。
気象庁：2回答	キキクルについてわかった。キキクルがわかりやすい。
国土技術政策総合研究所	身を守る方法を子供と共にカードで理解できると思ったから
東大DMTC：3回答	災害時の避難等々。避難所運営。
日本赤十字社：2回答	活動と備えがわかった。オンラインでわかりやすく学べた。
防災士会：4回答	人のために行動すること。自助、共助の意味がわかった。
アールシーソリューション(株)	中高生視点の防災教育への提案方、取り組み方を知ることができた。
災害派遣トトレネットワーク「みんな元気になるトトレ」：2回答	災害関連死の原因とされる、トトレ問題について効果的な対策を知ることができた。
一般社団法人防災教育普及協会	命を守ることが最優先とだということ。
事業継続推進機構：2回答	企業の事業継続について学んだ。企業の対策の必要性をあらためて感じた。
明石スクールユニフォームカンパニー：3回答	教育の現場で子供達楽しんで防災が学べる方法を知れた。
福祉協会	福祉施設も避難所になることを知った。
JVOAD：2回答	内閣府、全社協、NPO、それぞれが担うコーディネーションの役割分担のイメージがなんとなくつかめたから。
NICT：2回答	連携できそう。
NTT：2回答	災害時の通信について。
内閣府：2回答	自己の業務に直結し、かつ、推進しようと考えていたため、取り組みが必要と理解できた。
いのちを守るatプロジェクトJAPAN：2回答	新しい角度だった。たのしみながら真剣に学べた。防災の大切さを学んだ。
おいしい防災塾：2回答	子供が防災に関心を持つきっかけをいきていた。お菓子でも子供達を笑顔にしてくれる。
クロージングセッション：3回答	次世代の高校生が主体性を持って取り組んでいる活動を知ることができたので。夢団の高校生の発表が素晴らしいかった。
ゼンリン：3回答	自主防災。防災地図の現状把握に役立った。知らなかったサービスを知れた。
ハイレベルセッション：10回答	とても濃い内容のお話を聞くことができた。
よんなな防災会	女性の活躍について。
一般社団法人 日本損害保険協会：2回答	防災教育を実践者、研究者、様々な視点から見直すことができた。
一般社団法人日本ドローンコンソーシアム：2回答	最新の知見を知ることができたため。最新技術が学べて良かった。
河村株式会社	プレーカーを落とすことが大切だということを変更して実感しました。
株式会社アクアキューブ	ドクターヘリの夜間運用の必要性。
株式会社リライト	子どもに分かりやすいから。
若手大学地域防災研究センター：4回答	国内外の防災教育について最新の情報を得られた。地域防災力の向上。仕事に直結する内容だったので。
技研製作所	インプラント構造。
災害派遣トトレネットワーク「みんな元気になるトトレ」：3回答	3人の市長、町長の説明がわかりやすかったため。助け合いの新たな形。チーム力を痛感。
災害文化研究会：4回答	なかなか話を聞かない「災害文化」について詳しく知ることができたから。漁火の会の方たちの畧句を初めて聞いたが、心が震える感覚がしたため、そのような伝承も良いと感じたから。姉吉の碑文の解釈などから地域に特色ある伝承文化の存在を知れた。釜石風土の相撲甚句など。
自伐型林業推進協議会	昨今の土砂災害の原因の一つが林地開発手法によること理解了。
味の素ファンデーション：4回答	いわずに生協と味の素が連携して、被災地に調理教室を展開、心と身体の健康、つながりを取り戻す活動がすばらしい。人のつながりを大事さを痛感した。身近にいる方々の支援 誰でも参加できる料理教室。いざという時の食や栄養の大切さについて改めて考えることができました。赤いエプロンプロジェクトの活動では、生協さんとの段階を踏んだ関わり方の中で、ニーズに合わせた対応をされていたことが印象的でした。おそらく、生協さんとの関わりはプロジェクトの活動の一例なのだと思うのですが、そういった相手のことを考えながらの支援の大切さを実感しました。食や栄養は大切なことだと分かってはいても、非常時から日常に近づけていくことはとても大変なことだと思います。けれど、みんなで食事の場を共にすることがはじめのきっかけ、定期的なきっかけとなって、少しずつ日常に近づいていくのだと思います。その点において、赤いエプロンプロジェクトの活動は大変貴重であったのだと改めて感じました。私は教育現場で中学生に家庭科という教科を通して防災・減災を伝えていくことに関わっています。2011年の記憶がある中学生は少なく、伝え聞いたコトになっています。そんな生徒たちが自分ごととしていくにはどのようなアプローチが必要だろうかと悩ましく思うこの頃ですが、食や栄養という身近なところから自分ごとにつなげていくことは貴重であると改めて感じました。そして、その際、自分たちだけではなくさまざまな背景や視点を持つ方を関わっていくことで、自分ごとの内容が深まっていくように感じています。日頃の学びからさまざまな人と関わっていき、学びを深めていくことに価値を見い出せることが、非常時においても生かされるのではないかとということを再確認することができました。家庭科という教科は家族・家庭生活を見つめ、生活をよりよく工夫・創造していくことを学ぶ教科です。家族・家庭生活が背景にある家庭科で防災・減災について扱っていく中で大切にしていることは、よりよい日常について見つめた上での授業づくりです。バランスを考えながら試行錯誤しているところですが、中学生が家族や地域の一員としてできることを自分ごととしていて欲しいと考えています。そして、社会の一員になった際には、家族や地域の一員としての視点を持った上でその時自分にできることや生活をよりよく工夫・想像していくことを考えていて欲しいと願っています。
清流の国ぎふ防災	人づくりのやり方がわかりやすかった。
男女共同参画地域みらいネット：3回答	防災とジェンダーの関連。ジェンダー視点の取り組み。ジェンダーという切り口で防災を中学生に気づいてもらうことで地域の話し合うという場が生まれる。
東京海上日動パートナーズ東北：12回答	防災模試や防災勇者Wings。多くの分野の先生が登場され、非常によい発表だと思いました。災害研究の実践が伝わった。大変参考になる取組のため。
東北大学：6回答	情報がもたらえた。現在の最新の防災に関する取り組みを知ることができたため。防災模試の話など、啓発の大切を実感した。事前対応と自己防衛。災害に対する理解が深まった。
日東工業	防災商品を知る事が出来た。
日本セイフティー株式会社	トトレの話。
日本消防協会：2回答	現実的な課題について事例などが聞くことができた。災害廃棄物の処理。
日本損害保険協会	東日本大震災のこれからの伝承と防災教育の未来。
日本地震学会：4回答	地震学会の基本編から説明する立場での質問事項を回答したのが役立った。防災知識の向上。最新の研究成果の情報提供をしてくれたと思う。関心高い地震の疑問に専門的な解説が聞けたこと。
防災科学研究所：4回答	詳しく話を聞かせてもらった。専門家の意見。
防災教育学会：2回答	教訓伝承の重要性啓蒙。今後にも必要と思われるため。
どの内容も素晴らしい、防災への熱意を感じます	

## 問6：ためになったワークショップ（団体名：理由）

団体名	理由
JT：2回答	防災ジオラマワークショップ。
いのちを守る防災CAMP	納得のいく解説や内容。実際に体験することが出来た。
地震学会	新しい知見。
ゼンリン：2回答	防災マップ。
ダイマル：2回答	水かめくんを知れた。
ペット防災サポート協会：2回答	ペットが避難する際はどうすべきかについて、とても重要だが今まであまり整理されてきていない分野だった。ペットのために家に戻って津波に流された人もいし、ペットと避難するときのトラブルもあると思うが、お互いが共生できるように、もっと行政や個人がどうすべきかを考え、発信する必要があると感じた。自身のペットの対策を検討。
海ぼうずの会	住むところ選び、防災まちづくりの考え方を学べた。
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー 技研製作所	学校内で被災した場合の備えや対応を学べた。 防潮堤。
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	ワークショップを楽しく出来た。
国土技術政策総合研究所	斬新だった。
東京海上日動パートナーズ東北：8回答	防災に備えるために、改めて見直す事が出来た。災害に対する理解が深まった。今いる場所に災害が起きた場合を映像として見ることで、災害の怖さを実感出来た。水深を視覚化でき、より実感することが出来たため。疑似体験。保険の事前対策が必要な点。疑似体験。
東北大学災害科学国際研究所：2回答	備えのための道標になった。津波の研究。
日本ジオパーク	各地のジオパークにおける防災の取組事例。
日本トイレ研究会	災害・仮設トイレ研究会。
防災女子の会	女性ならではの視点だったため。
名古屋大学	復興支援。
連合	連合のボランティアの活動実績を知ることができた。水タンクも電源も災害時には必要。それを日常でも使用できるのはいいと思う。

## 問7：ためになったプレザンブース（団体名：理由）

団体名	理由
広島県	効果的な防災教育。
ATR：4回答	通信の工夫がよく分かった。新たな通信機器について、防災のためのシステムが、日常のサービスにも利用できる可能性があること。災害時や国立ちそな研究開発が紹介されていた。
HIGASHI DE AERU 呼び水プロジェクト「あかしの井戸」	震災後の10年間、地域内課題発見と解決を実践し続けていることが分かる前向きな内容だった。
Panasonic アクアキューブ	商品力。 夜間着陸灯。
イオン	わかりやすかった。
海ぼうずの会：2回答	まちづくりの実践が理解できた。仕事に直結する内容だった。
エビタスコーポレーション/株式会社プリート：5回答	自立型携帯トイレ。簡単に薄い紙で自立させられ便器のない場所でも使用可能。清潔を保つためにすごく良いと思った。ちょっとすごい商品だと思う。
ゼンリン：8回答	商品説明。すぐに、利用できそう。地図を使った防災について学べたから。わかりやすかった。DIGに用いるツールについてや使い方を例示する資料が非常に興味を持たされた。
津波太郎：5回答	資料と説明が豊富。頑張っている。大切なデータ。
帝人フロンティア：3回答	自助共助の強化。コンセプトが明確だった。
福島県	現状をお聴きできた。
一般財団法人防災教育推進協	防災士になるための手順が良く分かった。
河村電器産業	地震対策をできるプレーカー等の知識を得られた。
海坊主の会	釜石の地で逃げるのが防災じゃないという前提。
株式会社サンコー：3回答	防災時のトイレ課題。防災トイレについて参考になった。災害時のトイレは最も大事だから。
環境省：3回答	ペット動物の災害対策。ペット同行避難、福祉避難所などの課題について学ぶことができた。
岩手県：2回答	取り組み方、姿勢。復興の歩みが学べた。
気象庁	分かりやすく説明を受けた。
宮城県多賀城高等学校：3回答	震災後の復興後の活動状況。防災教育の重要性に気付かされたから。生徒が主体的に巡検を行い、しっかりと今後に行かせる点。
公立大学法人岩手県立大学：3回答	地域の避難訓練、防災計画づくりへのお手伝い。居住地での防災計画や避難計画の準備に役立つそうだったから。地区防災計画。
国土交通省：4回答	取組をしることができた。町づくり、国づくりで知らない事が多かったので知れて良かった。税金の大切さ。
災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」：2回答	車いすの方でも利用できるサイズのトイレ。
三信建設工業株式会社：2回答	液状化の体験が分かりやすかった。液状化の原理を分かりやすく説明してくれました。
盛岡地方気象台	注意報警報の伝達に注力されていたため。
静岡大学：5回答	大学生の素晴らしい取り組みを知ることができた。学生の防災教育について学べた。対応が良かった。熱心に説明してくれて学生のうちから防災活動して欲しい。
全国足紋普及協会：3回答	足紋採取できることがわかった。
東京海上日動パートナーズ東北：9回答	分かりやすい展示でした。災害対策。改めて防災についてかかえらるきっかけとなった。実際に使えるツールの配布を行なったため。具体的な地震対策グッズ、備えが参考になった。AR体験。
東北大学災害科学国際研究所：2回答	興味がかかるポスターばかりでした。
日建連	業界としての取組が分かった。
日本たばこ産業	楽しみながら防災を、学べた。
福祉防災コミュニティ協会：3回答	福祉避難所についてお話を聞くことができた。
福島の伝承館	ご担当者の説明がとてもよかったです。
防災科学研究所：3回答	新しい知識を多く得られた。情報交換できた。振動センサーの技術。
防災教育学会：2回答	実践。防災教育について学べた。
防災教育普及協会	教訓伝承のモデルとなった
防災自助普及委員会：10回答	身を守るためには、、、考えさせられました。幼稚園児から防災教育をしている自治体がある。歌がためになる。子供の為に有効だから。子供教育の活動に役に立つ。取り組みが他とない。

## 問8：ためになった屋外展示（団体名：理由）

団体名	理由
JINRIKI：3回答	実際に見てよかった。素晴らしい避難のための道具を開発されていること。車椅子を過酷な条件で簡単に引けること。
岩手県：3回答	地震体験。起振車の揺れが視覚的にも伝わってきたため。
起震車：5回答	はじめて体験し、気持ちの備えもできた。関東大震災を体験できたから。
熊本県：3回答	復活を上げていた。他県の防災の取り組みについて楽しく学べた。我が国の自然災害対策のありかたを網羅している。
災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」：8回答	北杜市の実車と説明がわかりやすかったため。働く人の非常食は重要。トイレの問題には関心があったが、まさかこれほど多様だとは思わなかった。
自衛隊：10回答	臨場感がある。装備がすごい。車両とともに、パンフレットで自衛隊の今を見ることができた。災害時お世話になった。救急車に懐かしさを覚えた。
情報通信研究機構	なーぶなっと。
通信技術研究所	サーバーを介さず通信できる機器が有用だと感じた。
東北総通局	災害時利用可能な具体的な通信システムが展示されていた。
日本赤十字社：4回答	展示などの参考になった。防災知識。心臓マッサージ講習。
白獅子	臨場感のあるVRで啓蒙に役立つと思った。
薬剤師協会：3回答	特設の車。移動薬局。
有限会社アシストコム：2回答	最新技術を活用した防災学習方法を知れたため。VR、ICTの活用。

## 問9：今後の大会に期待するもの、改善してほしいもの、その他ご意見

## 御意見

## 【全体】

①実施に関する広報（PR）の充実させて盛り上げて欲しい。②自治体担当職員の現地参加に関する費用支援を実施するなど、自治体担当職員を半ば強制的に参加させる仕組みを考えて欲しい。③将来を見据えた事業などが、今一步、企画不足の感じがありました。もう少し工夫が必要と思います。 ※企画運営を出来る範囲で手伝わせて欲しい

オープニングセッションでドアップアウトしました。オープニングの一般も対象にしているセッションでソフト「Jハード」など専門用語ともいえるなんとなく伝えているつもりでピンと来づらい言葉を使わないでほしかったです。ソフトとは例えば何か、ハードとは例えば何か、プロフェッショナルの皆様だからこそ、かみ砕いて具体的に場面や自分が行動するイメージができるような話をしてほしいです。

コロナが終わったらたくさんの方に参加していただきたい。会場の分散は見たい聞きたい物が間に合わない。

リアルでできたのがよかった。

怪我の功名的コロナ禍の産物ではあるが、オンラインを駆使した情報共有ネットワークができればいい。

期待以上に良かった。

国民の命を守る素晴らしい大会、もう少し広報を充実して浸透させて欲しい、釜石市開催にもかかわらず周辺の首長の参加が見られなかった。あれだけの犠牲者を出しながら本当に住民のことが考えられているのか。どの首長が参加したか調べて公表すべき。

大会の開催回数多くあったらいいですね。

## 【設備関係】

WiFi環境の充実。：4回答

駐車場の手配。

喫煙スペースを広く用意してもらいたい。

現地参加には順路案内があればよかった。：4回答

出展者もセッション等を視聴できるように屋外会場にもモニター等を用意してほしい。

## 【会場関係】

もう少し広いスペースが欲しい。：12回答

会場を1カ所にまとめてほしい。

各ブースの順番がわかりにくかった。

ブースを近くにしてほしい。

メイン会場以外がわかりにくかった。

情報交流センター2Fで展示をしたがお客様が少なく残念でした。

屋外等の気軽に立ち寄りやすい会場が良いとおもいました。

会場が分かりにくい。3回答

会場によって子供が入って良いかどうかがわかると嬉しい。

会場の構成が少しわかりにくかった。

主会場が狭いが参加企業が多くわかりづらかった。

## 【企画関係】

一般の人がもっと参加しやすい企画があると良いと感じた

イオンタウンの開催場所が分からなかった。大会自体をもっと大々的に告知してほしい。

スマホやPCでの受け付けが少し難しかった。：6回答

ミッフィーカユの上の階にもプレゼンブースがありましたが、メイン会場と離れていたためあまり参加者が入っておらず、また入りにくい雰囲気を感じました。屋外展示も同じですが、もっと動線をよくする、もしくは全てを見て回れる工夫がほしかったです。

ワークショップを増やして欲しい。

企業の発表や展示ブースは大切だが、そちら寄りになっていた気がした。

具体的な実践例がいくつか欲しい。

研究機関の展示も増やしてほしいと思います。

現地参加者間でも情報交換や名刺交換できる機会を検討して欲しい。

早めに開催方法を告知して欲しい。

子供が防災に加えられる勉強。：3回答

防災劇場みたかった。

非常食の普及。：2回答

同時間のものが多すぎる。：2回答

## 【次回開催関係】

沖縄でも開催してほしい：2回答

とても盛大で今後も維持してほしい：3回答

もっと企業の参加を求めて良いと思います。：2回答

もっと市民団体が参加して欲しい。

来年の兵庫を応援します。続けてほしい。：4回答

首都直下型地震へ備える意識を向上させる必要があり、東京での開催が急務であると考えます。（関東の方々の意識向上のため。）

宿泊先が確保できず現地での参加に制約があった。開催場所の選定には主催側に加え、来場者数も考慮ください。

## 【オンライン開催】

オンラインが、運営がどうしてもうまくいかない場面があった。うまくいかないときの対策なども、あらかじめ準備しておくとスムーズだと感じた。

オンライン等の見返しがあと助かります

オンラインとのハイブリッド開催を継続して欲しい：2回答

オンライン参加も登録の要不要など分かりにくいです。オンラインだと見るだけに終わりそう。リモートでも仲間や地域での参加聴講、WS参加を呼び掛けるとよいのでは。

## 【広報】

広告が足りない：10回答

もう少し前から情報発信して欲しかったです。：2回答

もっと事前告知、周知の徹底をして、集客を増やしてほしい。ホームページの準備が遅い。

外部への告知が薄いように思う。どこで何をやっているかが分かりにくかった。飲食する所が少なかった。

## 【その他】

コロナ下で難しいと思いますが、1枚のチラシでも良いので紙のプログラムがあるとありがたい。スマホが持っていないので、大変見辛い。

コロナ禍で運営に苦労があったことは理解しております。HPからの参加申し込みが機能しなかった。現地にプログラムが用意されていなかった。

コロナ対策がもう少し必要

サイトの更新がなかなかされず、どんなセッションがあるのか、登壇者は誰なのかを確認する事が出来なかった。結果申し込みがギリギリになりオンラインの受付に間に合わないセッションがあった。災害が多い日本にとって防災は必須であると思うので広報に力を入れて一般の方に多く参加していただけるように工夫していただきたい。

参加できなかったセッションのアーカイブ化：2回答

障害者の避難行動について：2回答

プログラムではONLINEの時間が間違っていた。ONLINEは何時でも視聴できると記載があるが、指定の時間しか見れなかった。

プログラムの紙がほしい：5回答

防災意識の拡大

ホームページをクリックしても見れない事があった。子供向け、一般向けで楽しく学べる資料があると、ほうさいくたいが終了した後も振り返りができるので次回はそういう資料をお願いします。

過去の震災を教訓とすることは大事ですが、いざ、自分が被災した時とだけ応用できるかわからない。いかにみじかな物を活用できるか、その例の話があればよかった。

会場でもHPにアップデートバーレスなのは、出展団体にとって大きな機会損失だった。ホームページもギリギリまでボタンが押せなかったりしていたので、エゴ観点というより単に印刷が間に合わなかったように見えた。全てのブースがTETTO内にギチギチに詰まっているのも、コロナ対策の観点から本末転倒。ここを通り抜けるのは憚られる…と感じるくらいにブースを見ることが出来なかった。屋根付き全天候型の屋外をもっと活用してもよかったのではないかと、釜石を訪れるのは初めてだったので、震災当時の様子など展示があればよかった。翌日に鶴住居の未来館の展示で色々知ることができたが、釜石には戻らず帰京したので、改めて釜石の街を見てみたいと感じた。震災のことがわかる歩き地図の配布や、写真展示、証言など展示があれば理解が進んだと感じる。（例えば、朝8時などに、来場者向けに町歩き案内ガイドがあると良いと思う）。せっかく釜石に行ったのに、釜石のことを知る機会がほとんどなかったのが残念です。

事務局が、親切です。備品の貸し出しも、容易でした。

色々なセッションやワークショップを現地参加で聞きたかった。

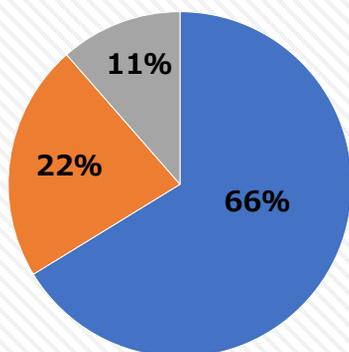
突貫運営で事前に（2カ月位）公示できる流れで運営してほしい。

来場者がアプローししやすいようにしてほしい。

来場者数が更に増えることを期待します。大人から子供まで幅広く参加するイベントになっていく事を期待します。

連絡事項が遅いので早めにプログラム内容などをかためてほしい。

## 問10：企画運営に携われる機会があれば参加したいですか

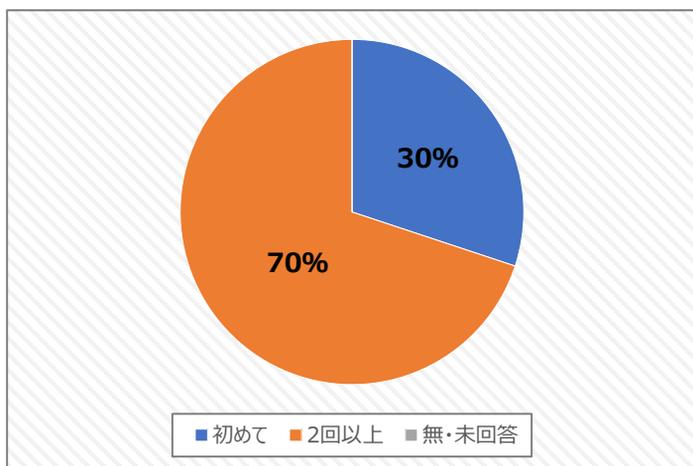


■ はい ■ いいえ ■ 無・未回答

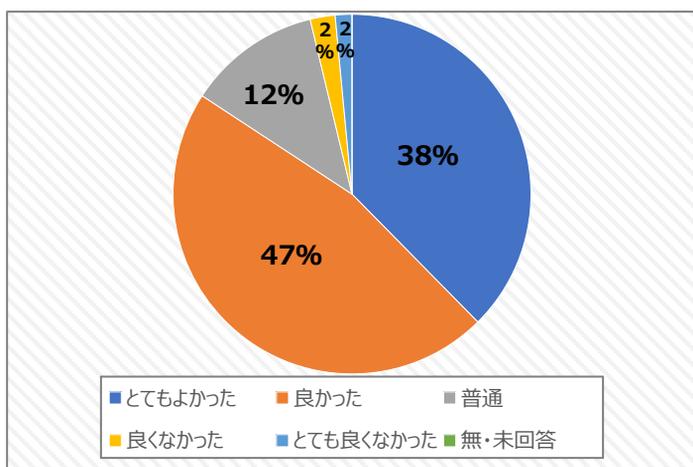
## 〈出展者アンケート集計結果〉

回収数	133件
未回収数	54件
有効回答率	71.1%

## 問1.防災推進国民大会への出展は何回目ですか。



## 問2.本大会に参加した感想に最も近いものを、次から1つ選んでください。



## 問3.出展して良かった点を教えてください。

公益財団法人 味の素ファンデーション	(1) この機会を活かして、新しいメンバーでコンテンツを作ることが出来、その関係者との関係性が深まったこと。 (2) 触発された視聴者との新しい連携案件も進み始めていること。 (3) 釜石にてリアル開催をして頂いたことにより、 1) 以前ぼうさいをみてお目にかかった方と 再会できたこと。 2) 話しかけた方と 話せたこと →感染防止対策をしながらの運営は本当に大変だったと思います。有難うございました。
国際復興支援プラットフォーム (IRP)	「Build Back Better (より良い復興)」に関する経験と教訓を発信できた。
日本赤十字社	コミュニケーション 視聴者の防災に関する意見を確認できた。公助の影響力 自助、共助を高める取り組み内容を実施したが、質問の多くは公助（行政が管理する備蓄物資の分配、ペット同伴による避難所の場所）についてだった。平時からのPRを更に注力することで、国民に気づいてもらうきっかけを増やすべきだと思えた。 * 事後アンケート回答の様子から、当社のワークショップは防災の知識が豊富な参加者が多かった。
内閣官房国土強靭化推進室	さまざまな人にメッセージが伝えられた。「ぼうさい」に関心のある方とのつながりができ、普及・啓発につながる（学習教材の普及啓発を行いたいという方とつながりができた等）住民の国土強靭化の認知度が理解できた。（特に近隣住民の方は防災意識が高いという事が認識できた（津波でてんご等））どういった形でPRしていけばいいのかが勉強ができた（シールが子供向けには大変良い、PR一辺倒ではなく、ゆくり見てもらった方が良いのか等今後のPRの仕方の検討材料、パンフレットが一般の方に説明できるようになっていないことが分かったこと、パンフレット以外のしかけ（ビデオ、パネル等）の重要性等）
株式会社ゼリン	昨年のオンラインのイベントでは伝えたいことがうまく伝わっていなかったが、リアル展示だったため当社の防災に関わる取り組みを直接伝える場になった。普段接点のない他業種の方とのつながりや、接点がある業種でも役職や業務の違いで普段会えない人たちのつながりが持てた。他団体との関係を構築し、共同での取り組みの検討を開始することが出来た。
NPO法人日本防災用品技術研究協会	色々な企業様の取り組みが見る事ができて今後の取り組みの役に立つと感じられた。今回10年が経ち、車で帰る途中に大川小学校・女川等と色々な場所を回り復興の様子を確認する事が出来た。
一般社団法人 日本損害保険協会	東日本大震災から10年の節目で、防災教育や地震保険の重要性など、本大会を通じて、当会として伝えたいメッセージを伝えることができた。
広島市	予想以上に本市に関心をお持ちの方が多く、広くメッセージを伝えることができた。「防災行政」ブースで集まっていたため、他の自治体の担当者と交流できた。
日本労働組合総連合会 (連合)	来場者に対し、労働組合のナショナル・センターである連合が災害救援の取り組みを行っていることを伝えることができた。また、釜石での開催であった為、東日本大震災の際にボランティア活動を行った地域からの来場者より、改めて御礼や現状をお話頂いたことは印象的であった。他の出展団体の担当者との交流があり、今後、関係を構築していく上でのおきかけとすることができた。
広島防災リーダーネットワーク会議	2年連続参加できた事。
一般社団法人危機管理教育研究所	FMBの大切さを伝えられました。*FMBとは災害時において担当に関わらず、誰でもあってもその場にいる人が迅速かつ確実な初期期のオペレーションを実現するための方法です。
三信建設工業株式会社	ある程度メッセージが伝えられた。
広島市防災士ネットワーク	オンラインのため、少数の参加者であったため内容の濃いワークショップができた。
一般社団法人 Do It Yourself	オンライン工作教室を初開催できた。
一般社団法人 7 2 時間サバイバル教育協会	これから繋げられそうな方が何人かいた。
TEAM防災ジャパン	これまでオンラインで会を重ねてきたが、現地で直接対話できたこと、それを多くの人にオンラインでも視聴いただけたこと。
機能ガラス普及推進協議会	コロナ禍だったにも関わらず、現地出展・オンライン出展をご準備頂きましたおかげで、不参加とならず、オンライン出展ができメッセージをお伝えできたこと。
福島大学つくしまふくしま未来支援センター	コロナ禍であっても、オンライン参加という出展方法で情報発信できた点。
一般社団法人全国建設業協会	コロナ禍においてイベントなどの中止や移動制限等で、本会において取組を周知する機会が減っていたが、インターネット併用のハイブリッド開催となり、取組紹介ができてよかった。
ペット防災サポート協会	ご参加頂いた方からの反応は良かったのでメッセージは伝えられたと思います。
LACITTA	ご来場いただいた方々に紹介ができたこと、またご意見や防災対策について意見交換ができたこと。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	さまざまな人たちと直接お話しすることができた。
静岡大学学生防災ネットワーク	さまざまな方とお会いできた。
災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	セッション動画のプロモーション利用、各所からの高評価。
清流の国さふ 防災・減災センター	どちらかというと組織内の話になるが、自らの活動を振り返る機会になった。
株式会社レジリエンスラボ / 株式会社明電舎	とてもアットホームな雰囲気でも、参加者を始め、出展者同士との交流や意見交換が有意義に行うことができました。当社の取り組みも多くの方に知っていただけました。
NPO法人 岡山NPOセンター	パートナー組織とコミュニケーションを通して、次への事業展開を検討できた。
一般社団法人日本ドローンコンソーシアム	ハイブリッドという新たな形式で実施することができた。
WPPグループ Japan Pet Press	ペット防災について、さらなる問い合わせがメールやお手紙をいただいたことです。
防災教育チャレンジプラン実行委員会	ぼうさいを大切に参加する、多くの一般の方に見ていただくことができました。
河村電器産業株式会社	メーカーと一般の方と直接の会話や体験談が聞けたこと。製品の認知度や理解度を高められたこと。
特定非営利活動法人都市環境標識協会	メッセージを伝えられた。
NPO 津波太郎	メッセージを伝えられた、人的つながりが出来た。
豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」	メッセージを伝えられたこと及び他参加団体から連携を目指した連絡をいただけた。
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	各参加者の皆さまとコミュニケーションが取れ、多くの情報が取れました。
日本シオパークネットワーク	各地域の取り組みが共有できた。
一般社団法人日本リモートセンシング学会	学会および研究会活動や最新の事例紹介をお伝えすることができた。
災害文化研究会	活動を広く発信することができた。
一般社団法人おいしい防災塾	岩手県を知れた。
有限会社 西谷	企業の取り組みをより多くの方々に伝えられた。
東北大学災害科学国際研究所	期待以上に多くの人にこ来場いただき、話を聞いていただけた。
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	久しぶりに登壇者との対面でのコミュニケーションが図れたこと。また、釜石へ訪れ復興状況等が確認できたこと。オンライン配信で、弊団体の取り組みを広くお伝えできたこと。
独立行政法人都市再生機構	現地開催を行うことで、東日本大震災からの復旧・復興支援から得られた教訓や知見について、よりメッセージとして伝わりやすかったのではないかと思います。
株式会社フジタ	広く取り組みをアピールできた。
防災専門図書館 (公益社団法人 全国市有物件災害共済会)	広報の窓口が増えただけでなく、当館が国のイベントに参加していることを知った自治体から、地域イベントへの参加も可能か問合せがありました。（まだ問合せ段階で未定です）来場者へ直接声をかけていっしょに作業できたので、身を守るための工夫・知恵を普段から蓄えておくことの大切さを伝えられました。
有限会社鈴文	御来場者様、御出展者様と防災というテーマでコミュニケーションを図ることができ、とても勉強になりました。ブースに来ていただいた方に弊社のメッセージを伝えさせていただきました。
日本赤十字社	災害救助犬の紹介をすることで、救助犬について皆さんの理解を得ることが出来た。赤十字の防災事業、救援物資の備蓄など伝え、自助として災害に備える緊急持ち出し品の準備についても促すことができた。
公益社団法人 日本薬剤師会	災害時におけるモバイルファーマシーの役割と必要性、重要性をご来場された方々にご覧いただいた。
一般財団法人 世界防災フォーラム	参加者が想定よりも多かった。多くの方とレリレーションができた。
日本セイフティー株式会社	参加者の方々に防災に対するメッセージを発信することができたため。
公益社団法人中越防災安全推進機構	事業の内容について発信ができた。
地震調査研究推進本部 / 文部科学省研究開発局地震・防災研究課	自治体、大学、高等学校、一般財団法人、一般社団法人、民間企業や住民の方々など多数のみなさまとの意見交換や地震・防災を学ぶ学生との交流などができた。
一般社団法人男女共同参画地域みらいなつと	自社団体の取組を知っていただき、共感していただけた。
いわてNPO災害支援ネットワーク	自団体のセッション企画を通じて、登壇者との関係構築や、取り組み事例を全国に発信する機会が得られたこと。
アイコム株式会社	実際に被災された方々のお話を直に伺うことができ、(地震)災害時にユーザー様が望まれる内容を具体的に知ることができました。
防災教育学会	出会いがあり、つながりが広がった。
南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議	出展者との情報交換や、つながりを作ることができた。
防災科学技術研究所	出展団体との情報交換ができた。
熊本県	出展内容・方法等で改善すべき点が見つかった。

問3.出展して良かった点を教えてください。

一般社団法人みんぼうネットワーク	初めてにしては、私たちの防災に関する考えをアピールできた。様々な団体との情報・意見交換ができた。防災に関連して活動している多くの団体が参加していたことが良かったと思う。
防災ママかつばた	常時オンライン上で動画を配信するだけでしたので、来年度はぜひ現地出展をして積極的にPRしていきたいと思いました。
特定非営利活動法人日本防災士会	情報発信ができた。多くの出会いがあった。
(株)ハタヤマテッド	色々な方々に防災製品をPRする事ができた。
株式会社メルシー	新規のユーザー様と会えた。
岩手県	震災から10年の節目の年に、現地（被災地）から防災に関するメッセージや復興支援への感謝を伝える機会として大きな意義を持つ大会になりました。
アールシーソリューション株式会社	想像以上にたくさんの方々にお越しただけでよかったです。また、ご家族で防災について意識してもらうことができた内容だったと思います。
宮城県多賀城高等学校	生徒たちの取組を伝えられた。生徒も教員も皆様の取組を知り、対話の中で大きな刺激を受けた。
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	他に出席している企業・研究機関等とのコミュニケーションが取れたこと。
一般社団法人 防災シオラマ推進ネットワーク	他の出展者と交流ができた。（オンライン出展でしたが、会場に行ったため）
よんなな防災会学生部	他の団体や学生と交流できた。大臣にも本団体について紹介できた。
東北大学 災害科学国際研究所	他の防災関係者と面談、意見交換ができたこと。
シオワークサイエンス	他企業・団体と交流ができた。
仙台市防災環境都市推進室	他出展者に当室の取り組みを紹介し、他出展者の取り組みを知ることができた。
福島県	多くの方に、福島を応援しているとお声がけいただいた。他自治体、企業とのつながりができた。
東日本電信電話株式会社 岩手支店	多くの来場者の方々へ取り組みの説明ができたこと、災害用伝言ダイヤル171を体験頂けたから、
株式会社MT-NET	多数の防災関係者に実際に前面でお話し、改めて名刺交換などが行えたこと。釜石の当時を知る皆様の貴重な声を多数聞けたこと。展示した商品についていくつかお引き合いを頂けたこと。
有限会社アシストコム	大災害にあった被災者の声を聴くことができた。
公立大学法人岩手県立大学	地域の防災関係者との交流がはかれた。
特定非営利活動法人全国足紋普及協会	地元の報道、行政関係者や議員、出版関係者など多数の方に足紋採取を体験していただき、足紋の意義や有効性の普及に努めることができた。
株式会社 エスエスティー協会	地盤改良の重要性をPRできた。
日東工業株式会社	電気の防災について啓蒙できた。
広島県	登壇者のそれぞれの立場から様々な意見が出たこと。
国立国会図書館	東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）事業を多くの参加者に伝えることができた。また、震災アーカイブ機関との連携の手がかりを作ることができた。
三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	当センターのPRを行う場として活用できた。
国立歴史民俗博物館	当館事業に対して地域のファミリー層の率直な意見が聞けた、基礎自治体の防災・文化財等担当者や非公式の情報交換ができた。
一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR:クレア）	当協会の活動内容が周知できた。
株式会社サンコー	当社のメッセージを来場いただいた方に伝える事ができた。また、他の企業様との新たな接点でも良かったです。
富士フィルムシステムサービス株式会社	当社の取り組みを発信することができた点です。
WAA ReSCue 準備委員会	内部的な結束、課題の洗い出し、参加者へのメッセージの広報ができた。
公益社団法人日本技術士会防災支援委員会	防災・減災への取組みを広めることができた。
一般社団法人DroneAI技術研究機構	発表に対してのご意見をいただき、それを励みに新たな防災技術の研究に取り組みること。
竹内工業株式会社	被災された地域の方の意見を伺うことが出来た。目づ、被災した地区の震災遺構を目の当たりにして「防災」の重要性を改めて認識することが出来た。
名古屋学芸大学	被災された方々からの実際の評価を頂けた。初日に本学ブースを訪問された方が、二日目にご友人を連れてきてくださって「これこれ、すごいよ」と学生の成果に対して評価を頂き、発災後と備えについて教えて頂いた。学生にとって更なる学びになった。
大丸興業株式会社	被災された方々のお話を直に聞けた。企業間パートナーシップが結ばれた。
ポリカフーズ株式会社	被災地でのリアルな声を聞くことが出来た。当社の製品が少なからずお役に立っている実感を持つことが出来た。
パナソニックライティングデバイス 株式会社	普段接する事のない方々へ情報を伝えられた。
総務省 東北総合通信局	複数の自治体防災担当者に来場いただいた事で、災害対策用資機材の無償貸与と制度について幾ばか認識を広める事ができた。
イオン株式会社	弊社の災害への取り組みを発信できた。
特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	防災に関するご縁をたくさん頂きました。とてもよい内容でした。
内閣府男女共同参画局	防災に関わる女性とその女性を応援する方々同士のつながりができた。防災危機管理部署等で防災に関わる女性職員の方が一人ではないと思っただけのきっかけづくりができたと感じる。
一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	防災に携わる関係団体、関係者に対しての当研究会PR。又、一般の方への中々ごことになる事が出来ない災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ・仮設トイレ）の展示。
アールシーソリューション株式会社	防災の取り組みやメッセージを伝えることができたと思います。
NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	防災活動についてメッセージを発信できた。今後、動画のアーカイブ視聴を広報することができると。
一般社団法人 日本照明工業会	防災観測のアイテムの多さを改めて認識する事が出来た。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）	防災関係者の皆様と久しぶりに顔と顔を合わせて、ご挨拶できました。
防災学術連携体・日本学術会議	防災教育と災害伝承という重要なテーマに関して学術界からのメッセージを発出できた。
防災教育学会	防災教育を実施するうえで、悩みを持つ団体と率直な意見交換ができた。
株式会社スズガ	防災避難着という存在を日本国民にお知らせできた。
防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	防災分野の最先端の研究の内容について発信する機会が得られ、聴衆も一定程度得られた。
公益社団法人 日本医師会	本会の一般的なイメージとしては見えにくい部分を伝えられた。ぼうさいくたいへの出展に向けてプロジェクトを進捗させることができた。
震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）	本協議会で進めている震災伝承施設の紹介や伝承の意義を多くの人に伝えることができた。
鹿児島市	本市の火山防災対策をPRする機会を得られた。
岩手大学地域防災研究センター	満席以上の参加者が得られたこと。参加者と防災教育について交流を深められたこと。
株式会社ピースポーク	無料で参加できた
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	約60名の参加者の方に、災害時の子ども支援（人道行動における子どもの保護の最低基準）を伝えることができた。ワークショップ内のグループディスカッションを通して参加者の方の考えを知ることができた。
エピスターポレーション / 株式会社プリント	予想より多くの地元の方々へ弊社商品のご紹介ができた。
国土交通省 国土技術政策総合研究所	様々な業種の方とやりとりをする事ができた点。
よんなな防災会	様々な人とリアルで会い、繋がる機会となったため
日本たばこ産業株式会社	様々な団体の活動を知ることができた。企業との繋がりができ、新しい活動をスタートするきっかけになった。
株式会社シラライト	様々な方からの意見を頂戴し、商品や企画の参考になりました。出展の自治体とのつながりができた。
国立研究開発法人情報通信研究機構	様々な方々に研究内容を紹介することができた。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	来場者、他の出展者へ私たちの活動を伝えるとともに、意見もいただくことができました。
宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課	来場者に復興の状況を伝えられたこと。
こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）	来場者へさまざまな観点から「防災」についての情報発信ができたこと。

## 問4.出展して残念だった点を教えてください。

一般社団法人 日本損害保険協会	集客が難しく、事前準備や当日対応に大きな労力を要しました。
日本赤十字社	視聴者数（ワークショップの）事前登録者数以上の視聴者数に至らなかった。この差は、事後アンケートから、技術的な面（ZOOMに慣れていない人がアクセスできなかった）等と予想できた。オンラインでのデメリットの一つとして受け入れている。
株式会社ゼノン	自治体の来場者が少なく、期待していたほどの対面の面談ができなかった。事前登録制になり、本来お越しいただく予定だった自治体から来れなかった。プロモーション活動においては、出展者に対し一通り連絡がなく、各社個別でのプロモーション活動になってしまっている。配布するチラシの枚数が少なかったため、効果的な集客ができなかった。来場者に対して、ブースへの導線案内がなく、ブースの位置によって、良い悪しが出た。展示ブースによっては、説明員同士で雑談をして来場者の対応を全行わずにブースや早めに展示を切り上げるブースもあり、来場者の意欲を削ぐようなブースがあった。
日本労働組合総連合会（連合）	新型コロナウイルス感染症対策のための一般来場者の事前登録制、釜石での開催、ハイブリッド開催など様々な要素が関連していると思われるが、例年と比較すると、想定していたほどの来場者数では無かったように思い、その点が残念であった。
内閣官房国土強靱化推進室	難しい所かと思いますが、防災に関心のない層に知ってもらいたいというプレゼンでしたので、防災に関心のある、または防災のプロが来る事が多く（5割位でしょう。）。もう少し、防災にあまり普段関りのない一般の方も入りやすいの様な形となればよかったですと考えています。今回、積極的にこちらからパンフレットを配布し説明し見てもらうという形にしました。じっくり静かに見たいという方には対応できない、逃げたという問題点があったかと思いました。
広島市 こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）	防災関係者が多く、一般の来場者が少なかったように感じた。 TETTO内のプレゼンブース会場全体が狭く密であったこと。
NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	vimeoは最後まで視聴しないと人数にカウントされず、当日の動画視聴人数が少なかった。動画へのアクセス数がカウントできるように準備すれば良かった。
広島防災リーダーネットワーク会議 機能カラス普及推進協議会 公益社団法人中越防災安全推進機構 一般社団法人 防災ジオマ推進ネットワーク 公立大学法人岩手県立大学 NPO法人 岡山NPOセンター	オンライン参加となった。 オンライン出展が多く、期待した多くの方々へのメッセージ発信ができなかったこと。（11月6日15回、11月7日14回） オンライン配信だったため、参加にたいた方からの感触をつかむのが難しかった。また、集客についてもうまくできなかった。 コロナのためオンラインでの出展を選んだが、取り組みの性質上、オンラインでは伝えきれないことが多い。 コロナの影響で、開催決定から開催までの告知期間が足りなかった。 コロナの自粛明けがあり、県下でも同時期に防災の取り組みや、地域の取り組みが一気に動き出したので、情報的に埋もれてしまった。 コロナ禍の影響で仕方が無い状況だったと思うが・・・ （1）ハイブリッド開催の決断がギリギリとなり、HPへの掲載含めて全体的に事前PRが不十分になってしまったこと。 →せっかくアーカイブが残っているのに、この後の積極的なPRもお願いしたいです。 （2）結果として会場になっている県内ですら認知度が低く、リアル会場への集客が出来なかったこと。 →東日本大震災から10年目の節目の岩手開催だったので・・・地元を十分巻き込めていないのはちょっと勿体なかったですね。
公益財団法人 味の素ファンデーション	コロナ禍等のため、例年より大会への参加者が少なかった点。 コロナ感染者が減っているとはいえ、現地参加できなかった。
国立国会図書館 イオン株式会社 株式会社M T - N E T 株式会社レジリエンスラボ/株式会社明電舎 アル・シー・ソリューション株式会社 株式会社 エスエスティー協会 大丸鐵興株式会社 ㈱ハタヤマリミテッド	移動が大変でした。 ハイブリッドの理解が足りず、当日のライブ配信ができなかったのが少し残念です。 ハイブリッド形式が初めてだったので事前準備が足りず残念でした。 ビジネスにつながるような成果がなかった ブースが狭かった。 ブースが狭く物があり展示できなかった。 ほうさいこくたいのウェブサイトおよびパンフレットの決定が遅かったため、弊団体としてのご案内も確定せず、告知が遅れた事は今回の集客に若干影響しているかと思えます。
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）	ほうさいこくたい終了後もアーカイブ動画が見られることを、ポスターでも告知されればと思いました。会場への来場者が少なすぎました。
防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	メイン会場の釜石市民ホールとは別棟の釜石情報交流センターに割り振られてしまったため、集客という観点では条件が厳しかった。
南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議 内閣府男女共同参画局 総務省 東北総合通信局 防災ママがきつばた 三信建設工業株式会社 イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」 防災科学技術研究所	もう少し時間があれば参加者同士の交流ができたと感じる。 もう少し多い来場者を見込んでいたが、期待したほどの集客ができなかった事が先ずもって残念である。 ライブ配信するなど、工夫をすればよかったかなと思いました。 ライブ配信でのカメラ位置が十分に確保できなかった。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 一般社団法人日本トイレ協会（災害・仮設トイレ研究会 震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局） 東北大学災害科学国際研究所 NPO法人日本防災用品技術研究協会 岩手大学地域防災研究センター 日本シオパークネットワーク 国立歴史民俗博物館	一般のお客さま、地元のお客さまが少なかったことが、残念だったと思います。 一般の方が想定したより少なかった。 一般の来場者向けの対応をもう少し丁寧にするのと良いと感じました（一般の来場者には案内図を配布するなど）。 宿泊等の予約がスムーズに行えなかった事から当研究会の出展メンバーも含めて人が集まらなかった。 屋外展示会場がメイン会場と離れていること。また、場所が分かりにくいことから集客が多くないと感じた。 屋外展示会場が遠かったため、連携が難しかった。 他の会場と離れていたので行く事が難しかった。 会場が狭かったこと。出展会場がメイン会場から離れていたこと。 会場が狭かったため参加者を制限したこと。 会場が密に過ぎた。 会場が離れていたこと、2日目の時間帯などからも集客が少なかった。
一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 特定非営利活動法人日本防災士会 公益社団法人日本技術士会防災支援委員会 よんなな防災会学生部 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム	会場への移動等、時間ロスが多かった。 各会場がもっと近接していればもっと盛況になったのでは。 学生が少ない。 釜石市内の宿泊施設が空いていなかった。釜石で実施したことが意義は大きい。 感染症まん延防止の観点から、飲食イベントやファミリー向けの体験プログラム等が中止となり、一般参加者向けに来場行動を促すコンテンツが十分でなかった印象です。
岩手県 TEAM防災ジャパン 一般社団法人おいしい防災塾 いわてNPO災害支援ネットワーク WAA ReSCue 準備委員会 熊本県 日本たばこ産業株式会社 富士フィルムシステムサービス株式会社 広島市防災士ネットワーク 清流の国さく 防災・減災センター 国際復興支援プラットフォーム（IRP）	関係者が、同時刻に他の会場で行われていたセッションに参加せざるを得ず、告知と実際の登壇者が異なってしまうこと。 関係者ばかりだった。子供が来なかった。 岩手開催であったが、岩手からの出展団体数が少なく、また興味関心を持って参加している団体・機関も少なかった事。 期待していたほど、集客できなかった。 期待していた集客は得られなかった。 期待するよりも一般参加者の来場が少なかった。（PRの機会が少なかった） 見込んでいた集客数を超えることができなかった点です。 現地へ行って参加したかった。 現地参加でなかったため交流機会が少なかったのは残念。 現地出展からオンライン出展に切り替えたが、動画の準備等ができず、どれだけのアクセス数があったか確認できなかった。 告知が覆ったし、少なかった。釜石市在住の方も広報にも載らなかつたので知らなかつたと話していた。屋内展示の様子も全分らなかつた。オンラインや各出展場所の（ランダムに）パブリックビューイングがあったら良かった。ニュースはほとんどが屋内展示だった。屋外展示の様子も紹介して欲しかった。
日本赤十字社	最初から会場がメイン会場ではなくホテルだったので不安的中した。フリーの人も出が全来る事は無く、セッションに来た方が一人だけ。人も来ない僻地に追いやられた気分だった。 施設の立地等の条件により限界があるかとは思いますが、一般来場者が少なく感じた。
一般社団法人あてやか切り絵協会 仙台市防災環境都市推進室 特定非営利活動法人 防災自助普及委員会 一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP） 災害文化研究会 一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR:クレア） 株式会社フジタ 認定NPO法人 防災・減災サポートセンター 国立研究開発法人情報通信研究機構 一般社団法人危機管理教育研究所 株式会社ピースポーク	私はプレゼンブースでしたからいですが、ホテルなどで発表している団体は距離離れ残念だと思いましたが、しょうがないのかなとも。 紙のプログラムがない、点する会場がわかりにくい。現地の来場者にとってイベントの全容や自分が参加可能なものがどれなのか、次にどこに行ったよいかなどがわかりにくく、せわか来てくれたのにさつと見て帰られてしまつた印象があり、残念でした。 事前の広報が十分にできなかった。他の発表ととの関連を考えるとできなかった。 時間帯で集客にバラつきがあった 自治体様の弊ブース来訪者数が少なかった。 集客が思ったようにできなかった。 集客が少なかった。特に自治体関係や想像以上に少なかったと思われる。 集客が難しかった点 集客に至らなかつた。

問4.出展して残念だった点を教えてください。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	出展したワークショップでは、既存ネットワークからの出席者が多く、新たな層へリーチしたいという期待はあまり満たせなかった印象を持った。ぼうさいこけいHPでのワークショップの詳細案内をもう少し早いタイミングで出していたらよかった。会場が窮屈で、十分な意見交換ができなかったブースも散見された。
一般社団法人みんぼうネットワーク	出展した場所が動線的に不利で、集客ができなかった。会場が窮屈で、十分な意見交換ができなかったブースも散見された。
災害派遣トイレットネットワーク「みんな元気になるトイレ」	出展に際する事務の煩雑、断片的な資料支給
特定非営利活動法人都市環境標識協会	出展企業間での訪問が多かったが、自治体の訪問が少なかったように感じた。
独立行政法人都市再生機構	出展者や関係者の来場が多く、現地の方の来場があまり多くない印象を受けました。
シンロ化株式会社	準備段階での情報など、諸々の不足や不備。
東北大学 災害科学国際研究所	新型コロナの関係で、交流が限定的にしかできなかったこと。
株式会社リプライト	前々回（愛知県開催）と比較すると企業の来場者が少なかったように感じます。スペースと設備（デスク）のバランスが悪かったように思います。
有限会社アシストコム	全体的にもう少し来場者数があると期待していた。
LACITA	想定していたより来場者数が少なかったこと。
広島県	他の出展も含めて、WEBの視聴者が少なかった。積極的な広報がなされていなかったのではないかと。
ペット防災サポート協会	大会ホームページの全てにおいてオープンが遅すぎた集客が思ったほどなかった。残念です。
防災学術連携体-日本学術会議	短時間での講演が中心になり、会場との直接の質疑応答ができなかった。
株式会社サンコー	地方自治体の担当者の来場がもう少しあればよかったです。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	東京からの参加者が少なかった。
NPO 津波太郎	復興庁のホームページ広報・報道で取り上げて欲しかった。
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	当方の周知不足も当然あるが、集客（当方がターゲットとしていた中小企業関係者）が不十分だった。
福島大学つくしまふくしま未来支援センター	オンラインでの参加だったため反響が小さい点。
アイコム株式会社	搬入時(11/5 金)に降雨に見舞われ、屋外会場となった駐車場は、当社ブース側に傾斜していたため、ブース内に水たまりができました。今後、屋外会場出展時は上げ底を準備するという経験値が積めました。
一般社団法人 Do It Yourself	弊団体の事情により、オンライン開催のための集客が予定通りできず、申し訳なかったです。
ジオワ-サイエンス	別館で来客の流れが少なかった。
株式会社スピタ	防災関係の大手企業様でも、会期中、その後もこけい存在自体を知らない方が多くいらっしゃったので。
福島県	本県の市町村の出展がなかった。
有限会社鈴文	目標集客数まで届かなかった点。
日本セイフティー株式会社	問い合わせしていた件への返答が遅かったため、追加案内など2度手間になってしまった点。
名古屋学芸大学	離れている会場の皆さんの様子がわからないので、もう少し近いといいと思いました。名古屋で行ったときには、会場内の動きや、外のブースの動きが分かりやすかった。
国土交通省 国土技術政策総合研究所	両隣が防災便利グッズの紹介となっており、活動紹介は少しテイストが違っ感じになってしまった点。もう少し分野ごとにエリア分けをしていただきたいと思います。

問5.大会事務局による出展者へのサポートについて、良かった点を教えてください。

広島市	オンラインでの紹介ページへの対応を迅速にしてくれた。
日本労働組合総連合会（連合）	大会前日の準備が会期終了までの間、特段の問題はなかったように思う。こちらからの事務的な疑問点についても、即座に回答を頂き有難かった。
一般社団法人 日本損害保険協会	大規模かつロジが複雑な大会の中で、大きなトラブルが発生せずに、スムーズな当日運営ができていた点が良かったと思います。
株式会社ゼンリン	提出期限に間に合わなかった提出物について、柔軟に対応いただいた。事務局に電話をした際、不在ということがなく、常にやり取りができる状態を整えていただいていた。当日、若手事務所の担当の方が忙しい中当社のブースまでお立ち寄りしていただき、備品の内容についてご確認くださった。
防災教育チャレンジプラン実行委員会	HPの修正対応など、適宜ご対応いただけた点が良かったです。電話での相談についても丁寧にに対応いただきありがとうございます。
防災ママがきつばた	いつもこまめにサポートして下さったり、リマインドして下さるので助かりました。
防災科学技術研究所	オンライン説明会で出た質問への回答が後日フィードバックされた。
独立行政法人都市再生機構	オンライン配信代行業務について、速やかに対応して頂き、当日も大きなトラブルなく実施することができました。また、プレゼンブースについても、現地で出展位置変更に伴う対応をスムーズに実施して頂きました。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	お時間の限られた中、もれなく対応いただき感謝しております。
震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）	こちらからの個別な質問に対しても丁寧に回答をいただいた。
東日本電信電話株式会社 岩手支店	こちらからの要望に早期に対応いただけた点。
公益社団法人 日本医師会	こちらの要望に対して、対応がきめ細かくてよかった。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	コンパクトに見て回れるようになっていた。
広島防災リーダーネットワーク会議	ご迷惑をおかけしたのですが、迅速に対応していただけた点。
ペット防災サポート協会	サポートが無かったら大変でしたので有難かった。
NPO法人 岡山NPOセンター	スピーディーに対応いただきありがたかったです。
東北大学 災害科学国際研究所	セッションの運営が、配信を含めて確実に実行していたこと。
日本赤十字社	テントや机、椅子など準備、撤去していただき助かった。
株式会社サンコー	とても親切に教えてくれ、良かったです。
有限会社 西谷	とても丁寧に丁寧に対応して頂けて感謝の気持ちでいっぱい。
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	備品のご配慮が行き届き、スムーズに設置することができました。
河村電器産業株式会社	プレゼンブースの改善指摘をした際、素早く対応していただけたこと。
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	ぼうさいこけいHPなどに掲載頂くことにより、周知につながった。
富士フィルムシステムサービス株式会社	ホームページの細かい修正にも対応いただき大変助かりました。
有限会社アシストコム	マッチング（弊社ではできなかったが）いい試みと思いました。
日本セイフティー株式会社	メールでこまめにご連絡をいただき助かりました。また、電話での問い合わせにもきちんとお答えいただきました。
福島大学つくしまふくしま未来支援センター	メールや電話連絡などにも即時に丁寧に回答して下さった点。
公益財団法人 味の素ファンデーション	リードタイムが短い中、オンライン配信サポートについては事前打ち合わせも含めて丁寧にやって頂き、安心して当日を迎えられました。本当に感謝しています。
一般社団法人 7 2 時間サイバール教育協会	リマインドを多く送って頂いた。
一般社団法人 Do It Yourself	リマインド的な連絡をいただき、十分に対応していただけたと思います。
日本たばこ産業株式会社	ワークショップの時間調整や準備に細かな配慮を頂けたため、時間通りの運営ができた。
宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課	円滑な手続き。
ホリカワズ株式会社	何事も迅速に対応していただけた。
熊本県	荷物の搬入時間（前日）を柔軟に対応していただいた。
福島県	会場スタッフの方に細かなことを聞いた際、丁寧に回答いただいた。
災害派遣トイレットネットワーク「みんな元気になるトイレ」	会場でのテクニカルサポート。
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	会場での音響設備・配信環境の整備等で様々な協力いただき、会をスムーズに進められた。
日本シブパ-ネットワーク	会場のオンラインの設備の使用に対する対応が適切であった。
岩手県	開催形式の決定時期が遅くなったため、かなり苦労されたと思います。当日の運営（配信関係含む）も問題なかったと思います。
一般財団法人 世界防災フォーラム	概ね分かりやすかった。
公益社団法人日本技術士会防災支援委員会	各開催日に出展ブースにまわってきてくれて連絡事項をいただいた。
三信建設工業株式会社	現場ですぐに対応をとっていただいたことが頼もしかった。
エビスタコ-ポレーション / 株式会社プリント	現地で見ることができたこと。当日の急な対応をお願いしたにもかかわらず、気持ちよく対応頂いたこと。
災害文化研究会	現地会場に加えてZoomとYouTubeでの発信も可能にいただけた点。

## 問5.大会事務局による出展者へのサポートについて、良かった点を教えてください。

一般社団法人 日本防災プラットフォーム (JBP)	現地開催の有無が定まらない中でのご準備、大変だったと思います。中でもいつも丁寧にご対応くださりありがとうございました。
機能ガラス普及推進協議会	現地出展・オンライン出展など多岐に渡る出展形式それぞれに対する手厚いサポート。
国立歴史民俗博物館	個別相談へのレスポンスが早かった。
株式会社レジリエンスラボ / 株式会社明電舎	今回初めての出展であり、色々個別に質問や依頼をさせていただきました。柔軟に対応・ご回答いただき、ありがとうございました。
株式会社M T - N E T	細かく出展者に向けてメールの発信をさせていただいたので、疑問点についてマニュアルを引いたりする手間がかなり省けてたすかりました。
アイコム株式会社	細やかな情報発信をしていただき、安心して出展できました。
株式会社リブrait	事前も当日もサポートに不備や欠点はありませんでした。スムーズにブースを運営できました。
防災学術連携体・日本学術会議	事前説明で準備の状況を丁寧に説明していただいた。
防災専門図書館 (公益社団法人 全国市有物件災害共済会)	時間がなかったにも関わらず、的確な指示出しと対応をしてくださったので、とても安心して準備することができました。問い合わせへの回答も早かったです。
一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと	質問等、詳細にご回答いただけました。
LACITTA	質問などに丁寧にご対応いただけました。
パナソニックライティングデバイス 株式会社	質問にも必ず回答を得られ、出展に不安はなかった。
広島県	質問に対しては丁寧に回答いただけました。
特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	質問に少し間違っていたらすぐに訂正しに来て下さった、場所を親切に教えてくれました。
総務省 東北総合通信局	車両展示スペースの関係、独自の発電機使用及びオプション品の関係で、事務局には親身に支援をいただいた。お陰様で予定どりの展示ができた。
公益社団法人 日本薬剤師会	出展者の参加形態に合わせて柔軟にご対応いただいた。
公立大学法人岩手県立大学	準備期間中の質問に丁寧に回答してくださった。
一般社団法人DroneAI技術研究機構	親切に対応くださったこと感謝しております。
国立研究開発法人情報通信研究機構	設置のサポートが充実していたと思います。
南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議	設備のセッティングや、展示物の事前送付など、スムーズに対応いただいた。
東北大学災害科学国際研究所	説明などが円滑で理解しやすかった。
株式会社フジタ	説明会の開催、出展者マニュアルの整備には毎年助かっている。
豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」	説明会や説明資料が充実していた。事務局への問合せや対応がスムーズだった
国土交通省 国土技術政策総合研究所	大きな問題もなくイベントを終了出来たので良かったのではないかと思います。
国立国会図書館	大会ウェブサイトの掲載内容修正に迅速に対応いただいた。
有限会社鈴文	大会事務局様は、説明会時から質問や、問い合わせを細かく確認してしまいましたが、丁寧にご返事いただき、無事展示会を迎えることができました。ありがとうございました。
(株)ハタヤリミテッド	段取りが良く非常にスムーズに出来ました。
宮城県多賀城高等学校	丁寧かつ迅速に対応していただき、ありがとうございました。
WPPグループ Japan Pet Press	丁寧にご対応でした。ありがとうございました。
一般社団法人日本リモートセンシング学会	丁寧にご対応いただき感謝しております。
名古屋学芸大学	丁寧にご対応いただけたと思いますが、コロナ禍での開催であって仕方ないことが多かったと思いますが、ハイブリッド開催の決定や動画のUP先の連絡をもう少し早く頂きたかった。
公益社団法人中越防災安全推進機構	丁寧にありがとうございました。
防災教育学会	丁寧に対応していただきました。
広島市防災士ネットワーク	提出書類などご迷惑をおかけしたのですが、迅速な対応をしていただけました。
いゆてCNO災害支援ネットワーク	締切りを設けながらも、過ぎた後も臨機応変に対応してくれたこと
防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	適時に連絡があり、申請・提出書類等も簡便で分かりやすかった。
NPO 津波太郎	展示ブース等の取り付け備品等のサポートが良かった。対応が優しかった。
竹内工業株式会社	展示会開催前のご対応も含め都度丁寧に対応頂きました。
特定非営利活動法人都市環境標識協会	都度連絡をいただき、スケジュール等わかりやすかった。
一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	当研究会は屋外展示で、ブース内に展示物が収まり切らない状況でございましたが、予備スペースを活用頂き、展示出来るように対応頂き感謝しております。
一般社団法人おいしい防災塾	当日のバナーポイント、担当、とても頼れて良かった。ありがとうございました。
一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR:クレア)	当日の設備に関する対応等、素晴らしいかった。
よんなな防災会学生部	動画の掲載などもホームページが充実していた。
シンロ化株式会社	内閣府さんには様々なサポートを頂きましたが、コンサルさんには多くの課題を感じ、満足いく状況では無かった。
岩手大学地域防災研究センター	内閣府に対する各種問い合わせに迅速に対応してくれたこと。
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	内閣府防災の方には、当日大変サポートいただきました。また、設備のよい配信会場であったため、当日の配信についても、内閣府防災の方に、トラブルを即時解決していただいたため、スムーズにできました。
株式会社 エスエスター協会	熱心に対応してくれた。
TEAM防災ジャパン	配信のサポートは大変素晴らしいかった。
オールシーソリューション株式会社	配信フォローが大変助かりました。
仙台市防災環境都市推進室	配送した荷物をブースまで運んでいただき、大変助かった。
大丸鐵興株式会社	搬入時の車の誘導が丁寧で良かった。
一般社団法人 日本照明工業会	必要十分なサポートを頂きました。
株式会社スギタ	分からないことは、丁寧に教えて頂きました。
NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	分からない部分は電話対応いただけたことに感謝いたします。
NPO法人日本防災用品技術研究協会	弁当の注文あった事は良かったと思う。屋外展示では、遠いので注文できませんでしたが、宿泊の紹介があった。
一般社団法人全国建設業協会	問い合わせた件について、迅速に対応していただき助かりました。
国際復興支援プラットフォーム (IRP)	問い合わせへの対応が早かった。
WAA ReSCue 準備委員会	問合せに対する事務局の対応は良かった。
一般社団法人あてやかり絵協会	問題無かったと思います。
内閣官房国土強靱化推進室	良かったと考えています。
オールシーソリューション株式会社	臨機応変にご対応いただきました。ありがとうございました。

## 問6.大会事務局による出展者へのサポートについて、改善すべき点を教えてください。

一般社団法人 日本損害保険協会	HP対応や各団体への質問のレスポンスなどに、改善の余地があると思います。事務局メンバーの人員数が不足している印象でしたので、もう少し拡大したほうが良いと思います。
広島市	各提出物の締切までの期間が、特に直前のものは短かった。
日本労働組合総連合会（連合）	環境への配慮やハイブリッドでの開催等を踏まえ、今回、大会パンフレットを印刷せずデータ化していたようであるが、一般来場者のためにも可能であれば紙での準備も頂けると有難い。新型コロナウイルス感染症の状況により、開催形態の最終決定が遅くなったことは理解するものの、説明会から事前の開催マニュアル等の情報発信まで、五月雨式であったことは今後改善してほしい。
株式会社ゼリン	岩手事務所と東京事務所の間での情報共有がなされていないケースが多々あった。事務局からの連絡事項について、メールが届いていなかったことがあった。(他の出展の方から情報をお寄せいただき判明)公募の資料と出展マニュアルにおいて、認識の相違が生まれないように、具体的に記載をしてほしい。今回の説明会版のマニュアル(1回目)の情報が少なかったため、適宜マニュアルの改定をしていただき、出展者に対する説明については改善してほしい。各社の質問事項をエクセルやWEBで随時随時通達してほしい。質問の方法なども、フォーマットを作ってください。抜け漏れなどが発生せずに質問ができるようにしてほしい。質問に対して、回答を頂けないケースがあった。修正依頼に対し、確認の連絡がなかった。予算で動いて出展する団体も多いため、費用が掛かることと関係の連絡にならないように、余裕をもって連絡するようにしてほしい。
日本赤十字社	出展申込書(当初)に幾つ質問を記載したが、回答結果がわかりにくく、再度事務局へ確認依頼することになり、結果的に双方に手間がかかったと感じる。マニュアル参照で済むような全体で済ませるもの、個別に連絡をするものも分けて欲しかった。
TEAM防災ジャパン	会場から早退を促された。プログラム間など、もう少し余裕を持っていたければこちらも会終了後の交流(これも1つの目的でした)ができたかもしれません。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	WiFiが高額になることは仕方がなかったのかもしれませんが、申し込み時点で一定の金額目安を出すべきだと感じました。また、申し込みや回答がエクセル、メールとそれぞれ異なりましたが、どのような回答を過去したのか出店者側でも一瞥で見たり更新が可能なように登録情報を整理していただくかったです。
一般社団法人おしい防災塾	あまりにもギリギリの告知等、すべてが遅かった。
日本ジオパークネットワーク	いろいろの通知が直前であった
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	ウェブサイトについて…登壇者の履歴や団体の概要等間違えて表示されているケースが多く、なかなか修正が進まなかった点が残念でした。当日について…当日の配信についてウェビナー配信の連絡をし、動作確認もしていたにもかかわらず、当日配信方法が変更になってしまっていたり、郵送物の取り置き場所が、弊団体の荷物だけ別場所へ移動されていたり、当日の事務局との連絡がうまく伝わっていないケースがありました。事前準備(東京)と当日会場(東北)の事務局が異なり、東京へ連絡すると「東北事務局しかわからない」といった返答もありましたため、事務局は一元化していただけたらありがたいと思います。
防災学術連携体・日本学術会議	オンライン方式に関して、もう少しシステム面なども含めたサポートがあるとうらやかった
株式会社レジリエンスラボ/株式会社明電舎	コロナ禍の中、開催方針がなかなか決まらなかったで大変だったと思います。説明会やマニュアル配布は、もう少し早い段階で実施いただきたかったです。
日本赤十字社	コロナ対策にて、事前登録のみの参加を促していたが、事前登録しないと参加できないと思った方が多かったかも。実際は、来てみてその時登録ができたようだったので、そのように告知した方が良かった。
特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	サービス業ではないから一概には言えないが、スタッフは笑顔、笑顔が一番だと思います
アールシーソリューション株式会社	セッションとセッションの間が30分しかなく配信準備やテストができないままのスタートになってしまったのももう少し準備できたらありがたかったです。
NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	なし。十分サポートいただきました。ただ資料提出にもう少し時間の余裕があればと思います。
NPO法人日本防災用品技術研究協会	ネットでの参加を大会開催近くで断つたのですが、ネット参加での勘違いなのか、断りの伝達が大会関係者で伝わってなかったのか。
東北大学 災害科学国際研究所	事務局に電話連絡がつきにくい日があった。
河村電器産業株式会社	プレゼンブースと通路などの敷地や設計についての指示規定が曖昧であったこと。
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	ぼうさいのHPの更新や動画掲載方法の確認など、ぼうさいのHP本番直前になってしまいうことが多かったため、もう少し事前に準備が整うとらよかったのではないかと感じた。
防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	ぼうさいのHPホームページの登壇者情報のアップ等、情報の掲載、更新が直前だった。開催形式が正式に決まるのが1カ月前だった影響もあると思うが、事前の周知も考慮すると、もう少し早めのスケジュールで進めていただいても良かったと思う。
いゆてNPO災害支援ネットワーク	ホームページ掲載内容に誤植が多かった。
WAA ReSCue 準備委員会	マニュアル、メールによるインフォメーションなどに訛語があり、準備に手戻りや講師へのお詫びなどが生じた。
公立大学法人岩手県立大学	マニュアルは部分のみ更新ではなく、全体をバージョン更新したほうが良いと思った。
防災科学技術研究所	マニュアル展開や情報をもっと少し早くいただけたら助かります。
熊本県	マニュアル等の更新が遅く、荷物の送付に関する事など、必要な情報が直前までわからなかった。
株式会社MT-NET	ミーティングの後マニュアルの訂正が行われたことが何度かあったので、見切り発車で準備を進めざるを得なかったこと。
防災専門図書館(公益社団法人 全国市有物件災害共済会)	メールでいただいた情報前後することもありましたが、短期間で実施まで持っていくためだと推察します。結局のところ、コロナ禍がなく準備時間に余裕さえあれば、おそらく問題が起きなかっただろうと思っております。
シンロ化株式会社	メール送信漏れやチラシ・ポスターが最後まで不達だった事、Wi-Fi等当日のサポート体制など書き出せないほどの不備。
一般社団法人男女共同参画地域みらいのつと	運営方法が多様すぎて、理解が難しい場面があった。
パソニックライティングデバイス 株式会社	会期中、日々の始まりと終わりのアナウンス、撤収のタイミング指示などがあるのも良いのでは。毎日の来場者数の速報値を出して欲しい。
一般社団法人あでやか切り絵協会	会場を分けるのであれば同程度の場所にして欲しい。メイン会場と同じくらいの人出が欲しい。
アイコム株式会社	開催(搬入)日直前11/4までに連絡事項(メール)が届くと、「何事か!?'と動揺します。連絡事項は開催日の1週間前までに案内完了していただければと考えます。
三信建設工業株式会社	各ブースの前との距離がなく、一部室状態になっていた。
国土交通省 国土技術政策総合研究所	プレゼンテーションブースは出展分野でエリア分けをしていただきたかったです。
名古屋学芸大学	決定と文書での連絡をスムーズに行っていたら、準備しやすかったです。特に宿泊先手配には困りました。
株式会社 エスエスティー協会	決定や連絡が遅かった
福島大学つくしまふくしま未来支援センター	現地出展、オンライン出展が混在しているため、資料中の提出締切等について不明確だったように感じたので、出展方法毎に別記頂けると、より明確だったのではないかと思います。
仙台市防災環境都市推進室	五月雨式に連絡があり、様々な対応に係る期限が短かった。
岩手県	公式ホームページの作成方針について、もう少し早めに示していただければありがたかったです。(前倒し可能な作業もあったのではないだろうか)
内閣府男女共同参画局	今回は事務局によるオンラインセッションへのサポートは特段なかったが、オンライン会議システムを設定していただくなどのサポートがあれば、より多くの方に参加いただけたと思う。
岩手大学地域防災研究センター	最終的なマニュアルの配布が遅かったこと。入場者数の制限などの情報が遅かったこと(このため、関係者に参加案内をどこまですればいいか、判断できなかった)
国際復興支援プラットフォーム (IRP)	作業依頼から締切日までの期間がタイトなため、十分な準備時間が取れなかった。サイト内容の修正が出展者側の依頼に沿っていないことがあった。サイトの一般公開時期が直前まで知られず、公開後に事後的に知らされた。
NPO 津波太郎	参加者受付が分りづらかった。
公益財団法人 味の素ファンデーション	仕方が無いことではありますが、オンライン配信サポートの費用はかさみました。全てを出展団体が担うのは厳しいところもあると思います。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	紙でも全体プログラムなどが見られるようになってほしい。
イオン株式会社	事前に提出する資料や事務局から頂戴する資料をもっと簡潔に分りやすくしてほしい。全て読み込まないといけないような資料を次回
災害派遣トイネットワーク「みんな元気になるトイ」	事務・実務の簡略化(=支給資料の精度)
よんなな防災会学生部	時間がタイトだった。
一般社団法人72時間サイバー教育協会	今回はブースからはみ出ないように徹底してほしい。
公益社団法人中越防災安全推進機構	手間かと思いますが、出展形態別に案内をいただけたら、メールをスルーしてしまう可能性が少なくなると感じました。
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	出展が、2階ブースのため特にお客さまの通りや入りが悪かったように思います。1階のリーススペースを活用していただきたかったです。
震災伝承ネットワーク協議会(国土交通省 東北地方整備局)	出展マニュアルが分りにくい。また最終版の発出が遅かった。
国立国会図書館	出展者向けマニュアルの改訂・送付をもっと早めに行っていたらありがたい。
鹿児島市	出展方式が現地やオンラインなど複数あり、マニュアルやメール連絡等をいただくものの、当市が対象のものかどうか、分りにくかった。
公益社団法人日本技術士会防災支援委員会	準備スケジュール・マニュアル等の確定や連絡などが早めに実施できるとよい。
大丸鞆興株式会社	情報発信が予定からとんとんずれていった気がする。
特定非営利活動法人日本防災士会	情報発信のタイミングが遅い、時間的余裕がなさすぎる。
ホリカワーズ株式会社	情報発信をもっと少し早めていただけたらありがたいです。

問6.大会事務局による出展者へのサポートについて、改善すべき点を教えてください。

広島県 NPO法人 岡山NPOセンター	色々な予定がすべて遅延したこと。積極的な広報がなされていなかったのではないかとと思われること。 説明で使われている文言と、書類などでの文言が違うなど、わかりにくい点があったこと。
株式会社フジタ	説明会から動画等のアップロード期限が短かった。写真、動画をアップした後の公式HPへの掲載が当日までなく、問い合わせをしてやっと掲載された。ダウンロード用資料は提出済みだったがHPに掲載が無かった。
株式会社スギタ	前回よりも煩雑になっていて難しかったです。
認定NPO法人 防災・減災サポートセンター	全体的に外部に対する宣伝が薄い。集客にお菊影響したと思います。
災害文化研究会	全体像を把握するためには、プログラム（最終版に近いもの）がより早く出来上がるとよかったです。
日本セイフティー株式会社	多くの出展者を取りまとめているので、仕方ないと思いますが、開催案内の公示はもう少し早い方がよいと思います。
日本たばこ産業株式会社	大会運営に関する報告や連絡がタイトだった。
地震調査研究推進本部／文部科学省研究開発局地震・防災研究課	大会事務局からの開催案内や付随する情報等を早めに発信して欲しい。
有限会社アシストコム	直前になって、決まること（備品の配送など）が多かったようなイメージです。
一般社団法人全国建設業協会	提出書類が多く煩雑であり、かつ期限も短めで手間だった。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）	提出物（画像、共有用資料等）のサイズ等の情報がわかりにくかったことと、ホームページと出展社マニュアルで開催時間が異なっていたところに戸惑いました。
国立歴史民俗博物館	当日現地のスタッフ同士の連携がとれていなかった。
東日本電信電話株式会社 岩手支店	日曜日の開場時間が最終マニュアルで変更になっている点を事前にわかりやすく伝えていただきたかった。
一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	搬入搬出の案内が、各団体の調整の都合もあったかと存じますが、直前の案内が多く遠方の者が対応仕切れない等の声はございました。弊社では、オンライン会議等の実施経験があるので、問題ありませんでしたが、もう少しオンラインに伴うサポートが充実しているとも良いかと思えました。
防災教育チャレンジプラン実行委員会	有料な部分は金額を前もって伝えるのが本当だと思います。
ペット防災サポート協会	来賓者（首長等）の巡回情報が知りかったです。
国立研究開発法人情報通信研究機構	

問7.本大会の会場・設備及び開催方式について、良かった点を教えてください。

日本赤十字社 広島市	3密を回避して出展できた。 開催方式について、現地だけでなく、オンライン上で写真や動画を掲載できた点。
株式会社ゼリン	近くに商業施設があり、出展者も食事場所に困らず、買い物ついでにいられたら良かった。駅からの距離や駐車場が近く、アクセスが良かった。新しい会場だったので、お手洗いや部屋も綺麗で、来場者・出展者ともに気持ちよく利用することができた。ホールも大きく、来場者にとって過ごしやすい環境だった。会場に段差が少なかったため、車いすの方も不便なく各ブースを回られた。
日本労働組合総連合会（連合）	新型コロナウイルス感染症が未だ完全に収束していない中、また、釜石での開催ということ踏まえ、ハイブリッドという形式を選択したことは適切な判断であったと思われる。
内閣官房国土強靱化推進室	全体として良かったと考えています。
一般社団法人 日本損害保険協会	釜石市民ホールは使いやすかったです。ハイブリッド開催をしたことによって、前回のオンラインのみの開催に比べて、全体的に盛り上がったのではないかと思います。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）	TETTOで展示をしましたが、とてもきれいでよかったです。
特定非営利活動法人日本防災士会	Webで全国の仲間（会員）に発信できた。
ペット防災サポート協会	ZOOMと現地は良かったです
一般財団法人 世界防災フォーラム	うまく会場が分散されていた。綺麗な会場だった。
防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	オンラインセッションのみで参加したので、講演者の予定も調整しやすく、現地に行かずに運営もでき、また、広く配信ができてよかった。
よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム	オンラインでセッションを開催して多数の関係者にリーチでき、とても良かったです。
内閣府男女共同参画局	オンラインでの開催もあったことで、全国の方に参加いただけた。
公益社団法人 日本医師会	オンラインでの出展が可能だとアーカイブも意識して構成することができてよい。会場だとバタバタしてしまうので、内容の充実と専念できるのがよい。今後もオンラインの選択肢を残して欲しい。
防災ママかきつばた	オンラインでも参加できるので、遠方のため大変助かったです。
一般社団法人DroneAI技術研究機構	オンラインで参加させていただくことで映像データを事前に準備でき時間的余裕をもって行動できたことがよかった。
豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」	オンラインにより、遠隔地からも出展できた。
鹿児島市	オンラインのみの出展を設けていただいた。
日本セイフティー株式会社	オンラインワークショップでの参加であったため分かりません。
公益社団法人 日本薬剤師会	オンライン参加と現地参加を選択できる点は、新型コロナウイルス感染症の流行に鑑みて、有効だったと思う。
広島防災リーダーネットワーク会議	オンライン参加の為、参加できた。
防災科学技術研究所	オンライン配信に関しては現地に来られない人が見ることができた。
震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）	コロナの影響もあったが、現地開催ができたことは良かった。
国土交通省 国土技術政策総合研究所	コロナへの配慮がしっかりとされていた点。東日本大震災の復興というテーマには合っている会場であった点。
福島県	コロナ禍において、ハイブリッド開催は必須であり、当大会においてもハイブリッド開催となつたのは良かった。
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）	コロナ禍において大変難しい開催だったと思います。オンライン配信を備えていただいたこと、現地に行かれない方々向けにはとても有意義であったと思います。会場の大きさについては、コロナ禍の規模を考えても、適切だったと思います。
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	コロナ禍の開催で十分なご配慮をされて開催したと感じました。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	スクリーン映像は見やすかった。
特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	トイレが近かった。商業施設が近くにあり足りない品を買えたのが、私は良かったです。
日本ジオパークネットワーク	ハイブリッドであり、多様な参加が選べた。
シロロ化株式会社	ハイブリッドにより遠方からの参加者が多かった事。
一般社団法人みんなぼろネットワーク	ハイブリッド会場は、空間的に余裕を持って設定されたい。
NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	ハイブリッド開催で参加方法を選択できたので無理なく参加できた。
国際復興支援プラットフォーム（IRP）	ハイブリッド開催により、現地に行かずともライブ配信で講演等の内容を確認することができ、より多くの出展者・参加者（来場者）へのアウトリーチが可能になった。
一般社団法人日本リモートセンシング学会	ハイブリッド開催により、全国に分散している登壇者より協力を得ることができた。
株式会社フジタ	ハイブリッド開催は遠方の人も参加出来るので今後も継続してほしい。
日本たばこ産業株式会社	ハイブリッド開催は遠方の方も参加しやすく良いと思う。
オールシーリュレーション株式会社	ハイブリッド開催は現地に来れない人も参加できるので良いと思います。
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	ハイブリッド形式でオンラインでの開催も可能だったことで、住む地域などを問わず、日本全国から参加してもらうことができた。
機能カラス普及推進協議会	ハイブリッド形式での開催要領が完璧で、アフターコロナを見据えたこれからの大会もスムーズに運営ができる確信が持てたこと。
ホリカース株式会社	ハイブリッド形式で開催することで、現地に来れない方々でも展示会へ参加できるので、とてもいいと思いました。
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	ハイブリッド形式により、現地の参加者の顔を見ながら、オンラインでも広く参加できる形態をとれたこと。
防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	ハイブリッド形式は、様々な地域の方が参加しやすいので、コロナ禍後も続けて欲しいと思います。会場の設備には、問題ありませんでした。また、会場設営を事務局に行って下さったのが、大変助かりました。
竹内工業株式会社	プレゼンテーションに関しては、類似の出展内容で固めて頂けたので、展示会を周る側としても確認しやすかった。
一般社団法人日本ドローンコンソーシアム	ぼうさいでたいては、初めてハイブリッド開催させて頂き、オンラインでの参加者も多く、良い機会となった。
株式会社リアポート	ホールはきれいでブースやトイレ等の人の流れも良かったと思います。
岩手大学地域防災研究センター	メイクや映写を専任者が的確に対応してくれたこと。
災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	リアル開催。
よんなな防災会学生部	リアル開催を、行っていただき様々な方と交流できて良かった。
一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと	運営に当たり、会場設営や音響等の支援をいただけたこと。
国立国会図書館	駅から遠くなく、設備も新しく、良かった。ハイブリッド開催も適切と考える。
熊本県	駅から近く、移動に便利だった。ブース内の電源等についても作業しやすいように配置していただいた。
NPO法人 岡山NPOセンター	遠隔からも参加できることで毎年アップデートされる災害支援の情報現場に行かなくても知ることが出来るのは大切だと考えます。また、全国各地で会場を持ち開催されるのも、現地の災害支援のネットワーク強化に効果的だと思います。

問7.本大会の会場・設備及び開催方式について、良かった点を教えてください。

アイコム株式会社	屋外にて使用する機器の展示を、屋外会場にて行えたので、見学者様に対し機器の具体的な使用イメージを掴んでいただけたと考えております。
東日本電信電話株式会社 岩手支店 公益社団法人日本技術士会防災支援委員会 国立研究開発法人情報通信研究機構	屋外開場付近に駐車場をご用意いただいた点 屋外展示は空間的にも余裕があり、感染対策としても適した配置でした。 屋外展示も近く、便利な所だったと思います。
災害文化研究会	TETTOの設備はよかったです。ハイブリッド型は、コロナ禍でなくても採用を希望する会員がいました。どんなに遠方でも参加できます。Zoomですと、オンラインであっても双方向的なやり取りができる点メリットです。YouTubeですと、当日プログラムを見ての参加や後日視聴することができるとありがたいです。現地会場付の施設担当の方、技術担当の方には大変お世話になりました。お礼申し上げます。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	会場・設備とも歩いて回れる場所で見やすかったです。ハイブリッド開催については、離れた地域との会話もあってよかったです。
独立行政法人都市再生機構	会場・設備については満足している印象を受けました。また沿岸という立地上、ハイブリッド形式は、地元の方以外も見ることができるといい取り組みだったと思います。
特定非営利活動法人都市環境標識協会	会場・設備は充実していた。
東北大学 災害科学国際研究所	会場がきれいで、運営も円滑であった。また、買い物にも便利な立地であった。
株式会社 エスエスティー協会	会場がコンパクトにまとまっていた。
アールシーソリューション株式会社	会場に来れない方も参加しやすい形式ではあったと思います。
公益財団法人 味の素ファンデーション	会場はキレイで、気持ちよく使わせて頂きました。有難うございました。
NPO 津波太郎	会場設備は釜石の復興まちづくりが見て取れて大変良かった。
有限会社録文	会場内はともきれいに管理されており、安心して展示会を遂行できました。
一般社団法人全国建設業協会	開催案内時点でハイブリッド開催が決定しており、直前での変更などはなく準備がしやすかったです。
ジオワークサイエンス	開催方式として、現地開催していただけて良かったです。オンラインのみでは、本来の目的を達成できないと思います。
株式会社サンコー	釜石での開催ということで、実際に震災に会われた方と話す大変貴重な機会となり良かったです。
三信建設工業株式会社	釜石駅よりさほど距離が離れていなかった。
一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR:クリア)	釜石市民ホールは設備も立地も良かったです。
富士フィルムシステムサービス株式会社	感染症の流行りもある中ではありましたが、ハイブリッド開催はよかったと感じています。
一般社団法人 72時間サバイバル教育協会	岩手に行くのはハードルが高い人が多そうなので、ハイブリッドは良かったのでは。
一般社団法人 日本照明工業会	規模や広さ施設設備の充実も予想以上でありました。
仙台市防災環境都市推進室	現地に行くことができない参加者もオンラインにより参加することができ、参加機会の確保や密回避の観点からもよかったと思う。
一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	現地は東日本大震災で被災した所であり、関心の高い方が多く来場頂き、良かったと思います。又、WEB配信等もより多くの方へのPRに効果的であったかと存じます。
いわてNPO災害支援ネットワーク	現地開催のみではなく、ハイブリッド開催にしたことで、全国からご参加いただけた。
有限会社アシストコム	現地参加できない方が見られるのは非常に良いと思いました。
宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課	広く多くの人に訴求できる点。
広島市防災士ネットワーク	広島からでもハイブリッドの為参加できた。
若手県	今後もハイブリッド形式での開催が望ましいと思います。
一般社団法人危機管理教育研究所	参加方法を選べるのは良かったです。
大丸鐵興株式会社	施設が新しくきれいだった。
公立大学法人岩手県立大学	車による展示物の搬入・搬出作業がスムーズにできた。
福島大学つくしまふくしま未来支援センター	出展方法を柔軟に選択できた点。
防災教育学会	人の流れを少しは抑止できたのかもしれない。ホームはかなり混雑していましたが。
東北大学災害科学国際研究所	設備として素晴らしいところだった。
NPO法人日本防災用品技術研究協会	展示会場での搬入・排出において駐車場が準備されていたのと近かったのが良かった。
株式会社レジリエンスラボ / 株式会社明電舎	東日本大震災から10年目の節目で、釜石で開催したことは、非常に意義があると感じました。市民ホールは設備も素晴らしい、釜石駅からのアクセスも良かったです。
株式会社M T - N E T	内閣府主催のイベントで距離的な問題を超えた発信も行えたので非常に良かったです。
国立歴史民俗博物館	現地開催したこと自体にかなりの意義があるように思いました。
名古屋学芸大学	防災関係者の皆さんとやと交流が出来たことが本当に良かったと思います。また、参加した学生にとっては津波の跡の表示を見たり、被災された方々の言葉に触れることが出来たのが良かったと思います。
宮城県多賀城高等学校	本校は現地出展のみでしたが、他企業さんで施行されている様子を見て、どちらの良さも活かしていく必要があると感じさせられました。
エビスターポレーション / 株式会社プリント	良い施設でした。実際にご来場の方とお会いしてお話できることが一番感じました。
WPPグループ Japan Pet Press	録画や写真などの事前準備が時間的な余裕をもってできたこと。

問8.本大会の会場・設備及び開催方式について、改善すべき点を教えてください。

こくみん共済 coop (全国労働者共済生活協同組合連合会)	<TETTOプレゼンブース会場> ブースのスペースが狭かった。
熊本県	プレゼンブースと屋外展示の違いがわからなかった。プレゼンブースについては、展示スペースの広さを複数設定し、選択できるようにしても良いのではないかと考えた。
一般社団法人 日本損害保険協会	アクセスの手段が乏しく、周辺施設として宿泊地が不足していました。今後の開催地は、なるべくアクセスが良く、集客や宿泊地も十分確保できる場所が良いと思います。開催方式について、ハイブリッド開催自体は問題ないと思いますが、ハイブリッドで開催するという決定が遅く、各団体の準備に影響が出ていたと思います。今後について、ロジ関係の決定(下見の日程等を含む)は、もう少し早期化するべきだと思います。オンラインの配信準備やテストは、当日のセッションの合間だと難しいと考えます。今回は、特別に前日に対応する時間を設けていただきましたが、デフォルトとしてそのような時間を設けていただきたいと思います。
広島市	釜石情報交流センターやイオンタウンでの出展について、案内等が目立っていません。
いわてNPO災害支援ネットワーク	現地参加するとオンラインのみの催しには参加出来なかった事。もし次回ハイブリッド開催なら、現地参加しながら、オンライン視聴できる部屋も作るなどの工夫をしてほしい。TETTOブースは少し窮屈に感じ、ミュージアムの2階等催し分散しすぎているように思う。(来場者はメイン会場のみを集まったのではないかと)
日本労働組合総連合会 (連合)	今回、TETTOでブース出展を行ったが、ブースとブース間隔が狭く、足を止めてブースの説明を受ける人が複数名出ただけで、来場者の通行が難しくなる等の問題があった。会場を分散させたが、セッションが実施されたTETTO以外の会場にどれほどの来場者があったのかは疑問が残るところである。一般来場者を事前登録制としたが、そのような形である、日ごろより防災・減災等に意識を高めている方しか来場しないのではないかと。必要な感染対策は講じつつも、事前の登録をせずに参加できる方法を検討すべきだったものと思う。
株式会社ゼンリン	最高駅やその他交通機関からの誘導がおらず、会場までの案内がなかった。ブースの位置によっては会場の照明が当たらず薄暗く、展示物のイメージ・見え方に影響を及ぼすので均一の明るさを確保してほしい。限られた会場のスペースではあるが、ブースの位置によって通路の幅に差があり、来場者の移動に影響を与えていた。外から覗きこむ影響も考え、列の端にあるブース(特に入口付近)は防災関連を強く推した展示にしてほしい。イベントの出展経験がある出展者に来場者の導線や案内など、協力依頼をしてもよいと思う。防災への取り組みを幅広く手掛けている企業にとっては、プレゼンブースが狭い。会場の自動販売機の補充がなされていなかった。出展者に休憩場所を通したにもかわらず外で休憩していた人も多く、見た目が悪いので会場内にもっとわかりやすく看板などを設置していただきたかった。荷物を置けるバックヤードが確保できないと言っていたが、スペースはあったように見受けられた。TETTOの2階のスペースがもっと有効に活用できたのではないかと。(ブース設置や写真パネルの設置など)ハイブリッドの展示については、WEB上でのコミュニケーションが一方通行なので、双方向のやり取りができるとよかった。2020年に実施した際の反省も踏まえ、検討してもよかったのではないかと。
福島大学つくしまふくしま未来支援センター	WEB上の防災への取組紹介の中で、複数画像の切り替えが目立たない点。
ペット防災サポート協会	YouTube配信についてサポートをして頂いたのが助かりましたが、Wi-Fiなど様々な有料な点にも驚きました。あと、会場がメイン会場から分かれているのも残念な感じがありました。出来れば1日だけでなく、2日目や他の時間帯でもワークショップは行ったかったです。

問8.7 本大会の会場・設備及び開催方式について、改善すべき点を教えてください。

名古屋学芸大学	イオン駐車場への経路の表示を明確にさせていただきかつとこと、要配慮者の移動が困難だった。平面移動の案内が出来なかったのか。オンラインセッションのみの参加だったので、メリットもある一方、イベントの全体的な雰囲気は分かりにくかった。
防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	オンラインセッションがストリーミングの場合、ぼろぼろとHPへの理め込み点となっていた点について、視聴者側の利便性も考慮しての形式だと思いが、ページビューなどが分からないと、どのくらい視聴されたかが分からなくなってしまうので、参加（視聴）状況を把握するには、埋め込みでよい（直接Live配信先にリンクを貼る）方がよいように思った。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター 国立研究開発法人情報通信研究機構 アールシーソリューション株式会社 有限会社アシストコム	オンラインのセッションが、どこかでプレゼンブース近くでも見られるようにしてあるとよい。 オンライン展示の出展者一覧が小さく、見えずらいと思いました。
公益財団法人 味の素ファンデーション	せっかくの釜石市での開催なので、もう少し時期を改めていたらもっと遠方からの来場があったのかなと感じました。
TEAM防災ジャパン	ネットで配信を各参加者で行うのではなく、主催者側で配信（テレビのように）各ブースを紹介して頂いたらよかったです。
日本赤十字社 株式会社レジエンスラボ/株式会社明電舎 株式会社サンコー	ハイブリッドなので、通常よりも色々な対応が必要でしたが、釜石PITは開場が9時からで、10時からのスタートに向けた準備がバタバタしました。スタッフの方々に手伝って頂いたのが助かりましたが、本当はもう少し早く開けて頂きたかったです。
株式会社サノコー 岩手大学地域防災研究センター 国際復興支援プラットフォーム（IRP）	ハイブリッドは効果的だが、配信の準備が難しい。そのあたりをしっかりとサポートいただける効果はより向上すると思う。特に登壇者がいる場合のモニターや、司会者以外のPCでオンライン会議システムにEthernetで接続できるようにするなど。 ハイブリッド開催としているなら、オンラインでの配信を会場でも見られるようにした方が良かった。
一般社団法人みんぼうネットワーク	ハイブリッド形式の理解が難しかったです。
国立国会図書館 一般社団法人7.2時間サイバール教育協会 一般社団法人 地震調査研究推進本部/文部科学省研究開発局地震・防災研究課 特定非営利活動法人 防災自助普及委員会 株式会社スギタ	ハイブリッド方式のため、来場者が少なくなったのではないかと感じました。 ハイブリッド方式を目指したかったが経費がかかってしまうこと。会場間を移動のための誘導看板がわかりにくかったこと。 パターンの1〜3の相違点などが明瞭でなく、混乱した。
株式会社MT-NET	プレゼンブースで、Zoom配信を行っている団体があったが、周辺のブースに迷惑が掛かっていた。専用のブースを設けるべき。釜石市民ホールのブースは、密集しすぎていて、混雑があちこちでみられた。 プレゼンブースはやや狭いように感じた。また、プレゼン会場がやや密になった感もあった。 プレゼンブースは現地に行って話を聞かないとなかなか伝わりにくい。 プレゼンブース幅が狭い。長机サイズとブース幅が同一のため、席への出入りが不便であった。
公益社団法人日本技術士会防災支援委員会	屋外会場へのアクセスが悪かったです。実車展示などの問題はあったかと思いますがTETTO近辺またはザルトル前で実施できればさらに多くの方にご参加いただけたかと思えます。来年も似たようなロケーションで実施することになると思えますので、この点物理的距離を短縮する、一部地元ショップ等の参加もOKとして屋外展示の参加数を増やそう工夫をすればさらに盛り上がるかと考えております。
震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局） 株式会社フジタ 東北大学 災害科学国際研究所 仙台市防災環境都市推進室 日本たばこ産業株式会社	屋外展示会場の場所がわかりにくい（案内不足）。また、ハイブリッド開催のオンラインのみのコンテンツは認知度が低いように感じた。 屋外展示会場からプレゼンブース、メイン会場が遠く屋外出展しながらの参加が難しかったです。 会場が一部離れていることは不便だった。 会場が点在しており、TETTO以外の会場でのコンテンツに参加しづらかった。
岩手県	会場が複数に亘るためわかりにくかった。 会場が分散したため一体感の醸成が難しく、集客に苦慮したプレゼンブースもあったようです。会場内に全体MAPの掲示が必要と感じました。（会場規模にあわせ、プレゼンブースの出展数を絞る方法もあったと思います）
一般社団法人おいしい防災塾	会場に、オンラインで流している映像だけでなく、どこかの場所で観覧できたほうが良かったと思います。遠隔地から来ている出展者に、会場から駅への交通手段、バス時刻等、少し気を配って貰いたい。時刻表等、どこかに知らせる等、配慮して頂きたい。
認定NPO法人 防災・減災サポートセンター 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 広島防災リーダーネットワーク会議 防災科学技術研究所 シンロ化株式会社 日本ジオパークネットワーク	会場の場所の案内が小さいなどわかりにくかった。 会場の分散は参加者、運営者にとって難しいものがあった。コロナの影響もあってですが、お弁当の食べる場所は各会場にほしかった。 会場の様子がわからなかった。 会場の立地、オンラインとの併用により現地に足を運ぶ人が少なかったように思う。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）	会場は名古屋開催時のように会場間の距離が無い方が良かった。オンライン両立型を続けるようであれば、通信環境の整備は必須。 会場をなるべく1か所にしたい。
一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR:クリア） パナソニックライティングデバイス 株式会社	会場同士の行き来がし辛かった。 会場内の人の導線が狭く密になる場面が多々あった。
内閣官房国土強靭化推進室	改善すべき点があるとすればですが、難しい所かと思いますが、今回のプレゼンは、防災に関心のない層に知ってもらいたいという目的でしたので、防災に関心のある、または防災のプロが来る事が多く（5割位でしょうか）、もうそこし、防災にあまり普段かかわりのない一般の方も入りやすいの様な形となればよかったですと考えています。（屋外の方は自衛隊の車等あり、ひきつけやすかったかと思いますが、プレゼンブースはあまり一般の方を引き付けられるような何かがなかったかと思えます。難しい所ですが、）なかなかプレゼンブースまで運んでいただけない、ハードルが高いという方もいらっしゃる中、内容も説明しないまま会場を後にする方もおられる可能性もあるので、どこかのセッションやPR会場をつくりその中でプレゼンブースの説明する場（1分程度）をつつても良いかとも思いました。また、各ブースのパンフレットをどこかに置く場所を作っても良いかとも思いました（希望者のみ）。
防災教育チャレンジプラン実行委員会	開催形態が多かったのが仕方ないと思いますが、案内資料がもう少し簡潔だと分かりやすかったです。また、オンライン実施の際のセッションとワークショップの区別が分かりにくいと思いました。当初割り当てる部屋が小さく、別会場を取ってしまいましたが、会場がもう少し広いといいと思いました。
株式会社 エスエスティー協会	開催方式が多数あり、何のデータいつまでにどこに送ればよいか分かりにくかった。
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	各会場で、どこでどんなセッションを行っているかのパンフレット等、一覧が見れるものを設置すれば、より回りやすかったと思われる。（当該会場のブース図だけでなく、全会場それぞれでどんな出展を行っているかの掲載）
よんなな防災会学生部	角のブースだったが、左右のブースがブース前のスペースを使用していたため、やや狭かった。
独立行政法人都市再生機構	釜石市民ホールを中心に会場が点在していたため、各会場がどのような催しを行っているか、例えばTETTO会場にモニター等があると、より行ってみたいという気持ちになるのではないかと感じました。
内閣府男女共同参画局	現地のインターネット回線が不安定だったためオンラインのセッションに一部支障が出てしまったので、ネットワーク環境を整備いただきたい。
防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	現地の会場が広く分散していたのが大変残念でした。特にホテルはメイン会場から距離があり、とても残念でした。また、TETTOとホテル間を誘導する案内が目に入らなかつたです。その他TETTO内のプレゼンテーション間の通路が狭くて通りづらかったです。
福島県	各会場で実施しているプログラム内容がわかりにくかったため、次のプログラムを行う際には、会場内で放送するなどしたほうが良いのでは。ブース間が狭く、密になっていた時間帯があった。コロナ禍での開催ということもあるため、ブースまたは間隔を広くするなどの対応が必要では。最後は個々の事業者の判断なので仕方ない面はありますが、定休日の飲食店が多かったため、臨時で営業していただけるよう事前のお願いがあっても良かったのかもかもしれません。
国立歴史民俗博物館	施設間の案内をもう少し増やすとよりわかりやすかったです。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	次回にはアクセスと来場の見込める開催地が良いかと思えます。
株式会社ブライオ	受付（TETTOの受付とぼろぼろとしたい受付）の役割があまりはつきりわかりませんでした。TETTOのプレゼンブースが、ソーシャルディスタンスを保てない混み方だった点、気になりました。
災害文化研究会	出展者同士でも互いの展示に興味がある方が多い展示会と感じました。よって懇親会的なものがあっても良いかと思えました。
河村電器産業株式会社	少々導線が狭いように感じました。2Fのロビーも使うなどして、もう少しゆとりたしたブースの方が良いと思います。
エプスターポレーション / 株式会社プリント 公立大学法人岩手県立大学 一般財団法人 世界防災フォーラム	照明の制限もあり、会場が少し暗かった
大丸興業株式会社	想像以上に展示ブースの通路が狭かった。WI-FIが低速だった。
東北大学災害科学国際研究所 三信建設工業株式会社	数か所に会場が分かれてしまったのが残念。 展示スペースはもう少し通路が広いとよかった。話をしていると通行の邪魔になることがあった。
特定非営利活動法人日本防災士会 NPO法人日本防災用品技術研究協会	展示ブースが1会場で取ればよかった。 展示ブースとその通路幅が狭く、十分な対応が出来なかつた。スペースに余裕を。 展示会場がプレゼン・ワークショップ・セッションなどと離れていた。
一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	当研究会は屋外展示であった為、メイン会場とは距離があり、各会場の雰囲気解り辛かった事や、来場者の各会場の移動も上手く行っていないように感じました。
一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク	当団体はリアル出展していないが、規模に比べて会場が狭く、また分散しており回遊性の点で課題があると感じた。
NPO法人 岡山NPOセンター	オンライン参加者や、アークライの視聴者向けには、知りたい情報にたどり着けるようなメニューの整理が必要かと思えます。対象者を選択するようになっていましたが、協働の災害支援が進む中で、セクタではなく、目的別で検索できるようなタグ付があるのではないかと感じました。

問8.本大会の会場・設備及び開催方式について、改善すべき点を教えてください。

総務省 東北総合通信局	難しい面も多々ある事は承知であるが、屋外展示場が市民ホール等から離れており、プレゼンブースやセッションブースへの来場者が屋外展示場に流れてきやすい会場配置であったと思う。複数箇所に及ぶ会場配置の場合は全てに動線の確保が必要であると考え。
広島市防災士ネットワーク	配信やアーカイブをもっとアピールしてもいいのではないだろうか？
竹内工業株式会社	複数拠点で開催されていたが、イオンタウン内の開催会場の案内が少し分かりにくく、屋外展示へ行く道の間違えてしまったので、案内をもう少し分かりやすくして頂けると周りやすいです。
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	弊団体セッションの案内が会場の導線として長い廊下まで誘導しなければならず、入り口近くに案内がないため、誘導が難しかったです。名古屋開催の時と同様にブースの場所によっては設備の照明が暗いため見づらいです。マニュアル等に各自照明の用意を推奨するなどの案内をされた方が良かったと思います。
LACITTA	野外展示会場が近ければもっと良かった。
NPO 津波太郎	立地からして致し方ないとは思いますが、屋外展示場が遠く感じました。
ホリカース株式会社	

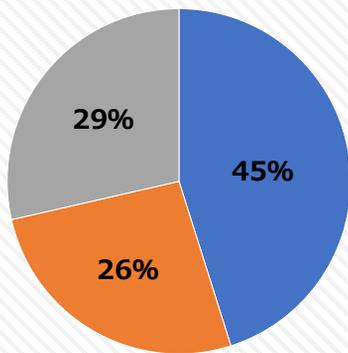
問9.上記以外に、大会準備・大会運営に関して良かった点があれば教えてください。

熊本県	開催前日、作業時間外に展示準備を行いました。荷物の受け渡し等事務局の方に大変お世話になりました。
株式会社ゼリン	WEBページの変更等、柔軟にご対応いただいた。事務局の電話の際、不在というごがなく、常にやり取りができる状態を整えていただいていた。SNS等に利用できるアイコンやバナーを早めにご提供いただいたので、当社のプロモーションに活用できた。ポスターの追加発注も柔軟に対応いただけたので、東北地方の全事業所に掲示できた。
内閣官房国土強靱化推進室	会場周辺のお店などに、「ぼうさいくたい「歓迎」のチラシがたくさん貼ってあって、釜石市民の暖かい歓迎の雰囲気を感じました。
日本労働組合総連合会 (連合)	五月雨式ではあったものの、出展者が対応すべき点を明確にした連絡 (メール) を、適切なタイミングで頂けたことは有難かった。出展者マニュアルを適宜、改訂いただけた点は良かった。電話やメールでの問い合わせに対し、漏れなくご対応を頂いた点は良かった。
広島市	地元のお店等に本大会の貼り札を配布して街全体で機運を盛り上げてもらった。
NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	アーカイブ視聴を取り入れていただくことで、当日参加できない方にも情報発信する機会が増えます。
LACITTA	アルコール消毒、検温、出入り口の指定など、感染予防対策がされていたので安心いたしました。
有限会社アシストコム	商業施設が近くにあるので、開催を知らない方にも来場頂けた点。
一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと	オンライン開催になるとハイブリッド開催になるか、わからない中、丁寧に進めていただいた。
株式会社M-T-N-E-T	ギリギリにリース機材の追加を依頼したが、スムーズに対応してもらえて本当に助かりました。
国立歴史民俗博物館	コロナ禍でスケジュールが定まらない中のイベントとしては準備がスムーズだった。
竹内工業株式会社	弊社としても、久々にお客様と直接面談する機会を頂けて貴重な意見と頂戴することが出来ました。大会開催中のご案内も丁寧に頂けたので、滞りなく出展することが出来ました。
NPO 津波太郎	コロナ感染に気を使いながらの運営ご苦労様でした。事務局様お疲れ様でした。よくできた対応でした。
株式会社リライト	スタッフの方の対応は素晴らしい良かったです。丁寧・笑顔・気遣いのすべてに感心いたしました。
特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	スタッフの良さは感じました。
一般社団法人 7 2 時間サバイバル教育協会	とにかく現地開催が出来てよかったです。
豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」	ハイブリッドで現地でも開催されたこと。
一般社団法人 DroneAI 技術研究機構	ハイブリッド開催これからも期待しています。
株式会社 エスエスティー協会	一時的ではあるが、多数の宿泊・飲食等による経済効果。
災害文化研究会	運営本部いつも親切に対応しておられました。ありがとうございました。
アイコム株式会社	屋外会場を切り盛りして下さったイベント会社の方々が、何事にも臨機応変に対応してくださり、開催中ストレスなく出展できました。
株式会社フジタ	屋外展示ブースのテントが十分な広さがあり2年前の名古屋開催時よりも多くの展示品を展示できた。
防災科学技術研究所	荷物の受け取り発送はやりやすかった。
東北大学災害科学国際研究所	会場の案内体制が親切で行き届いていると見えた。
一般社団法人 防災シオラマ推進ネットワーク	開催自体が不明確な中で、臨機応変に運営いただいたのではないかと思います。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム (JBP)	釜石の飲食店等に、「ぼうさいくたい 歓迎」のようなポスターがあって、釜石市として受け入れ準備をしてくださっていたことを感じ、嬉しかったです。釜石の立地については賛否両論あることと思いますが、東北の震災10年の節目に、防災関係者の皆さんと一緒に被災地である釜石を訪れ、イベントができたことは大変意義深いことであったと感じています。
一般社団法人 日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	釜石市の公共部に今回のぼうさいくたい2021の告知シールを多く見かけ、PRが浸透していると感じました。
ペット防災サポート協会	現地とオンラインは続けて頂けて参加される方も全国から参加しやすいと思います。
ジオワークサイエンス	現地開催の可否判断をギリギリまで待つことに対し、全面的に支持しております。その結果、様々な不具合もあつてはいますが、現地開催を最優先したことで全体はプラスだと思っています。
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	今年度についてはコロナ禍の開催となり、十分なものであったと思います。
NPO法人 岡山NPOセンター	災害への取り組みがされている本当に多くの組織の皆様へのご対応、素晴らしいです。
公立大学法人岩手県立大学	事故なく無事に開催できたことが何より。
株式会社サンコー	事前に準備していただけており、搬入もスムーズに進んだ。
日本セイフティー株式会社	事前に説明会を開催していただき、質問などを受け付けていただいた点。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	事前に丁寧に説明があり、対応もしてもらえた。
エビスタコーポレーション / 株式会社プリント	質問等、快くご対応頂きうれしく思います。
有限会社鈴木	出展時に弊社の看板が落下してしまいましたが、迅速に対応していただきました。ありがとうございました。
独立行政法人都市再生機構	出展者からの質問や要望に柔軟に対応して頂きありがとうございます。
防災専門図書館 (公益社団法人 全国市有物件災害共済会)	出展者マニュアルがとても分かりやすかったです。
防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会	出展者説明会もオンラインで行われたので参加しやすかったです。
ホリカース株式会社	初めての開催で例年の雰囲気は分かりませんが、地域の方々がお来場しやすい雰囲気がとてもいいと思いました。
株式会社レジリエンスラボ / 株式会社明電舎	今回初めての参加でしたが、参加者の皆様の防災意識が高く、非常に有意義な意見交換・関係性構築ができました。
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	ハイブリッド開催にしていたことで会場へ行けない方も参加でき、且つ会場へ行けた方々には、交流の場ともなりましたこと、出展させていただいた意義が出来たと感じます。
一般社団法人日本リモートセンシング学会	多くの団体様が出展される中、一つ一つ丁寧に丁寧にご対応頂き感謝しております。
総務省 東北総合通信局	多くの展示者がある中で、事務局にはご多忙にもかかわらず、初めてでも解りやすい準備連絡等を行っていただいた。
特定非営利活動法人 全国足紋普及協会	多くの方が来場されましたが動線がしっかりしておりました。
国立国会図書館	多様な分野から多くの出展者を集めたことはとても有意義と感じた。
広島防災リーダーネットワーク会議	対応が早かった。
広島市防災士ネットワーク	大変ご迷惑をおかけしたのですが、迅速に対応していただき感謝しております。
特定非営利活動法人 都市環境標識協会	都度連絡をいただき、スケジュール等わかりやすかったです。
名古屋学芸大学	当日の対応がとても丁寧で、助かりました。また、感染予防対策も有難うございました。
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	当日含めて、事務局の方々に多くの質問・相談をしましたが、真摯にご対応いただき大変感謝している。
三信建設工業株式会社	入場時の検温、手指消毒環境はよかったです。
東北大学 災害科学国際研究所	弁当の用意など、出展者への便宜に気を配っていただいた。
WPPグループ Japan Pet Press	問い合わせに対して丁寧に丁寧に対応くださったこと感謝しております。
国立研究開発法人 情報通信研究機構	問合せに対する迅速な回答は大変助かりました。
富士フィルムシステムサービス株式会社	余裕をもって準備することができ、良いスケジュールだったと思っています。

## 問10.上記以外に、大会準備・大会運営に関して改善すべき点があれば教えてください。

熊本県	開催直前に、震災復興ツアーの案内があったが、開催期間中に設定されていたため、参加できなかった。開催日の前後で設定いただければ参加できるので、次回以降ご検討いただきたい。また、その場合、直前の案内では、航空券等の手配後となっているため、早めに案内をしていただきたい。
防災学術連携体・日本学術会議	開催方式の決定がもう少し早ければよかった。
シンロ化株式会社	ホール内での催しを会場内モニターを設置するなどして視聴できるようにする。大会告知を出展者に依頼するのであれば、最低でも2週間前には、チラシ・ポスターは確実に届けるべき。届かなければ配ることすらできない。プログラムも見にくいので、オンタイムで「現在開催中」「次回開催」のプログラムをモニターで見せるなど工夫が欲しい。開催地からの出展・登壇者を増やし、そのコーナー設置する、ワークショップや講演も目立つよう工夫が欲しい。
広島市	臨時バス等の手配をしたほうがよい。 事務局がSNSを効果的に使えていなかったように感じる。プロモーション活動の連絡が出展者に対し一切通知がなく、各社個別でのプロモーション活動になってしまっている。事務局のTwitterではなく当社のTwitterを見て来場されたという声もあった。プロモーション活動をするのが公算条件になっているので、各社との連携をしてほしい。SNS等を活用したプロモーションが、セッションの案内等単調だったので、会場の設置風景など興味関心を抱かせるような内容にしてほしい。事務局へ届いた質問や事務局の回答は、WEBサイトを準備したりして出展者全員が常時確認できる状態にしてほしい。出展企業が受け取る情報の内容、タイミングに差が出ないようにしてほしい。来場者が迷わないように、また出展者がアテンドできるように、イベント当日の展示案内リーフが紙で欲しい。入口運営スタッフの動きが悪く、他社の出展者に会場の人だと勘違いされ、何度も受付の場所などを聞かれたので、誘導スタッフを付けてほしい。また、初日の朝は来場者・出展者バスが無く入口から自由に入っている人達が散見された。スタッフも声掛けをしていなかった。
株式会社ゼンリン	連絡が五月雨式にメールされ、もう少し整理してご連絡を頂けると有難い。大会の公式ホームページの公開が非常に遅かった点は、次回改善頂きたい。出展者マニュアルについては、些細な点も明記頂きたい。開催地近隣の事前告知が、どれくらいされていたか疑問。今回は開催方式の確定に時間を要したためと思うが、有料オプションの一览（金額等）が分かりにくく感じた。インターネット有線回線の提供およびその金額を明記しうえて、周知してほしい。せつかの提案を前向きに受けてくれたら嬉しい。
日本労働組合総連合会（連合）	11/5が津波防災の日であることで、多くの自治体では11/5に防災訓練が実施され、防災関係部署の職員は対応を余儀なくされていたはずである。このため遠方の自治体は11/6-7のほうさいてほしい本番に行きたくとも諦めざるを得なかったところもあるはず。難しい一面が有ると思うが、11/5は毎年不変のため、ほうさいてほしい開催日についてはこの点も勘案いただけたら幸いです。
日本赤十字社	HPでのプログラムの表現ですが、今回は、いつでも視聴が可能ではなく「日時限定」であったため、参加者に誤解がないよう、もう少し表現を変えていただけたら幸いです。
総務省 東北総合通信局	HPの更新は内容の決定と関連するものですが、より早く進行するよかったです。出展者への連絡があり、そこで決定事項や進捗状況を知ることができると、いろいろ仕組みも一案として考えられると思います。
一般社団法人危機管理教育研究所	あまり本質的ではないが、釜石駅から会場周辺まで（および復路方向）のバス発車時間の掲載があると、遠方から来た出展者・参加者は便利だったかもしれない（掲載していたものを掲載が見落としておりましたら恐縮です）。
災害文化研究会	イオンを挟んで、会場が分かれた点 エキスカレーターに2名参加させたが、希望したコースが人数が集まらず中止となった。もう少し早めに周知して集客できなかったかどうか。オンライン出展で動画・画像を送っていたが、直前でHPに掲載されることとなった。いつ掲載されるか不明だったので、何度かお電話にて問い合わせる必要があったため、改善を願いたい
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室	オンライン展示に見せ方の改善が必要に思いました。
有限会社アストコム	コロナという事もあるのですが、もう少し準備日程がほしかった。
一般財団法人 世界防災フォーラム	コロナ禍で仕方なかったのは重々分かっておりますが、HPの公開がもう少し早くなれば、と思います。また、釜石市や周辺市町村といった地元でどれくらいPRされたのが気になりました。商店に歓迎の小さなポスターは貼っていましたか…。
豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」	コロナ禍なので仕方ないと思うが、開催方法（現地開催orオンライン等）についての決定が遅すぎた。もう少し早い決断でも良かったと思う。HP公開、周知開始が遅かった。
国立研究開発法人情報通信研究機構	コロナ禍の為でもあるが、決めれる事は早く決めて連絡が欲しかった。
広島市防災士ネットワーク	せめてWi-Fiが無料で使える会場でお願いしたいです。それがハイブリッド開催の成功に繋がると思います。料金を集めるならば公募の時点で伝えるべきだと思います。
防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	プレゼンターの「現地」「現地+オンライン」「オンライン」は、「現地+オンライン」の「オンライン」と「オンライン」の「オンライン」の意味の違いがあり、混乱を招いたと思います。（今回ハイブリッド開催という難し、多くの人が慣れていない開催形態だったので、仕方のないことでもあったと思います…）
いわてNPO災害支援ネットワーク	ほうさいてほしいホームページのトップページから、各オンラインセッションの参加情報（配信先URL等）のページにたどり着くまでのページ構造がやや複雑に感じた。オンライン視聴は、遠方からも参加しやすいものの、現地開催イベントと違い、その場で興味を持ってふらりと立ち寄るような参加ができないので、より視聴してもらいやすく、かつ、参加状況の把握とも両立するような設計を検討してほしい。
NPO法人日本防災用品技術研究協会	大会開催が現地でもそれほど知られていなかったようであり、知っていたら子供を連れて行きたかったという声もあった。直前の現地開催でやむを得ない事情もあったかもしれないが、釜石市民へのより積極的な広報が必要だったと思われる。また、大会のツイッターももっと活用できたのではないかな。
ペット防災サポート協会	メイン会場のみで行えば良いと思います。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）	一部の主催者の現地出展のキャンセルについて、総合受付に問い合わせに行っていたが、情報把握は十分でなく、回答に時間がかった。運営マニュアルなど各種の情報提供が遅れる傾向があったこと。
防災減災連携研究ハブ、日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	屋外展示場所からもメイン会場の様子が見られるように大型モニターなどで中継してもらえたらありがたい。官民連携プラットフォームのマッチングイベントと設置準備時間が重なっていたためマッチングイベントに参加できなかった。
国立国会図書館	外部からの参加者も多かったと思います。釜石での消費を促すような取り組みや情報発信をさらに行えば地域への還元も増えたかと思います。（エキスカレーターツアーに行けなかったのは残念ですが、正直なところ出展者には時間的なハードルが高かったです）
一般社団法人あてやかり絵協	関係者以外にも登録してもらった関係上、もう少し早く公式サイト等に情報が掲載してほしい。また、変更があった場合に修正をいただけるような方法を考えていただけたらありがたい。
東北大学 災害科学国際研究所	参加者にとってアクセス・宿泊・飲食に難がある。
一般社団法人 防災シオラ推進ネットワーク	交通の便が良い地域での開催を希望します。
株式会社フジタ	公式のニュースリリースが遅い、前回運営からの細々とした引き継ぎがなされていないように思われる。
株式会社MT-NET	国民の命を守る大会、もっと広報をしてください。
TEAM防災ジャパン	今回の事前登録をした上での入場（出展者・来場者）の方法は意味をなしていなかった。
株式会社 エスエスティー協会	今後の会場で希望するのは、オンラインで配信しているものを、出展者も観れるようにしていただけたらと思います。
パナソニックライティングデバイス 株式会社	参加団体が多く、大会ホームページから自分の団体のページが探しくかった。
国立歴史民俗博物館	事務局からほうさいてほしい周知用のポスターとチラシをお送り頂いて、新型コロナ感染症流行のため配布先を見つけないことができず破棄することになった。今回は必要な出展者のみへポスターやチラシを配布するのはいかがでしょうか。
NPO 津波太郎	終了時間前の撤収作業は来場者にとって残念なので、会期時間は守られたほうが良いと思つた。
こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）	出展マニュアルの完成や修正などをもう少し早めにして頂くとうれしいです。
一般社団法人おしい防災塾	出展者への情報発信の頻度が多かったように思います（特に、開催日10日前前は、ほぼ毎日メールが発信されていたように感じます）。
NPO法人 日本ラクターセッション・コンサルタント協会	準備期間があまりなかった
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	諸事項を煮詰めて、一度で案内、作業依頼をお願いします。
公立大学法人岩手県立大学	笑顔、県外から来て人に対して食事の案内、お弁当ではなく、名産はこれとか、釜石来たならこれを食べてなど現地の声を教えたら良かったのと感じました。
エビスターポレーション / 株式会社プリント	新型コロナウイルスはいえ、入口、出口が一方通行であったのは少し不便であった。
アイコム株式会社	宣伝・広報をもっと良いのでは。
有限会社 西谷	全国紙や全国ニュースなどで広く広報してもらいたい。
災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	全国大会と言うニュアンスで言いますと、全国何処までPR出来ていたのかが不明。
特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	対応に苦慮されていたかと思いますが、現地開催の可否の判断がもう少し早めに行って頂きたかったこと、また、事前の対外広報（セッションのURLの公開が大会前日だった点）や、出展者マニュアルの最新版がもう少し早めに共有頂けたらより良かったと思います。
東北大学災害科学国際研究所	大きな大会で運営が大変だったと思います。とりまともめりがとうございました。
広島防災リーダーネットワーク会議	大会のHPでの情報公開の時期を開催日にゆとりをもって設定されるよいと思つた。HPでの告知から開催日まで日にちがながかったため集客に時間がかった。大会HPに当局のセッションの情報が掲載されるのに時間がかかった。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	大会の告知をもう少し早い段階でご案内いただければ、当社としてもっと多くの方に事前にご案内できたと思つた。
一般社団法人日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	通路幅はもう少し広い方がよい
独立行政法人都市再生機構	提出書類を回数少なく、期限ももう少し長くいただきたい。
日本セイフティー株式会社	複数拠点開催の開催場所の案内板設置場所を増やして頂けると土地勘が無い人も周りやすいかと思つた。
内閣府男女共同参画局	補足でライトをつけていただきましたが、全体に暗かった。
株式会社レジーエンズラボ/株式会社明電舎	
防災科学技術研究所	
一般社団法人全国建設業協会	
竹内工業株式会社	
三信建設工業株式会社	

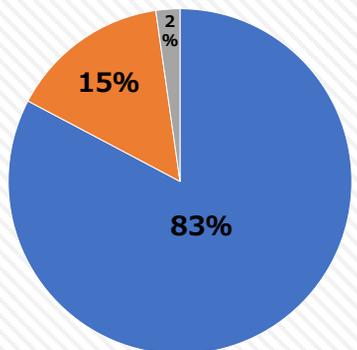
問11. 問1で防災推進国民大会への出展が2回目以上と答えた方にお聞きます。これまでの防災推進国民大会で得られた、他の出展団体や協力団体等とのつながりが、貴団体の活動に活用できましたか。



問12. 問11で活用できたと答えた方にお聞きます。その内容を教えてください。

特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	オンラインでの参加は除き、出展されている企業の方とオープンな場でお顔合わせする事ができ、また弊団体の活動についても出展によって企業の方に見ていただく事によって、改めての打ち合わせにつながるケースもあった。災害支援関係者と顔を合わせることで、さらに関係される方とおつきあいいただく事もあり、協力関係の輪が広がることもあった。
公益財団法人 味の素ファンデーション	2019年度開催時(当財団初参加時)、前夜祭的な位置づけのイベントで知り合った防災の先生に、当財団の有識者委員会のメンバーになって頂いた。会場でお目にかかった組織や人に食べる支援プロジェクト(たべぐる)のメンバーになって頂いた。
NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会	他団体の情報に触れることができる。
株式会社リブライト	お客様が増えました。
TEAM防災ジャパン	サイトでのコラム投稿をお願いできた。
一般社団法人日本ドローンコンソーシアム	セッションを企画するため事例の収集等を行い、新たなネットワークを形成することができた。
WPPグループ Japan Pet Press	ペット業界の情報収集と交流。
日本セイフティー株式会社	ぼうさいくたい2021のオンラインワークショップ参加者より問い合わせをいただきました。
一般社団法人 Do It Yourself	ぼうさいくたいで知り合った生涯学習系の施設の方とのつながりから、工作教室の打診や実施依頼に至り出展内容の展開に役立っている。
仙台市防災環境都市推進室	ぼうさいくたいの運営方法等について本市イベント等で参考にさせていただいている。
アールシーソリューション株式会社	ぼうさいくたいをきっかけにお仕事やお付き合いに繋がったり、今後の防災の取り組みのヒントを得ることができていると思います。
国立国会図書館	ぼうさいくたいを通じて、他の震災アーカイブ機関と連携することができた。
防災ママがきつばた	一緒に講座をしたり、応援しあったり縁が繋がっています。
ペット防災サポート協会	一般の参加者様との交流会や勉強会を月に1回開催している。会員様も増えました。
NPO法人日本防災用品技術研究協会	沖縄市・東京・新潟県など色々な関係者と名刺交換が出来て、色々な問題点を教えて頂く機会があった。このぼうさいくたいが無ければ出来なかった事なので、今後も続けて開催していただきたい。
一般社団法人 7 2 時間サイバール教育協会	学校や自治体で講座をさせて頂いた。
株式会社ゼリン	学術関係者や専門家の方々にさまざまなアドバイスを頂くことができた。また、出展者や来場者との繋がりを持てたので自社だけでは対応できない活動を実施できる可能性ができた。
名古屋学芸大学	学生の教育や専門性の資料提供など行っている。また、名古屋開催から交流しているところもあり、引き続き、活動共有をしたいと考えている。
日東工業株式会社	感震ブレーカーや防災の啓蒙活動を他企業と一緒に検討する機会をぼうさいくたいの後設けることができた。
機能ガラス普及推進協議会	防災推進国民大会への参加は、防災という切り口で協議会内団体における最新情報の共有に活用できている。
広島市防災士ネットワーク	研修会や講演会を依頼した。
岩手県	これまで接点のなかった、災害により大きな被害を受けた地域との意見交換ができた。また、南海トラフ10県知事会議とのヒアリングでは、東日本大震災津波からの復旧・復興の取組について情報提供を行った。
有限会社アシストコム	行政や防災活動団体へのVRコンテンツの活用、検討。
防災学術連携体・日本学術会議	今回はネット配信でしたので、他の出展者との交流はできませんでしたが、過去の「ぼうさいくたい」では多くの出展が行われる会場で色々な交流を行うことができ有益でした。例えばその後の他団体との行事参加の交流などもありました。来年の神戸を期待しています。
国際復興支援プラットフォーム (IRP)	災害復興に関する調査研究にあたり、協力を得ることができた。
特定非営利活動法人 防災自助普及委員会	防災国大に感謝しています。得る部分多く、意義がある。繋がる以上に人間仲良しができます。
福島大学つくしまふくしま未来支援センター	出展した県内の他団体と引き続き交流している。会場で得られた情報を業務の中で参考・活用している。
株式会社スギタ	出展団体様と関係が築けました。
国立研究開発法人情報通信研究機構	詳しいシステム紹介を要求されたことなど。
一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク	情報交換。
エビスタコーポレーション / 株式会社プリント	新規の出会いからビジネスにつながった
災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」	人の紹介、連携した活動。
宮城県多賀城高等学校	生徒への講義等の依頼をさせていただいた。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	他の出展団体や協力団体担当者や直接活動を会話することができ、情報交換をするような関係に繋がったりしております。
竹内工業株式会社	他の防災イベントでもお会いする機会があり、相互出展する機会へとつながった。
一般社団法人 DroneAI技術研究機構	他の防災技術との連携など。
防災専門図書館 (公益社団法人 全国市有物件災害共済会)	他出展者様から資料をご寄贈頂いたりして、図書館の蔵書にすることができました。
一般社団法人 日本損害保険協会	団体間の顔が見える関係の構築にあたっては、良い機会だと考えています。
株式会社 M T - N E T	地域やサークルとの協働について進捗できた。
よんなな防災会	当団体のメンバーとして参加いただけた。
一般社団法人日本リモートセンシング学会	発表内容にご質問を頂くなど、興味を持って頂き団体活動の周知に繋がった。
南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議	被災された岩手県・福島県をはじめとした被災地の団体が出展しており、担当の方との情報交換などにより得られた知見を今後の取組に活かしていく。
一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR:クリア)	幅広い情報の発信、広報。
日本労働組合総連合会 (連合)	弊会の防災の取り組みに対して、資料提供を頂くなど連携を図ることができた。
防災科学技術研究所	別イベントでの共同展示の実施など。
大丸鐵興株式会社	防災関係のコンサル会社や弊社商品の紹介を行ってくださるようになった
日本ジパークネットワーク	防災教育の手法などが学べる。
広島市	防災専門家(教授等)との面談ができ、講演会の講師等をおつとめいただいている。
(株)ハヤリミテッド	防災備蓄品として認知度が高まり、各地で防災備蓄品の実績が増えた。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム (JBP)	毎回顔を合わせ、挨拶をする中で「防災関係者」の緩やかなネットワークができ、何かあったらお互いに連絡をとれるようになっているのは、ぼうさいくたいの効果だと思います。
株式会社フジタ	令和元年台風19号被災地への簡易ベッドの提供を内閣府に申し出たところ、提供依頼をいただき防災に貢献できた。

### 問13.次回（令和4年）は兵庫県で開催予定です（時期調整中）。次回大会に出展したいですか。



### 問14.問13で次回の大会への出展は見送る予定であると答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。

災害文化研究会	「未定です」が正確な回答です。予算面も含めて種々の検討事項があります。
東日本電信電話株式会社 岩手支店	支店は各県にあり、該当県域で参加可否を判断するため。(岩手支店としては参加見送り)
一般社団法人あでやか切り絵協会	メイン会場内であれば参加したいと思います。
株式会社ピースポーク	めばしい効果が得られなかったことに加え、出展を主導したスタッフがなくなったため。
一般社団法人おいしい防災塾	ワークショップでは出展をしない方向で考えています。参加者数がわからずでの、準備が負担のため。(準備に費用がかかるため)
NPO 津波太郎	遠隔地で出展物の搬送が困難である。参加して災害教訓・伝承ブースを応援したい。
認定NPO法人 防災・減災サポートセンター	遠方である。思った効果が上がらない。
一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと	遠方のため。個人的には参加可能であるが、複数で参加するためには旅費等の負担が大きい。
震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省 東北地方整備局）	開催地が遠方のため。
岩手大学地域防災研究センター	現在検討中のため、断定できないので、ここでは「見送る予定」を選択しました。
広島県	今回広島大学に協力していただきながら開催できたが、それが無い場合は出展は難しい。(来年度協力を得られるかどうかは未定)
福島県	今回は、東日本大震災の被災地での開催ということもあり、本県の復興状況について情報発信を行うことを目的に、出展させていただいたため。なお、次回の開催については、関係部へ情報提供したい。
日本たばこ産業株式会社	支社が異なるため
総務省 東北総合通信局	次回は兵庫県である故に、東北総合通信局として次回出展はできないが、兵庫県を管轄する近畿総合通信局が出展見込であるので、宜しく願いたい。
株式会社唐丹小白浜まちづくりセンター	出張費用がかかる。
株式会社ゼンリン	出展の意向ではあるが、展示テーマや出展形態(リアル、オンライン、ハイブリッド)などによっては要検討。
広島防災リーダーネットワーク会議	出展はしたが、現在の新型コロナの状況では難しいかと検討中。状況が変われば参加となる可能性もある。
広島市防災士ネットワーク	状況やオンラインでの参加などがあれば参加はしたいが、新型コロナ感染拡大の状況が読めないため。ただ、参加への調整は続ける予定。
災害派遣トイレットネットワーク「みんな元気になるトイレ」	都市部開催による参加者増、更なる広報活動。
こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）	当会本部次第であり、開催地の事務局が対応することになります。
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	当該プロジェクトは2021年度をもって活動を終了するため。
日本赤十字社	日本赤十字社として出展することは検討しているが、今回と同じように出展するかは今後検討するため。
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	未定。

問15. 次回以降の防災推進国民大会に期待することや改善すべき事項がありましたら、自由にお書きください。

一般社団法人 日本損害保険協会	「兵庫県」「人と防災未来センター」とうまく連携して、大会を盛り上げるとともに、大会終了後も続くような防災ネットワークの強化につなげていくことを期待しています。
広島市 NPO法人日本防災用品技術研究協会	アーカイブ映像のアップは大会の機運が残っているなるべく早い時期に行った方がよい。 会場の一体化：来場者が見て回りやすい立地条件。神戸においても搬入・排出・宿泊等の車など便宜を図ってもらいたい。 国民の防災意識の向上が開催趣旨にもなっているので、来場者が来やすい場所での開催をしてほしい。出展ブースが画一的であったため、一般的なイベント同様に情報展示物の点数や内容に応じてブースサイズを選択できるようにしてほしい。来場者ごとく話すためにもブースや通路を余裕を持った設置・配置にしてほしい。説明会など、事前にWEB会議等で出展各社の顔合わせを行ってほしい。1つのカテゴリーに限定されない企業向けの総合的なプレゼンブースを準備してほしい。または、プレゼンブースにおいて、1団体においてカテゴリー毎にプレゼンブースを出展できるようにしてほしい。出展形態だけではなく出展物の点数に応じてブースサイズが選択できるようにしてほしい。ポスターの発送が折られてきたので、国が主催するイベントのポスターとして格好がつかないと思う。
株式会社ゼリン	出展者のメット向上。自分が見学した時だけかもしれないが、プレゼンブース、屋外展示が予想以上に盛り上がりつつあり、かなり残念だった。防災を伝える以外の出展者側の実質的なメット（商品の告知を認めるなど）を確保すれば、出展者が増えて、更に盛り上がる大会になると思う。開催方式の決定時期。今大会の大変な経験を、次大会に活かせることができるように、各種引継ぎを確実に行ってほしい。改善すべき点について、1つでも多くご対応を頂き、一般来場者が多く参加されるイベントとして、少しでも国民の防災意識が醸成されることを期待します。
日本赤十字社	「防災推進国民大会」「ぼうさいこくたい」内閣府主催？「津波防災の日」等々、用語が分かりにくく感じました。2日間のプログラムの組み方について、全体の流れに対する考え方が最初から示されているとありがたいと思います。
日本労働組合総連合会（連合）	1つ1つのブースをもう少し広くしてほしい。
災害文化研究会	Webサイトの案内にはできるだけ早めの時期に出した方が来場者集客につながると思います。
一般社団法人 7 2 時間サイバール教育協会	アフターコロナになっているならば、多くの出展者間の交流や参加者との交流を期待しています。
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	いくつかのテーマ（お題）を出展者に出して、それで出展してもらったらどうか。
名古屋学芸大学	オンライン開催は、現地に行けない場合でも参加や情報交換ができてとても有意義だと思いますので、ぜひ続けていただけたら幸いです。
一般財団法人 世界防災フォーラム	オンラインでもリアルでも録画をとって後で見られるようにしてほしいです。見たいものがあります。
よんなな防災会ナッジユニット 行動防災チーム	オンラインによる、各地の「伝承施設」をつなぐ企画を実施する際には、「東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）」も、参加させていただきますようお願いします。（伝承施設の「遠隔見学」など、新たな取組について全国に発信したいと考えています。）
防災マカきつばた	これから地域の方が来場しやすい雰囲気であっていただきたいと思えます。
岩手県	コロナ禍が落ち着いてきておりますが、現地に会場できない方も見られるよう、ハイブリッド形式での開催が望ましいと考えております。
ホリカワズ株式会社	セッション、ワークショップが多いと重なりが多くなるので、どうしても集客力が落ちますね。ただ、多くの団体に参加したメットが多いため、どうすればいいのでしょうか。オンデマンド併用も一つの手法だと思います。セッションやワークショップが多く、重なっているため、集客は難しい。ただ、多くの団体の出展は意義深いので、オンデマンドや、録画の公開もいい方法だった。
独立行政法人都市再生機構	ハイブリッド開催の実施を期待します。
防災教育学会	ハイブリッド開催は継続して頂きたい。
一般社団法人 Drone AI 技術研究機構	ハイブリッド形式での開催は、今後とも取り入れるべきと考える。
一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム	ブースの奥行きが狭く、机の前または後ろに移動するのに苦労したほか、他のブースと干渉したため、奥行を広がっていただければありがたい。
国際復興支援プラットフォーム（IRP）	ブースの開口を広げていただければと思います。
仙台市防災環境都市推進室	プレゼンブースについて、テーマ別のゾーニングや共同展示など。
特定非営利活動法人 全国足紋普及協会	オンラインの選択肢での出展が可能であるといい。ある程度アクセスしやすい会場で開催していただくと助かります。
一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク	まだまだ国民の関心や盛り上がりがないので、高められる具体的な施策を期待する。
公益社団法人 日本医師会	一般の方の参加もしやすいように、さらに広く広報するとよい。
株式会社 エスエスティー協会	一般企業でも似たような防災の展示会やカンファレンスを行っているがそれと何が違うのか一般参加者にわかるようにしてほしい。
株式会社 唐丹小白浜まちづくりセンター	会場が広くて近い場所がベスト。
イオン株式会社	会場は一か所まとめてほしい。
三信建設工業株式会社	会場図を紙ベースで作って欲しい。メールで出展者には送られているが、当日来場の参加者にどこに何かあるかわかるようにして欲しい。お誘いしても、会場で迷子になる。
大丸繊興株式会社	開催地の県、地方自治体への周知、集客（特にワークショップ）への協力体制づくりをしてほしい。
認定NPO法人 防災・減災サポートセンター	各出展者の内容は大変充実していたと思うので、より広く広報をして頂きたい。
岩手大学地域防災研究センター	公式から、日時場所がひと目で分かるようなデジタルイメージで、可能な限り早めに告知を出してほしい。
広島歴史民俗博物館	広く多くの人が防災・減災を考えるきっかけとなるイベントにしてほしい。その為に知名度をもっとあげてほしい。
広島市防災士ネットワーク	今回、初めて屋外展示にて出展させていただきましたが、屋外にて使用する機器の展示を、屋外会場にて行えたのは訴求力が強かったと考えます。よって、屋外会場は継続していただきたいと考えます。
アイコム株式会社	今回初めての展示となりましたが、全体を通して拝見しましたがレベルが高く、一般のお客さまには敷居が高いように感じました。子どもやお年寄りも気軽に参加できる雰囲気作りも大切だと思いました。
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」	今回当方のSNSで次回開催地をお伝えしただけでも参加したいと希望された地域やサークルの方は非常にたくさんおられました。ぜひ積極的な情報発信を行い、地域協働における横連携の貴重な場としてより一層盛り上げていただけることを切に希望します。
株式会社 MT-NET	今後内閣府の防災に取り組み姿勢を示す行事として開催を続けていただきたい。
東北大学 災害科学国際研究所	今年度は、震災から10年の節目であり復興支援の意味からも被災地三陸海岸、それも釜石市での開催となった事に感謝するも、やはり場所的な面から来場者は少なめであったと考える。次回兵庫県開催という事で、南海トラフ地震の被害が想定される地域が近いため、「ぼうさいこくたい」には地方自治体、防災関係機関など多くの来場者が期待できるはず。このため、複数会場の配置に配慮いただきたい。
総務省 東北総合通信局	男女共同参画の視点からの防災について取り組んだが、他の出展者で同様の出展がなかったことが残念である。防災基本計画にも多様な配慮や男女共同参画の視点、女性防災リーダー育成などが明記されているにもかかわらず、旧態以前の防災だけの取組みが多すぎる。企業等の団体が出展しており、それは社会貢献という観点からも大事なことはあるが、もう少し活動団体等の出展があっても良いと思う。
一般社団法人 男女共同参画地域みらいなつ	今回はコロナ禍を脱している可能性があるため、ぜひ積極的な広報をお願いしたい。
国立国会図書館	次回もオンラインでの開催の方法があれば、全国の方が参加できて良いと思う。その際に、現地の会場から配信する場合のネットワーク環境が向上すると良いと思う。
内閣府 男女共同参画局	次回もコロナ禍での開催となるかと思われるため、引き続きハイブリッドでの開催をご検討いただきたい。
一般社団法人 全国建設業協会	次回もハイブリッド形式の継続をご検討いただければ幸いです。
一般社団法人 日本リモートセンシング学会	次回リアル会場開催とオンライン開催のハイブリッド形式を希望します。来年も参加させていただきたいです。素晴らしいイベントなので、もっと多くの方に知っていただくように、告知をもう少し早い段階にHP等で公開されると良いと思いました。
株式会社 レジリエンスラボ / 株式会社 明電舎	次回以降の大会も期待しております。
有限会社 鈴文	次回以降も現地に開催して欲しい。現地にて対面して商品紹介を希望します。
エビスタコーポレーション / 株式会社 プリート	次回以降も参加したいと考えています。よろしくお願ひ申し上げます。
内閣官房 国土強靭化推進室	集客拡大の工夫。
国立研究開発法人 情報通信研究機構	出展者同士の交流の場を設けていただけたらありがたいです。
株式会社 フジタ	準備段階でのメール連絡をもう少し早めしてほしい。会場が分散されてもできるだけ近くで開催してほしい。
公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会	神戸でしたら当時を支えたボランティアさんたちも、高齢な方も増えていると思います。ハイブリッド開催でも、出展団体が困らないようにオンラインの面でのサポートは有料でなく、大会側もしくは企業からの援助等でやって欲しいです。他の経費を減らしてでもここは改善すべきだと思います。今回被災された釜石で学べたことは語り継いでいく事の大切さでした。神戸でも語り継いでいく方々、経験者の方のご参加が大いにあれば27年たったの教訓が全国に伝わると思います。
ペット防災サポート協会	神戸開催には期待できる。会場がどこかにもよるが、集客力は上がると考える。神戸での防災に関する知見を広める機会となると考える。地域の中学？大学などにも開催を周知し、防災教育の企画として学校から見学させるなど若年層へのアピールの機会として欲しい。
シンロ化株式会社	是非現地開催で実施できればと思います。
防災教育チャレンジプラン実行委員会	早め早めのアナウンスと準備、十分なPR。
公益財団法人 味の素ファンデーション	多くの人が参加するイベントにしてほしい。
広島防災リーダーネットワーク会議	イベント等はメイン会場だけでは無く、日によって場所を変える事により、人流を公平かつ効果的に行えるのではないのでしょうか。
一般社団法人 トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会	対面で、ワークワークショップを提供したいです。出展させていただけるなら、期待しています。
一般社団法人 Do It Yourself	地元の方を含め、一般の方に来場いただきやすいイベントになることを希望します。
防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	展示については、希望者のみならず、主催者としての展示などがあってもよいのではないかと。主催者がセッションだけでなく、主催者のメッセージが常時は伝わらない。
東北大学 災害科学国際研究所	特にWEBの視聴者が少ないので、積極的な広報をお願いしたい。
広島県	平日＋土日祝日開催による（小中）学生の参加。
有限会社 アシストコム	防災は継続することが肝要ですので、これから多くの方が参加できるイベントとして継続されていくことを切望します。
防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）	

### 問15. 次回以降の防災推進国民大会に期待することや改善すべき事項がありましたら、自由にお書きください。

日本セイフティー株式会社

防災は備えなので災害が発生しないと慢心してしまうリスクがあると思います。災害はいつ発生するか予測ができないので、こういった会で定期的に情報を発信していくことは非常に大切だと感じています。これからもよろしく願いいたします。

NPO 津波太郎

防災推進国民大会が多くの国民に認知されるよう広報をして、参加者を増やしてほしい。

NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会

毎年大会を開催いただくことで、当団体の中で防災について話し合う機会が増え、また情報発信する機会にもなります。

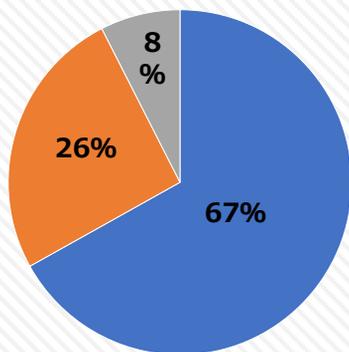
株式会社リブライト

来場者・出展社双方より得られるものが多いイベントですので、出展数を拡大し規模を大きくしていただきたいです。

バナソニックライティングデバイス 株式会社

来賓情報（当地の防災関係団体名/〇〇消防団など）を事前に聞けたらより効果的にP.R出来そう。

### 問16. 今年の大会に参加された旨を貴団体から何らかの形で発信されましたか。



■ 発信した ■ 発信していない ■ 無・未回答

記録写真

---



オープニング 二之湯大臣 開会宣言



オープニング 達増岩手県知事 開催地挨拶



オープニングセレモニー 八神純子氏



オープニングセレモニー 釜石商工高校による商工虎舞披露



ハイレベルディスカッション



ハイレベルディスカッション



ハイレベルディスカッション 岩崎昭子氏 (旅館 宝来館 女将)



クロージング 藤原兵庫県防災監 挨拶



クロージング 釜石東中学校 全校生徒による合唱



クロージング 夢団〜未来へつなげるONE TEAM〜



S08  
TEAM防災ジャパンメディアチーム



S10  
災害文化研究会



S13  
岩手県



S14  
公益財団法人 味の素ファンデーション



S23  
岩手大学地域防災研究センター



S24  
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー



W02  
日本たばこ産業株式会社



W04  
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟



W13  
株式会社 東京海上日動パートナーズ東北



W14  
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー



P06  
株式会社 技研製作所



P11  
特定非営利活動法人全国足紋普及協会



P24  
特定非営利活動法人日本防災士会



P35  
一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR:クリア)



P50  
盛岡地方気象台



P63  
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会



P73  
防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト



P76  
イオン株式会社 東日本大震災復興支援「心をつなぐプロジェクト」



O01  
NPO法人日本防災用品技術研究協会



O17  
日本赤十字社



O18  
株式会社NTTドコモ 東北支社 岩手支店



O23  
自衛隊岩手地方協力本部